4-128-122-**02** (2)

Data Projector

VPL-DX10/DX11/DX15

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と別冊の「安全のために」および付属の CD-ROM に入っている**取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2009 Sony Corporation

付属の説明書について

本機は、以下の説明書を付属しています。

説明書

安全のために（別冊）

本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

簡易説明書（本書）

本機を接続してから映すまでの、簡単な操作方法を説明しています。

取扱説明書（CD-ROM に収録）

この説明書には本機の操作方法や接続のしかたが記載されています。

取扱説明書（ネットワーク／ USB ファイルビューアー編）（VPL-DX15 のみ）

ネットワークの設定と使用方法が記載されています。

ご注意

CD-ROM に収録されている取扱説明書などをご覧いただくには、コンピューターにソフトウェア Adobe Acrobat Reader 5.0 以上がインストールされている必要があります。

この説明書について

この説明書では、本機を接続してから映すまでの簡単な操作方法を説明しています。
また使用上のご注意やメンテナンスの際に必要な情報が記載されています。
操作方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。
また安全のための注意事項は、別冊の「安全のために」をご覧ください。
この簡易説明書では、VPL-DX10 と VPL-DX11、VPL-DX15 を一緒に説明しています。説明中のイラストは主に VPL-DX15 を使用しております。

CD-ROM 取扱説明書の見かた

付属の CD-ROM には、ReadMe および取扱説明書が収録されています（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、ロシア語）。まず最初に ReadMe をご覧ください。

準備

付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader5.0 以降が必要です。
Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。（無料）

取扱説明書を読むには

付属の CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットしてくださ

い。しばらくすると、CD-ROM が自動的に起動します。読みたい取扱説明書を選んでください。取扱説明書のファイルは、CD-ROM の中に収録されています。
お使いのコンピュータによっては、CD-ROM が自動的に起動しない場合があります。
以下の手順で、取扱説明書のファイルを直接開いてください。

(Windows の場合)

①「マイコンピュータ」を開く。
②「CD-ROM」のアイコンを右クリックして「エクスプローラ」を選ぶ。
③ ウィンドウの中で「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

(Macintosh の場合)

① デスクトップの「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする。
②「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

ご注意

index.htm ファイルが開かない場合は、「Operating_Instructions」フォルダから読みたい取扱説明書を選んでダブルクリックしてください。

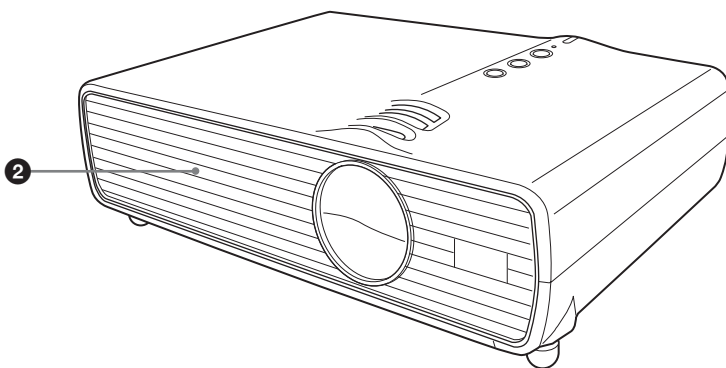
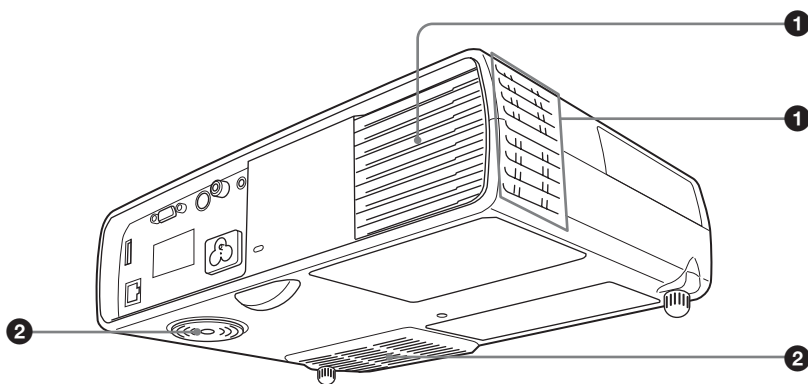
商標について

- Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- Macintosh は Apple Inc. 社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- Display Data Channel は Video Electronics Standards Association の商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

JP

使用上のご注意

吸気・排気口についてのご注意

吸気・排気口をふさがないでください。吸気・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。以下イラストにて吸気・排気口の位置をご確認ください。

画像を映す

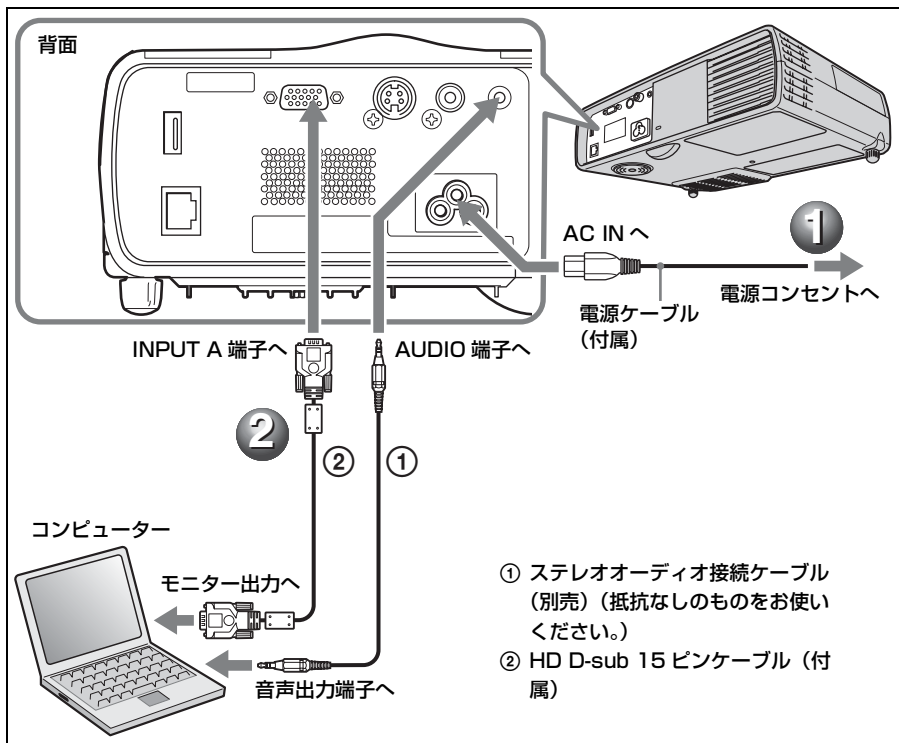
接続する

接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
・VPL-DX15の 品（ネットワーク）端子や USB（USB）端子に接続する場合は、CD-ROM内の「取扱説明書（ネットワーク／USBファイルビューアー編）」をご覧ください。

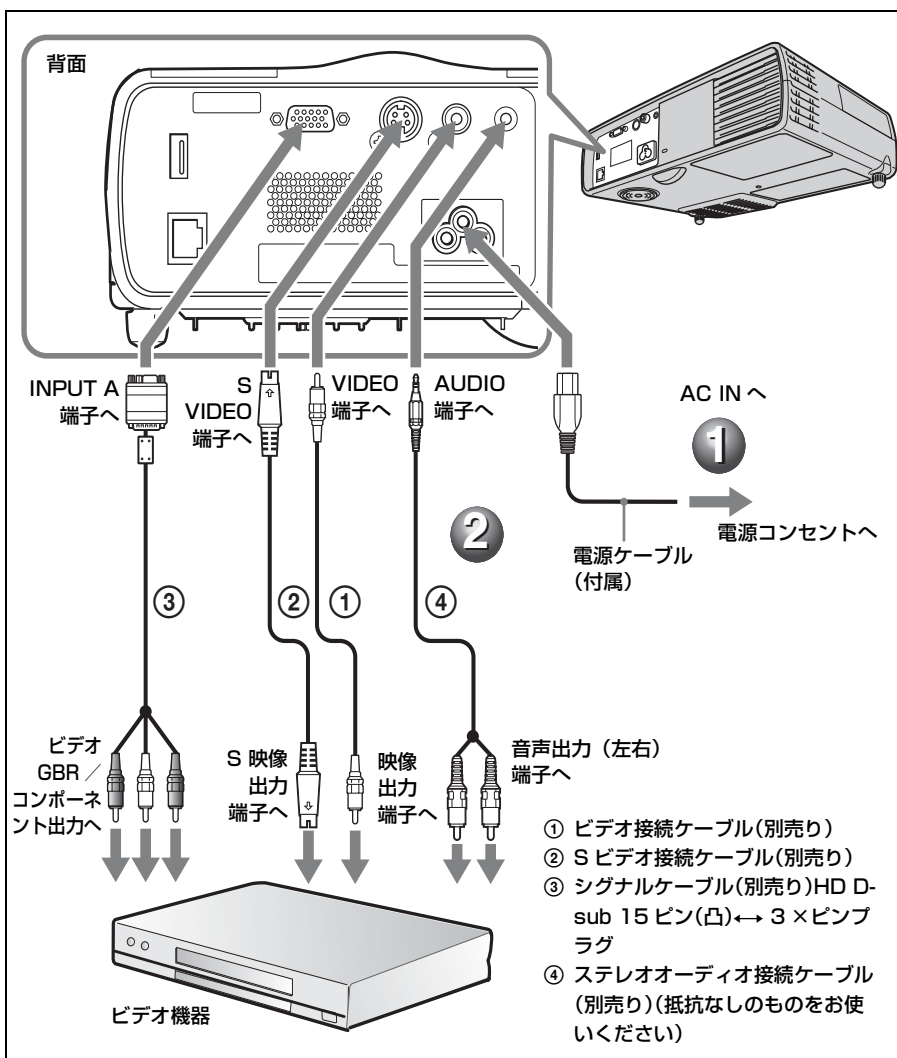
コンピューターとの接続

❶ 本機の電源ケーブルをコンセントに差し込む。

❷ 本機とコンピューターをケーブルでつなぐ。

ビデオ・DVD 機器との接続

❶ 本機の電源ケーブルをコンセントに差し込む。

❷ 本機とビデオ機器をケーブルでつなぐ。
映像信号入力には以下の 3 通りの方法があります。
ビデオ機器の映像出力端子と接続するとき：①④ のケーブルで接続します。
ビデオ機器の S 映像出力端子と接続するとき：②④ のケーブルで接続します。
ビデオ機器のビデオ GBR/ コンポーネント出力端子と接続するとき：③④ のケーブルで接続します。

映す

❶ I/⏻ キーを押す。

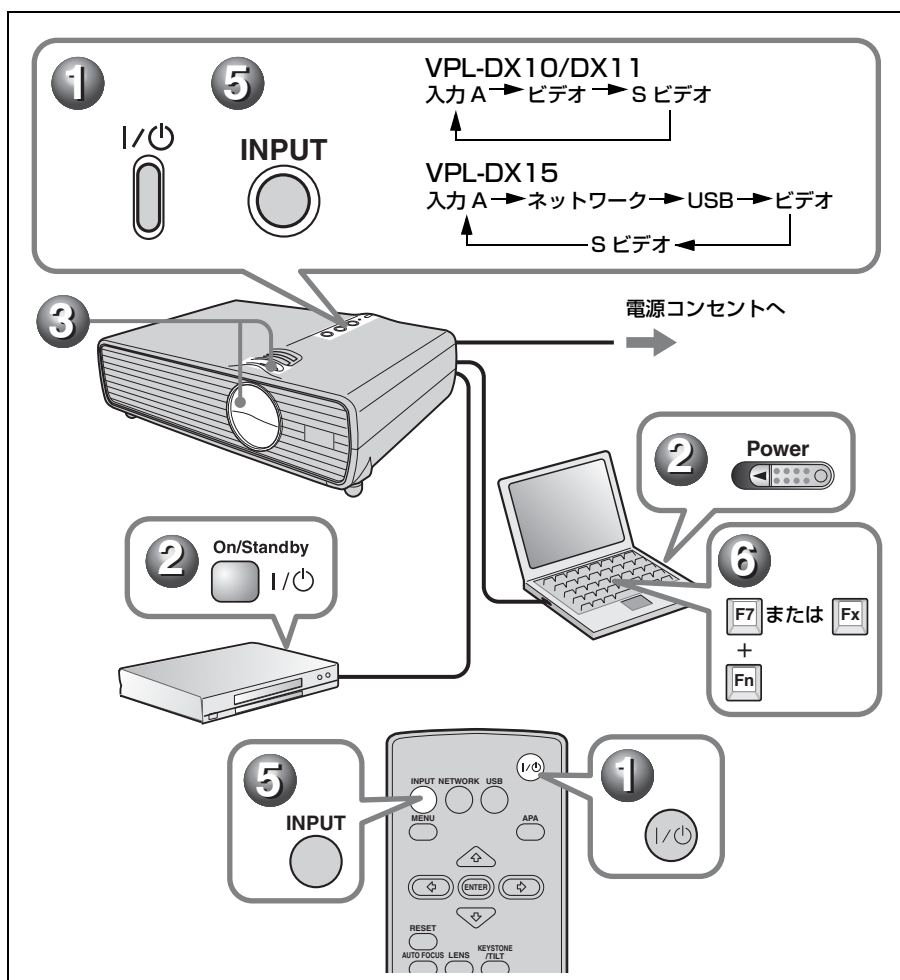
❷ 接続している機器の電源を入れる。

❸ レンズシャッターレバーを動かし、レンズシャッターを開く。

❹ 画像の位置や大きさを調整する。

8 ページをご覧ください。

❺ リモートコマンダーまたはコントロールパネルの INPUT キーを押して、映したい画像を選ぶ。

❻ コンピューターとの接続時は映像信号の出力先を切り換える。

調整する

❶ 画像の上下の位置を調整する。

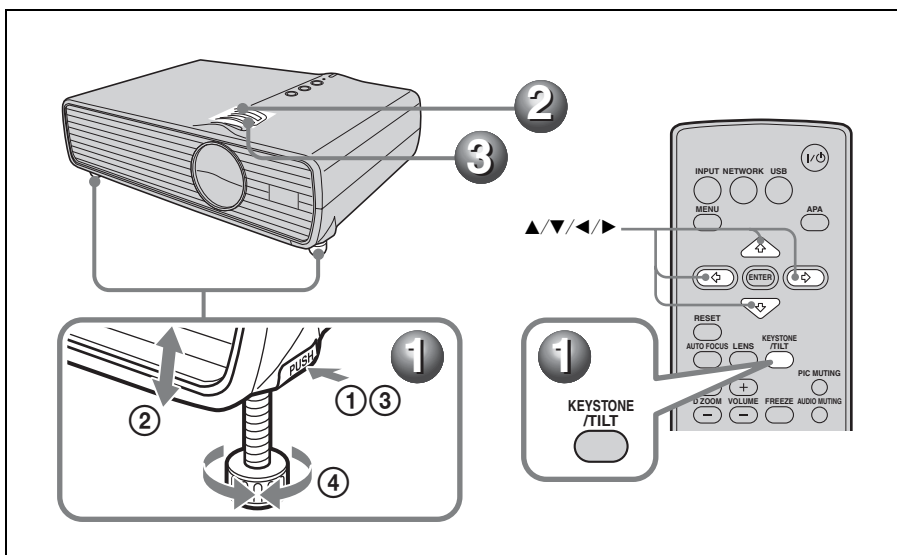
アジャスターを使って、プロジェクターの傾きを調整します。アジャスターで高さを調整すると、V キーストーン補正が自動的に働きます。

① アジャスター調整ボタンを押す。
② プロジェクターを持ち上げて角度を調整する。
③ アジャスター調整ボタンをはなす。
④ 微調整が必要な場合は、アジャスターを左右に回して調整する。

手動で調整する場合

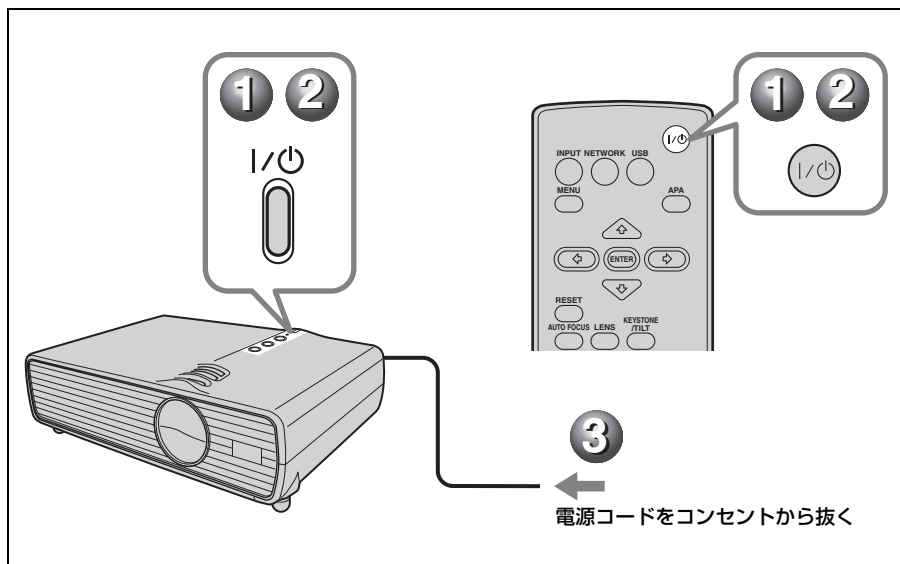
リモートコマンダーの KEYSTONE/TILT キーを押して傾き調整メニューを表示し、▲/▼/◀/▶ キーで調整します。

❷ ズームリングで画像の大きさを調整する。

❸ フォーカスリングで画像のフォーカスを調整する。

電源を切る

❶ I/⏻ キーを押す。

❷ メッセージが表示されたらもう一度 I/⏻ キーを押す。

❸ ファンが止まり、I/⏻ キーが赤く点灯したら、電源コードを抜く。

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

・光源のランプが切れたとき
・光源のランプが暗くなったとき
・「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたとき
・LAMP/COVER インジケーターが点滅（3 回点滅パターンのくり返し）したとき（ただし、他の原因も考えられますので 16 ページを参照してください。）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-D200 をお使いください。
それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

⚠警告

I/⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、本機の電源を切ってから 1 時間以上**たってから行ってください。

⚠注意

・ランプが破損している場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

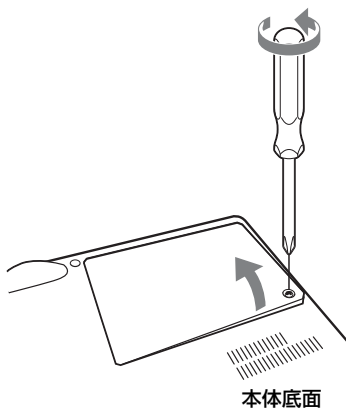
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

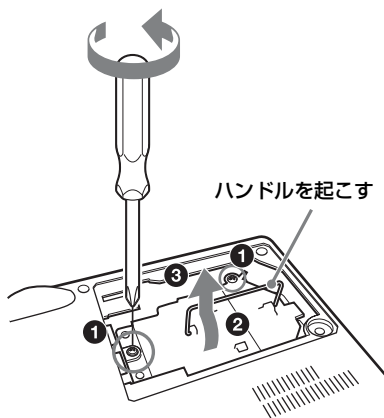
2 本機や机に傷がつかないよう布などを敷き、その上で本機を裏返す。

ご注意

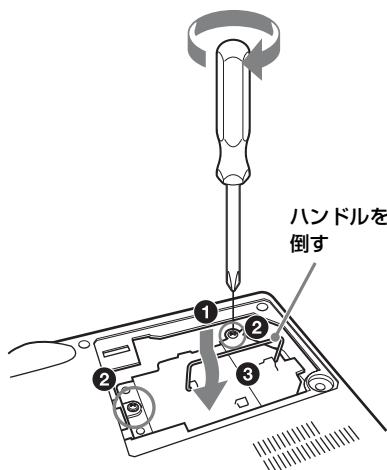
プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

3 ランプカバーのネジ（1 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開く。

ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

4 ランプのネジ (2 本) をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出し用ハンドルを起こし（❷）ハンドルを持ってランプを引き出す（❸）。

⚠警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

5 新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（2 本）を締め（❷）、取り出し用ハンドルを倒して元に戻す（❸）。

ご注意

- ランプのガラス面および導線部には触れないようご注意ください。
- ハンドルはしっかりと押し込み、確実に固定させてください。
- ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 ランプカバーを閉め、ネジ（1 本）を締める。

ご注意

ランプカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

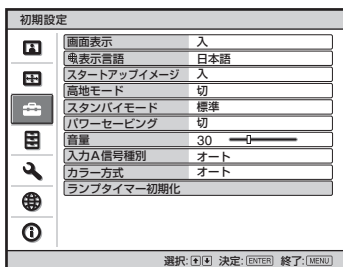
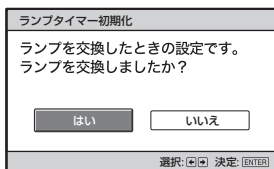
7 本機の向きを元にもどす。

8 電源コードを接続する。

I/⏻ キーが赤色に点灯します。

9 I/⏻ キーを押して電源を入れる。

10 MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。

11「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。

「ランプを交換したときの設定です。ランプを交換しましたか？」というメッセージが表示されます。

12◀ キーで「はい」を選び、ENTER キーを押す。

ランプタイマーが 0 に初期化され、「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

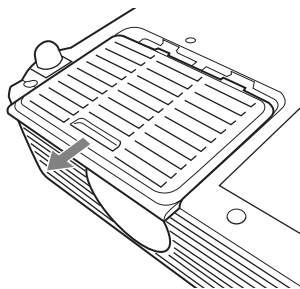
エアーフィルターをクリーニングする

約 500 時間の使用ごとにエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターカバーを取りはずし、中性洗剤で掃除してください。

また、クリーニング時期は目安です。使用環境や使いかたによって異なります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 本機や机に傷がつかないように布などを敷き、その上で本機を裏返す。

3 エアーフィルターカバーをはずす。

本体底面

4 内側のフィルターをはずし、中性洗剤でフィルターの汚れを拭きとる。

5 フィルターをエアフィルターカバーに戻す。

6 エアーフィルターカバーをもとの位置に差し込んで取り付ける。

ご注意

- エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう１度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。症状について詳しくは、CD-ROM 内の取扱説明書をご覧ください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・電源ケーブルがはずれている。 ➔電源ケーブルをしっかりと接続してください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ランプカバーをしっかりとはめてください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・電源が入っていない。 ➔電源を入れてください。 ・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。 ・レンズシャッターが閉じている ➔レンズシャッターを開けてください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔投影する映像を正しく選んでください。 ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔PIC MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。 ・お使いのコンピューターの出力信号が外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。
画面にノイズが出る。	・接続ケーブルが正しく接続されていない。 ➔接続ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
画面表示が出ない。	初期設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 ➔「画面表示」の設定を「入」にしてください。

症状	原因と対処
色がおかしい。	・画質の設定がおかしい。 ➔画質設定メニューで画質の調整をしてください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。 ・初期設定メニューの「入力 A 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 A 信号種別」で「コンピューター」、「ビデオ GBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。 ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔画質設定メニューで正しく設定してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。 ・ランプが消耗している。 ➔情報メニューの「ランプ使用時間」を確認してください。
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔フォーカスを合わせてください。 ・結露が生じた。 ➔電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	・画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔スクリーンいっぱいに画像を映してからAPAキーを押してください。 ・スクリーンの設定がおかしい。 ➔スクリーン設定メニューの「シフト」を調整してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。
画面がちらつく。	・スクリーンの設定がおかしい。 ➔スクリーン設定メニューの「フェーズ」を調整してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。
画面のアスペクトが合っていない。	・スクリーンの設定がおかしい。 ➔スクリーン設定メニューの「アスペクト」を調整してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。 ・正しいケーブルで接続されていない。 ➔抵抗なしのステレオオーディオ接続ケーブルをお使いください。 ・音声が消音（ミューティング）されている。 ➔AUDIO MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。 ・音量が正しく調整されてない。 ➔リモートコマンダーのVOLUME＋/－キーで正しく調整してください。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(2 回点滅パターンのくり返し)	・ランプカバーがはずれている。 ➔カバーをしっかりとはめてください。
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(3 回点滅パターンのくり返し)	・セット内部が高温になり、温度センサーが働いた。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・ランプが高温になっている。 ➔90 秒以上たってランプが冷えてからもう 1 度電源を入れてください。 上記を試しても症状が再発する場合は、次のことが考えられます。 ・ランプの交換時期が来たためランプを交換する必要がある。 ・セット内部が高温になり温度ヒューズが切れている。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。(2 回点滅パターンのくり返し)	・内部が高温になっている。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔高地モードが「入」に設定されているか確認してください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。(4 回点滅パターンのくり返し)	ファンが故障している。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。(6 回点滅パターンのくり返し)	電源コードを抜いて、I/⏻ キーが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障しているか、セット内部が高温になり、温度ヒューズが切れている。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

主な仕様

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、3 原色光シャッター方式
LCD パネル　0.63 インチ XGA パネル、約 236 万画素（786,432 × 3）
レンズ　1.2 倍ズームレンズ
f 18.63 〜 22.36 mm
F1.65 〜 1.8
ランプ　200 W 高圧水銀ランプ
投影画面サイズ
40 インチ〜 300 インチ
光出力　VPL-DX10：2500 lm[1)]
VPL-DX11/DX15：3000 lm
（ランプモード 高のとき）

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離　付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書の「設置と設置寸法」をご覧ください。
カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）
解像度　水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）1,024 × 768 ドット（RGB 入力時）
対応コンピューター信号[2)]
fH: 19 〜 80 kHz、fV: 48 〜 92 Hz
（最高入力解像度信号：SXGA+ 1400 × 1050
fV: 60Hz）

2) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号
15 k RGB、コンポーネント 50/60Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60Hz、DTV（480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i）、コンポジットビデオ、Y/C
外形寸法　約 295 × 74 × 204 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）
質量　VPL-DX10/DX11：約 2 .1 kg
VPL-DX15：約 2 .2 kg
電源　AC 100 V、3.6 A、50/60 Hz
消費電力　VPL-DX15：最大 320 W
スタンバイ時（標準）：10.5 W
スタンバイ時（低）：3 W
VPL-DX10/DX11：
最大 320 W
スタンバイ時（標準）：5.5 W
スタンバイ時（低）：3 W
動作温度　0 ℃〜＋ 35 ℃
付属品　リモートコマンダー（1）
リチウム電池 CR2025（1）
HD D-sub 15 ピンケーブル（2 m）（1）（1-791-992-51 ／ Sony）
キャリングケース（1）
電源コード（1）
取扱説明書（CD-ROM）（1）
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）
ワイヤレスラベル（1）（VPL-DX15 のみ）

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失などは保障期間中および保障期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売りアクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-D200 (交換用）
プレゼンテーションツール
RM-PJPK1

別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。
ソニーの相談窓口に確認してください。

About the Supplied Manuals

The following manuals are supplied with the projector.

Manuals

Safety Regulations (separately printed manual)

This manual describes important notes and cautions to which you have to pay attention when handling and using this projector.

Quick Reference Manual (this manual)

This manual describes basic operations for projecting pictures after you have made the required connections.

Operating Instructions (on the CD-ROM)

This Operating Instructions describes the setup and operations of this projector.

Operating Instructions for Network/ USB File Viewer (VPL-DX15 only) (on the CD-ROM)

This Operating Instructions describes how to set up and operate the network presentation.

Note

You must have Adobe Acrobat Reader 5.0 or higher installed to read the Operating Instructions stored on the CD-ROM.

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the connections and basic operations of this unit, and gives notes on operations and information required for maintenance.
For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.
For safety precautions, refer to the separate "Safety Regulations."

This manual contains explanations for the VPL-DX10, VPL-DX11 and VPL-DX15 together. Be aware that the illustration of the VPL-DX15 is mainly used for explanation.

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM contains Operating Instructions and ReadMe file in Japanese, English, French, German, Italian, Spanish, Chinese and Russian. First, refer to the ReadMe file.

Preparations

To read the Operating Instructions in the CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 or later is required. If the Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download free Acrobat Reader software from URL of Adobe Systems.

To read the Operating Instructions

The Operating Instructions are contained in the supplied CD-ROM. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically after a while. Select the Operating Instructions you want to read.
The CD-ROM may not start automatically depending on the computer. In this case, open the Operating Instructions file as follows:

(In case of Windows)

① Open “My Computer.”

② Right-click the CD-ROM icon and select “Explorer.”

③ Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

(In case of Macintosh)

① Double-click the CD-ROM icon on the desk top.

② Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

Notes

If you cannot open “index.htm” file, double-click on the Operating Instructions you want to read from among those in “Operating_Instructions” folder.

About Trademarks

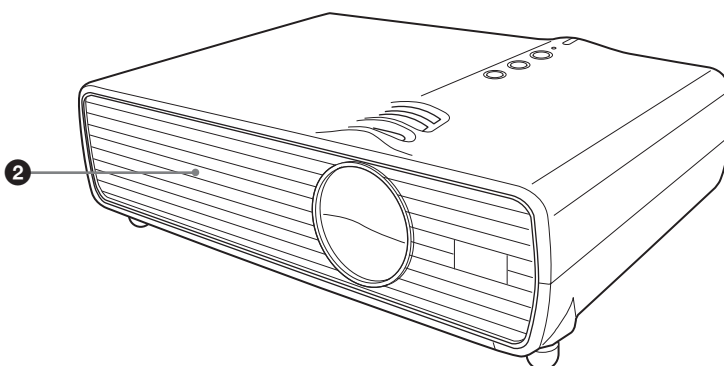
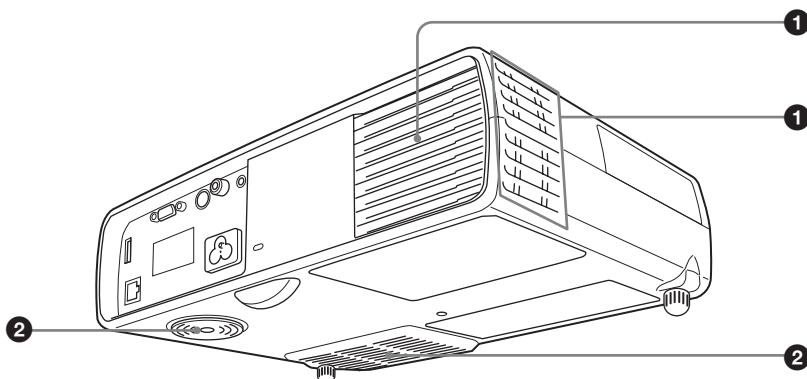
- Adobe Acrobat is a trademark of Adobe Systems Incorporated.
- Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Kensington is a registered trademark of Kensington Technology Group.
- Macintosh is a registered trademark of Apple Inc.
- VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
- Display Data Channel is a trademark of the Video Electronics Standards Association.
- All other trademarks and registered trademarks are trademarks or registered trademarks of their respective holders. In this manual, ™ and ® marks are not specified.

GB

Notes on Use

Note on the Ventilation Holes

Do not block ventilation holes (exhaust/intake). If they are blocked, internal heat may build up and cause fire or damage to the unit.
Check the positions of the ventilation holes shown in the following illustrations.

For other precautions, read the separate "Safety Regulations" carefully.

Projecting

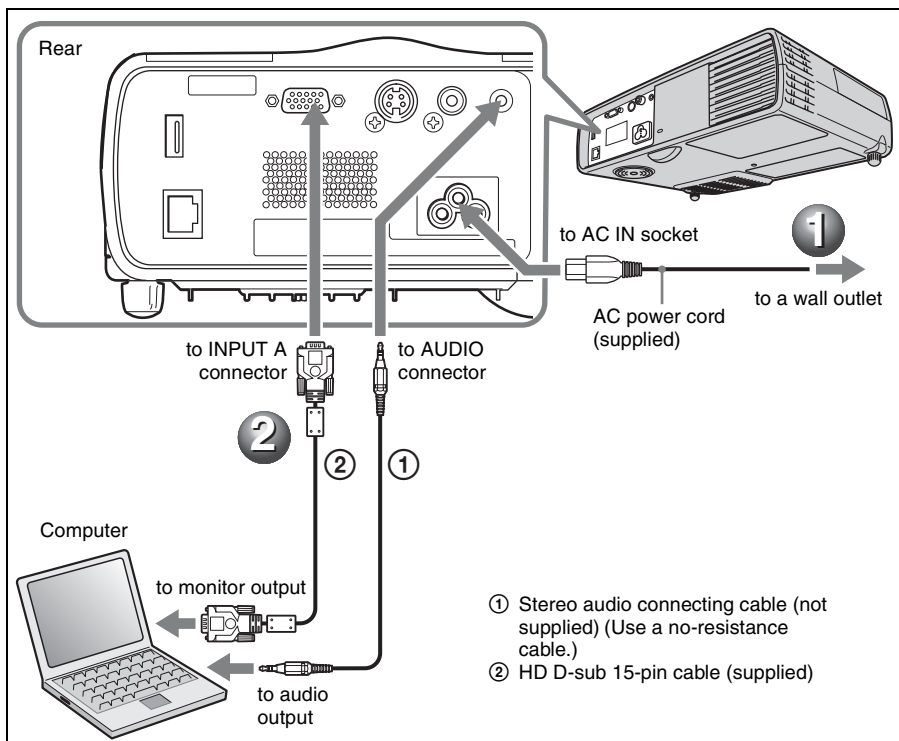
Connecting the Projector

When you connect the projector, make sure to:

- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly. When pulling out a cable, be sure to pull it out from the plug, not the cable itself.
- Refer also to the instruction manual of the equipment to be connected.
- For VPL-DX15, when connecting to a (Network) connector or (USB) connector, see “Operating Instructions for Network/USB File Viewer” stored on the CD-ROM.

To connect a computer

❶ Plug the AC power cord into a wall outlet.

❷ Connect the projector to a computer.

To connect a VCR/DVD player

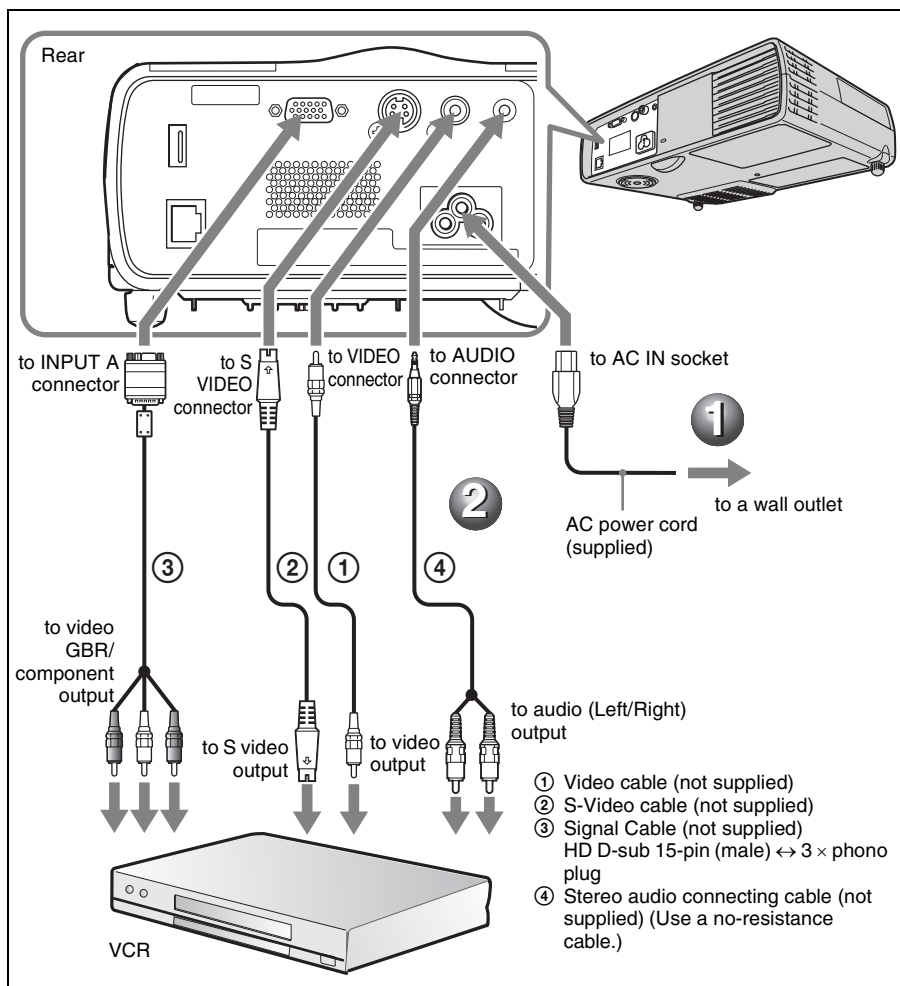
❶ Plug the AC power cord into a wall outlet.

❷ Connect the projector to a video equipment.

For video signal connections, the following three connecting options are available:

To connect to the video output connector of a VCR/DVD: Connect with cables ① and ④.

To connect to the S-Video output connector of a VCR/DVD: Connect with cables ② and ④.

To connect to the video GBR/Component connector of a VCR/DVD: Connect with cables ③ and ④.

Projecting

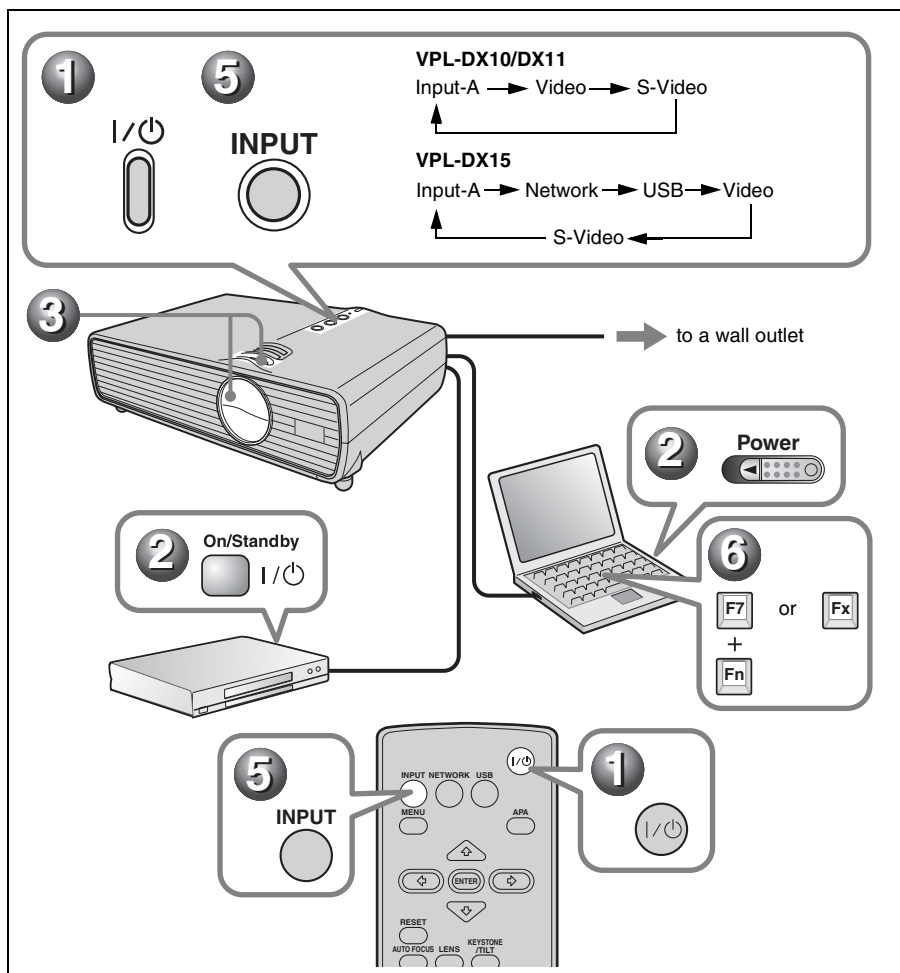
❶ **Press the I/⏻ key.**

❷ **Turn on the equipment connected to the projector.**

❸ **Move the lens shutter lever to open the lens shutter.**

❹ **Adjust the picture position, size, and focus.**
See "Adjusting the Projector" on page 8.

❺ **Press the INPUT key on the Remote Commander or the control panel to select the input source.**

❻ **When the computer is connected, set it to output the signal to only the external monitor.**

Adjusting the Projector

❶ Adjust the tilt (upper or lower position of the picture) of the projector with the adjusters.

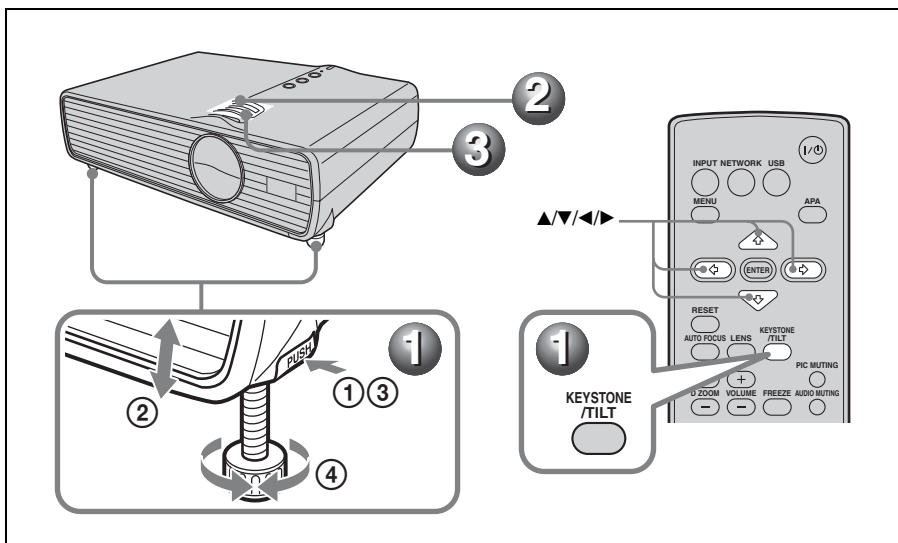
When you adjust the tilt with the adjusters, the V keystone adjustment is performed automatically.

① Lift the projector while holding the Adjuster button pressed.
② Adjust the tilt of the projector.
③ Release the Adjuster button.
④ When fine-tuning is necessary, turn the Adjuster right and left.

To adjust the tilt manually

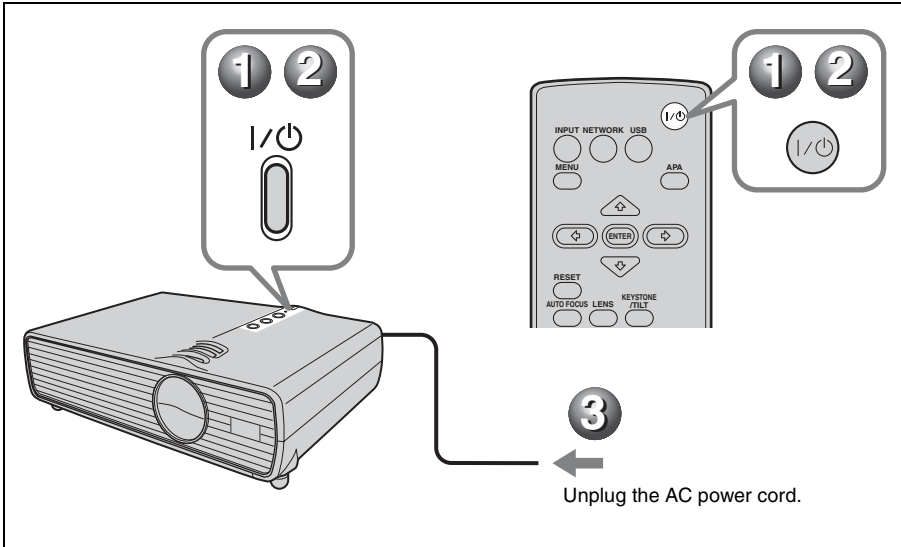
Press the KEYSTONE/TILT key on the Remote Commander to display the TILT menu and adjust the tilt using the ▲/▼/◀/▶ keys.

❷ Adjust the size of the picture with the Zoom ring.

❸ Adjust the focus with the Focus ring.

Turning off the Power

❶ **Press the I/⏻ key.**

❷ **When a message appears, press the I/⏻ key again.**

❸ **Unplug the AC power cord from the wall outlet after the fan has stopped running and the I/⏻ key has lit in red.**

Replacing the Lamp

The lamp used as a light source is a consumable product. Thus, replace the lamp with a new one in the following cases.

- When the lamp has burnt out or dims
- "Please replace the Lamp." appears on the screen
- The LAMP/COVER indicator flashes in orange (Repetition rate of 3 flashes) (Refer to page 14 for another possible cause.)

The lamp life varies depending on conditions of use.
Use an LMP-D200 Projector Lamp as the replacement lamp.
Use of any other lamps than the LMP-D200 may cause damage to the projector.

Caution

The lamp remains not after the projector is turned off with the I/⏻ key. **If you touch the lamp, you may burn your finger. When you replace the lamp, wait for at least an hour for the lamp to cool.**

Notes

- **If the lamp breaks, contact qualified Sony personnel.**
- Pull out the lamp by holding the handle. If you touch the lamp, you may be burned or injured.
- When removing the lamp, make sure it remains horizontal, then pull straight up. Do not tilt the lamp. If you pull out the lamp while it is tilted and if the lamp breaks, the pieces may scatter, causing injury.

1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

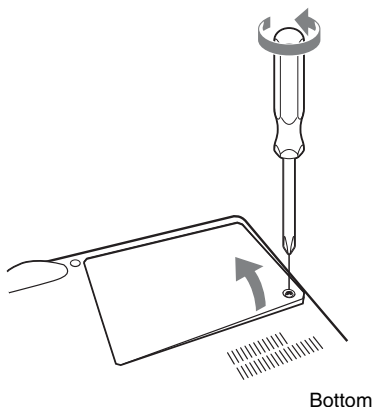
Note

When replacing the lamp after using the projector, wait for at least an hour for the lamp to cool.

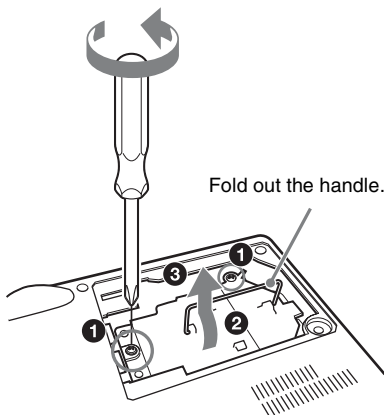
2 Place a protective sheet (cloth) beneath the projector. Turn the projector over so you can see its underside.

Note

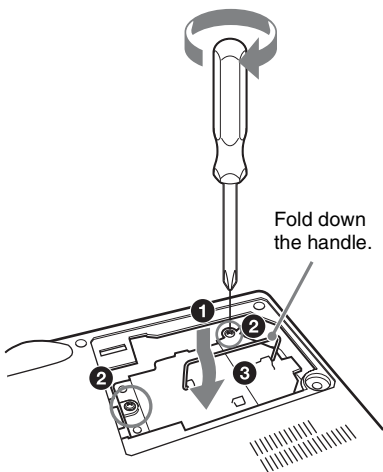
Be sure that the projector is stable after turning it over.

3 Open the lamp cover by loosening the screw with a Phillips screwdriver.

Note

For safety reasons, do not loosen any other screws.

4 Loosen the two screws on the lamp unit with the Phillips screwdriver (❶). Fold out the handle (❷), then pull out the lamp unit by the handle (❸).

Caution

Do not put your hands into the lamp replacement slot, and do not allow any liquid or other objects into the slot **to avoid electrical shock or fire.**

5 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place (❶). Tighten the two screws (❷). Fold down the handle to replace it (❸).

Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp and a inside conductor.
- Insert the handle firmly to attach it securely.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.

6 Close the lamp cover and tighten the screw.

Note

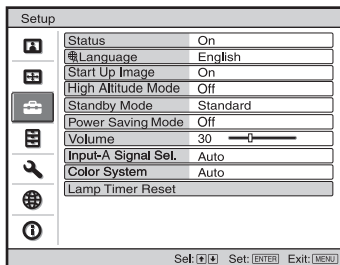
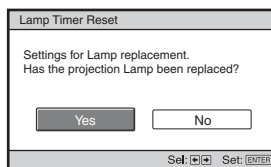
Be sure to attach the lamp cover securely as it was. If not, the projector cannot be turned on.

7 Turn the projector back over.

8 Connect the power cord.
The I/⏻ key lights in red.

9 Press the I/⏻ key to turn the projector on.

10 Press the MENU key, and then select the Setup menu.

11 Select "Lamp Timer Reset", and then press the ENTER key.

"Settings for Lamp replacement. Has the projection Lamp been replaced?" is displayed in the menu screen.

12 Select "Yes" with the ◀ key, and then press the ENTER key.
The Lamp Timer is initialized to 0, "Lamp Timer Reset Complete!" is displayed in the menu screen.

Disposal of the used lamp

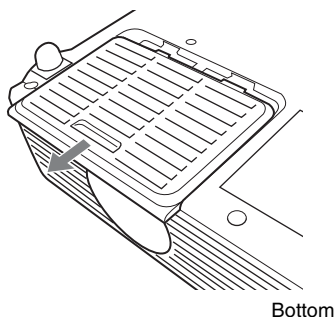
For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

The air filter should be cleaned after approximately 500 hours use. Remove the air filter cover then remove the dust with a cloth lightly dampened with mild detergent solution.
The time needed to clean the air filter will vary depending on the environment or how the projector is used.

1. Turn the power off and unplug the ower cord.
2. Place a protective sheet (cloth) beneath the projector and turn the projector over.
3. Remove the air filter cover.

Bottom

4. Remove the filter inside, and then wipe its dust with mild detergent.
5. Return the filter to the air filter cover.
6. Return the air filter cover.

Notes

- If the dust cannot be removed from the air filter, replace the air filter with a new one.
- For details on new air filter, consult with qualified Sony personnel.
- Be sure to attach the air filter cover firmly; it may cause a problem if the air filter cover is not installed properly.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following instructions. If the problem persists, consult with qualified Sony personnel.
For details on the symptoms, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Power

Symptom	Cause and Remedy
The power is not turned on.	• The AC power cable is not connected. → Connect the AC power cable firmly. • The lamp or lamp cover is not secured. → Close the lamp or lamp cover securely.

Picture

Symptom	Cause and Remedy
No picture.	The power is not turned on. → Turn on the power. • A cable is disconnected or the connections are wrong. → Check that the proper connections have been made. • The Lens shutter is closed. → Open the Lens shutter. • Input selection is incorrect. → Select the input source correctly. • The picture is muted. → Press the PIC MUTING key to release the picture muting. • The computer signal is not set to output to an external monitor or set to output both to an external monitor and a LCD monitor of a computer. → Set the computer signal to output only to an external monitor .
The picture is noisy.	The connecting cable may not be connected properly. → Check if the connecting cable is connected properly.
On-screen display does not appear.	"Status" in the Setup menu has been set to "Off." → Set "Status" in the Setup menu to "On".
Color balance is incorrect.	The image quality setting is not proper. → Set the image quality on the Picture menu. → You can reset all values to default. The setting of "Input-A Signal Sel." in the Setup menu is incorrect. → Select "Computer," "Video GBR" or "Component" correctly according to the input signal. • The projector is set to the wrong color system. → Set "Color System" in the Setup menu to match the color system being input.
The picture is too dark.	• Contrast or brightness has not been adjusted properly. → Adjust the Contrast or Brightness in the Picture menu properly. → You can reset all values to default. • The lamp has burnt out or is dim. → Check "Lamp Timer" on the Information menu.

Symptom	Cause and Remedy
The picture is not clear.	• The picture is out of focus. → Adjust the focus. • Condensation has accumulated on the lens. → Leave the projector for about two hours with the power on.
The image extends beyond the screen.	• The APA key has been pressed even though there are black edges around the image. → Display the full image on the screen and press the APA key. • The screen setting is not proper. → Adjust "Shift" on the Screen setting menu. → You can reset all values to default.
The picture flickers.	• The screen setting is not proper. → Adjust "Phase" on Screen setting menu. → You can reset all values to default.
The aspect ratio of the display is not right.	• The screen setting is not proper. → Adjust "Aspect" on the Screen setting menu. → You can reset all values to default.

Sound

Symptom	Cause and Remedy
No sound.	• A cable is disconnected or the connections are wrong. → Check that the proper connections have been made. • The audio connecting cable used is incorrect. → Use a no-resistance stereo audio cable. • The sound is muted. → Press the AUDIO MUTING key to release audio muting . • The sound is not adjusted properly. → Adjust the sound with the VOLUME +/– key on the Remote Commander.

Indicators

Symptom	Cause and Remedy
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 2 flashes)	• The lamp cover is detached. → Attach the cover securely.
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 3 flashes)	• The interior of the unit reached a high temperature, and the temperature sensor has been activated. → Check to see that nothing is blocking the fresh-air inlet and exhaust outlet. • The lamp has reached a high temperature. → Wait for 90 seconds for the lamp to cool then turn on the power again. After you have checked the items above, if any of the troubles recur, the following causes are possible: • The lamp must be replaced, because it has reached the end of its service life. • The interior of the unit reached a high temperature, and the temperature fuse burned out. → Consult with qualified Sony personnel.

Symptom	Cause and Remedy
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 2 flashes)	• The internal temperature is unusually high. ➔ Check to see that nothing is blocking the ventilation holes. • The projector is being used at a high altitude. ➔ Ensure that “High Altitude Mode” in the Setup menu is set to “On.”
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 4 flashes)	The fan is broken. ➔ Consult with qualified Sony personnel.
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 6 flashes)	Unplug the AC power cord from the wall outlet after the I/⏻ key goes out, plug the power cord to the wall outlet, and then turn the projector on again. If the I/⏻ key flashes in red and the problem persists, the electrical system has failed. Or the interior of the unit reached a high temperature, and the temperature fuse has burned out. ➔ Consult with qualified Sony personnel.

Specifications

Projection system
3 LCD panels, 1 lens, projection system
LCD panel 0.63-inch XGA panel, approximately 2,360,000 pixels (786,432 pixels × 3)
Lens 1.2 times zoom lens
f 18.63 to 22.36 mm/F1.65 to 1.8
Lamp 200 W Ultra High Pressure mercury lamp
Projected picture size (measured diagonally)
40 to 300 inches
Light output VPL-DX10: 2500 lumen
VPL-DX11/DX15: 3000 lumen
(When the Lamp Mode is set to "High.")
Throwing distance
Refer to "Installing the Projector and Installation Diagram" in "Operating Instructions" included on the supplied CD-ROM.
Color system NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 system, switched automatically/manually
(NTSC4.43 is the color system used when playing back a video recorded in NTSC on a NTSC4.43 system VCR.)
Resolution 750 horizontal TV lines (Video input)
1,024 × 768 dots (RGB input)
Acceptable computer signals[1)]
fH: 19 to 80 kHz
fV: 48 to 92 Hz
(Maximum input signal resolution: SXGA+ 1400 × 1050
fV: 60 Hz)

[1)] Set the resolution and the frequency of the signal of the connected computer within the range of acceptable preset signals of the projector.

Applicable video signals
15 k RGB, Component 50/60 Hz, Progressive component 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Composite video, Y/C
Dimensions Approx. 295 × 74 × 204 mm (11 5/8 × 2 29/32 × 8 1/32 inches) (w/h/d) (without projecting parts)
Mass VPL-DX10/DX11: Approx. 2.1 kg (4 lb 11 oz)
VPL-DX15: Approx. 2.2 kg (4 lb 14 oz)
Power requirements
AC 100 to 240 V, 3.6 to 1.6 A, 50/60 Hz
Power consumption
VPL-DX15: Max. 320 W
in standby (Standard): 10.5 W
in standby (Low): 3 W
VPL-DX10/DX11: Max. 320 W
in standby (Standard): 5.5 W
in standby (Low): 3 W
Operating temperature
0°C to 35°C (32°F to 95°F)
Supplied accessories
Remote Commander (1)
Lithium battery CR2025 (1)
HD D-sub 15 pin cable (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony)
Carrying case (1)
AC power cord (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)
Quick Reference Manual (1)
Safety Regulations (1)
Security Label (1)

Design and specifications of the unit, including the optional accessories, are subject to change without notice.

Note

Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Optional accessories

Projector Lamp
LMP-D200 (for replacement)
Presentation Tool
RM-PJPK1

Not all optional accessories are available in all countries and area.
Please check with your local Sony Authorized Dealer.

Notes sur les manuels fournis

Les manuels suivants sont fournis avec le projecteur.

Manuels

Règlements de sécurité (manuel imprimé séparé)

Ce manuel comprend d'importantes remarques et des mises en garde dont vous devez tenir compte lorsque vous manipulez ou utilisez ce projecteur.

Guide de référence rapide (ce manuel)

Ce guide décrit les opérations de base pour la projection d'images après avoir effectué les raccordements requis.

Mode d'emploi (sur le CD-ROM)

Ce Mode d'emploi décrit l'installation et l'utilisation de ce projecteur.

Mode d'emploi pour le Visualisateur de fichiers réseau/USB (VPL-DX15 seulement) (sur le CD-ROM)

Ce Mode d'emploi explique comment installer et utiliser l'appareil pour des présentations en réseau.

Remarque

Pour pouvoir lire le Mode d'emploi sur le CD-ROM, le logiciel Adobe Acrobat Reader 5.0 ou version ultérieure doit être installé.

A propos du guide de référence rapide

Ce Guide de référence rapide décrit les raccordements requis et les opérations de base de cet appareil, et donne des informations concernant son entretien.
Pour obtenir des informations détaillées sur le fonctionnement de cet appareil, consultez le mode d'emploi sur le CD-ROM fourni.
Pour obtenir des informations sur les précautions de sécurité à observer, consultez « Règlements de sécurité » qui est imprimé séparément.

Ce manuel fournit des détails sur l'utilisation des modèles VPL-DX10, VPL-DX11 et VPL-DX15. Veuillez noter que les illustrations du projecteur VPL-DX15 sont utilisées principalement dans ce manuel.

Utilisation des manuels sur CD-ROM

Le CD-ROM fourni comporte les modes d'emploi et le fichier ReadMe, en japonais, en anglais, en français, en allemand, en italien, en espagnol, en chinois et en russe. Veuillez tout d'abord consulter le fichier ReadMe.

Préparation

Pour pouvoir lire le mode d'emploi sur le CD-ROM, le logiciel Adobe Acrobat Reader 5.0, ou une version ultérieure, doit être installé. Si Adobe Acrobat Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez télécharger une version gratuite de ce logiciel depuis le site Internet de Adobe Systems.

Pour lire le mode d'emploi

Le mode d'emploi se trouve sur le CD-ROM fourni. Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur. Il démarrera automatiquement après quelques instants. Sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.
Sur certains ordinateurs le CD-ROM ne démarrera pas automatiquement. Dans ce cas, ouvrez le fichier du mode d'emploi de la façon suivante.

(Avec un système d'exploitation Windows)

① Ouvrez « Poste de travail ».

② Faites un clic droit sur l'icône du CD-ROM et sélectionnez « Explorer ».

③ Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

(Avec un système d'exploitation Macintosh)

① Double-cliquez sur l'icône du CD-ROM sur le bureau.

② Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

Remarque

Si vous n'êtes pas en mesure d'ouvrir le fichier « index.htm », double-cliquez sur le mode d'emploi que vous souhaitez lire dans le dossier « Operating_Instructions ».

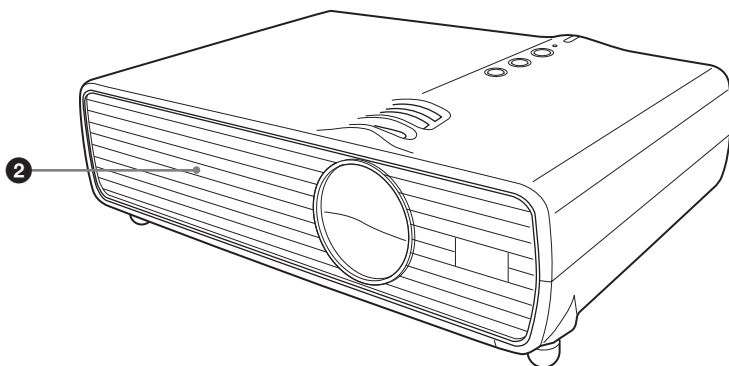
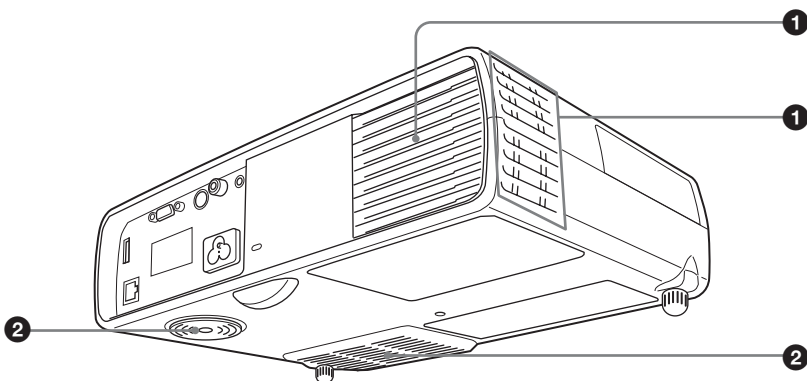
Marques

- Adobe Acrobat est une marque d'Adobe Systems Incorporated.
- Windows est une marque déposée de Microsoft Corporation aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Kensington est une marque déposée de Kensington Technology Group.
- Macintosh est une marque déposée d'Apple Inc.
- VESA est une marque déposée de Video Electronics Standards Association.
- Display Data Channel est une marque de Video Electronics Standards Association.
- Toutes les autres marques commerciales et marques déposées sont des marques commerciales ou marques déposées de leurs détenteurs respectifs. Les marques ™ et ® ne sont pas spécifiées dans ce manuel.

Remarques concernant l'utilisation

Remarque sur les orifices de ventilation

N'obstruez pas les orifices de ventilation (sortie et prise d'air). S'ils sont bloqués, une surchauffe interne risque de se produire et causer un incendie ou endommager l'appareil. Vérifiez la position des orifices de ventilation dans les illustrations suivantes.

Pour plus d'informations sur les précautions à prendre, lisez attentivement la « Règlements de sécurité » qui est imprimée séparément.

Projection

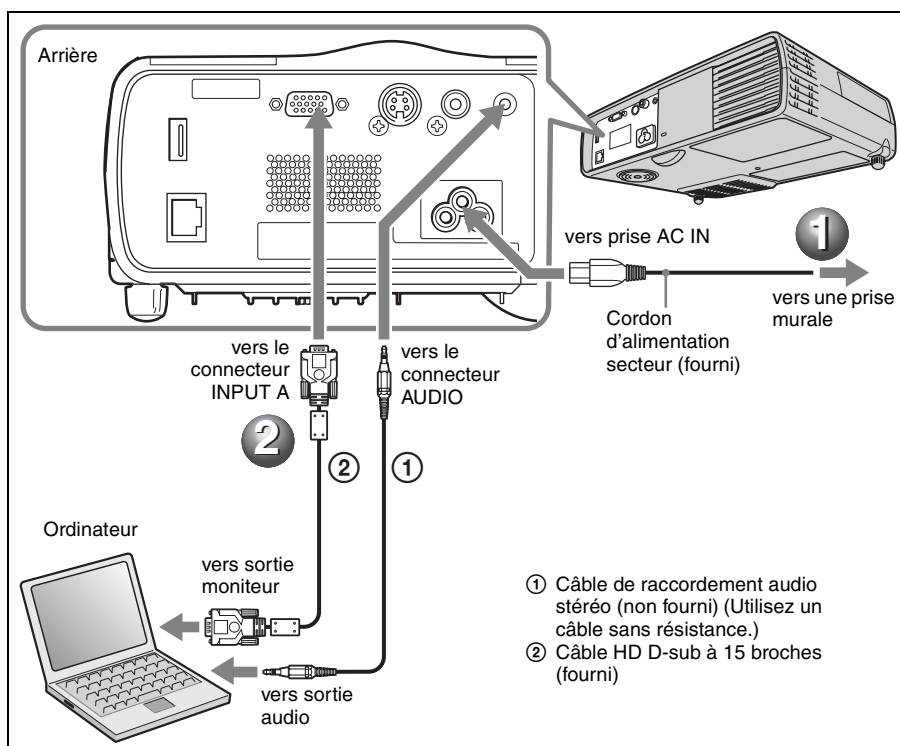
Raccordement du projecteur

Lors du raccordement du projecteur :

- Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Insérez fermement les fiches de câble. Débranchez les cables en les tenant par leur fiche. Ne tirez pas sur le cable lui-même.
- Consultez également le Mode d'emploi de l'équipement raccordé.
- Pour le modèle VPL-DX15, lors d'un raccordement à un connecteur 品 (réseau) ou un connecteur ⭠ (USB), voir le « Mode d'emploi pour le visualisateur de fichiers réseau/ USB » sur le CD-ROM fourni.

Pour raccorder un ordinateur

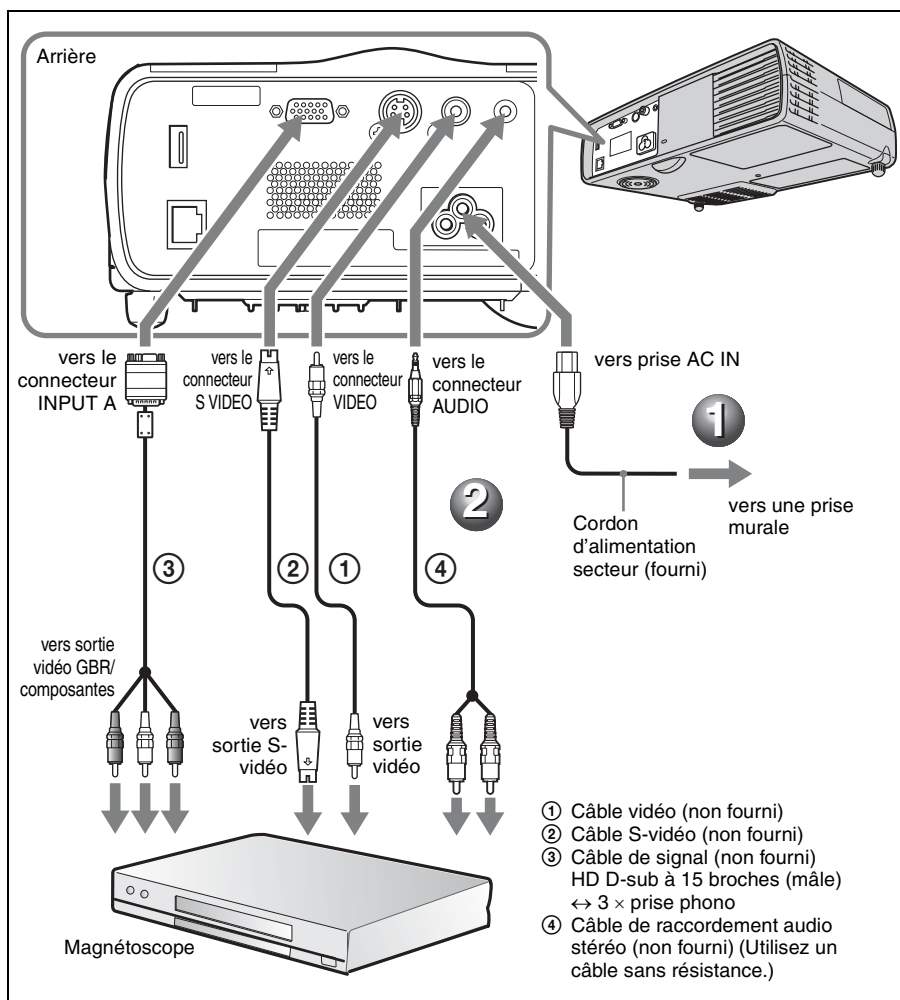
❶ Branchez le cordon d'alimentation secteur à une prise murale.

❷ Raccordez le projecteur à l'ordinateur.

Pour raccorder un magnétoscope ou un lecteur de DVD

❶ Branchez le cordon d'alimentation secteur à une prise murale.

❷ Raccordez le projecteur à un appareil vidéo.

Les trois options de raccordements suivantes sont disponibles pour le signal vidéo :

Pour raccorder le projecteur au connecteur de sortie vidéo d'un magnétoscope/ lecteur DVD : Utilisez les câbles ① et ④.
Pour raccorder le projecteur au connecteur de sortie S-vidéo d'un magnétoscope/ lecteur DVD : Utilisez les câbles ② et ④.
Pour raccorder le projecteur au connecteur GBR/composantes d'un magnétoscope/ lecteur DVD : Utilisez les câbles ③ et ④.

Projection

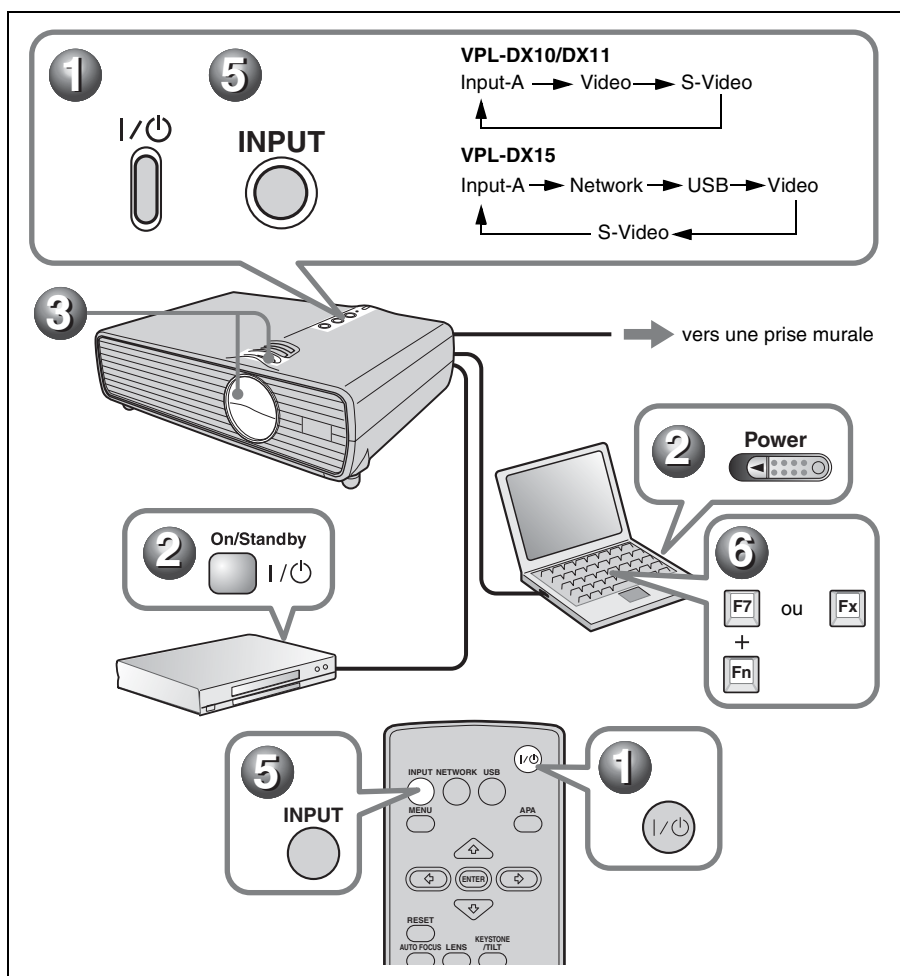
❶ **Appuyez sur la touche I/⏻.**

❷ **Mettez l'appareil raccordé au projecteur sous tension.**

❸ **Déplacez le levier de l'obturateur de l'objectif pour ouvrir l'obturateur de l'objectif.**

❹ **Ajustez la position, la taille, et la mise au point de l'image.**
Voir « Ajustement du projecteur » à la page 8.

❺ **Appuyez sur la touche INPUT de la télécommande ou du panneau de commande pour sélectionner la source d'entrée.**

❻ **Une fois l'ordinateur raccordé, réglez-le pour que le signal soit envoyé seulement au moniteur externe.**

Ajustement du projecteur

❶ **Utilisez les supports réglables pour ajuster l'inclinaison (la position supérieure ou inférieure de l'image) du projecteur.**

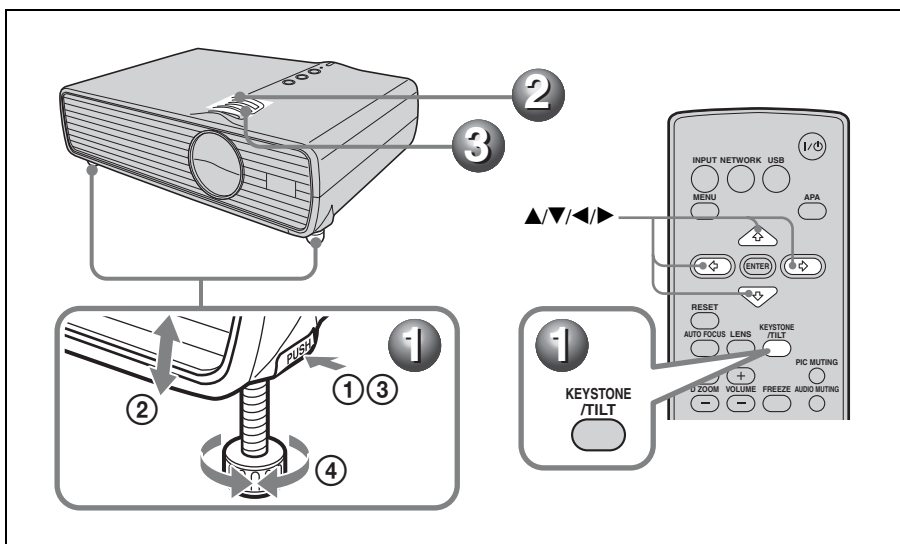
La correction de trapèze V est effectuée automatiquement lorsque vous ajustez l'inclinaison avec les supports réglables.

① Soulevez le projecteur tout en appuyant sur le bouton du support.
② Ajustez l'inclinaison du projecteur.
③ Relâchez le bouton.
④ Pour un ajustement précis, tournez le support vers la droite ou la gauche.

Pour ajuster manuellement l'inclinaison

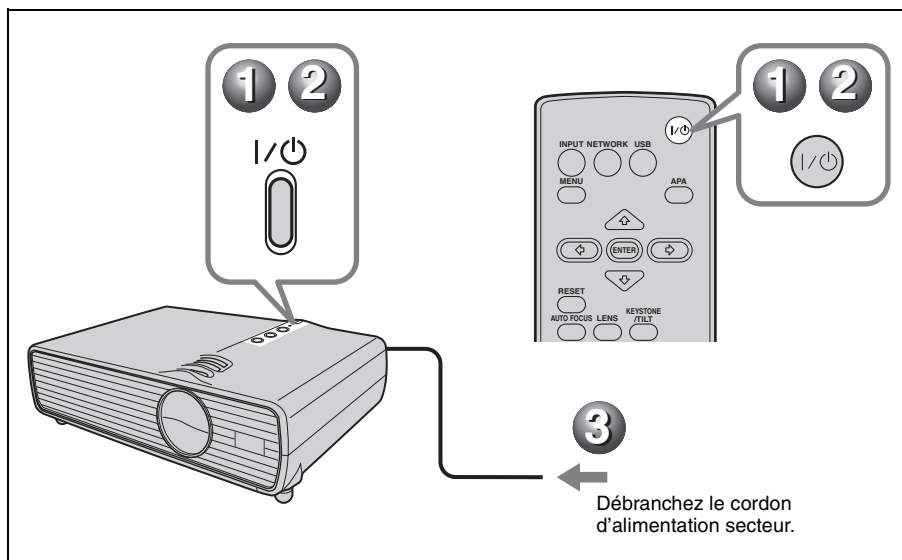
Appuyez sur la touche KEYSTONE/TILT de la télécommande pour afficher le menu TILT et ajustez l'inclinaison avec les touches ▲/▼/◀/▶.

❷ **Ajustez la taille de l'image avec la bague de zoom.**

❸ **Ajustez la mise au point avec la bague de mise au point.**

Mise hors tension

❶ **Appuyez sur la touche I/⏻.**

❷ **Lorsqu'un message apparaît, appuyez une nouvelle fois sur la touche I/⏻.**

❸ **Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois que le ventilateur s'est arrêté et que la touche I/⏻ est allumé en rouge.**

Remplacement de la lampe

La lampe utilisée comme source d'éclairage est un produit consommable ; remplacez cette lampe par une neuve dans les cas suivants :

- Lorsque la lampe a grillé ou perdu de sa luminosité
- « Remplacer la lampe. » apparaît sur l'écran
- Le témoin LAMP/COVER clignote en orange (Taux de répétition de 3 clignotements) (Voir page 15 pour une autre cause possible.)

La durée de vie de la lampe dépend des conditions d'utilisation.
Utilisez une lampe pour projecteur LMP-D200 comme lampe de rechange. L'utilisation de lampes autres qu'une LMP-D200 peut provoquer des dommages au projecteur.

Mise en garde

La lampe reste chaude après la mise sous tension du projecteur avec la touche I/⏻. **Ne la touchez pas car vous pourriez vous brûler les doigts. Avant de remplacer la lampe, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.**

Remarques

- **Si la lampe se casse, contactez un technicien Sony agréé.**
- Retirez la lampe en la tenant par la poignée. Ne touchez pas la lampe car vous pourriez vous brûler ou vous blesser.
- Lorsque vous retirez la lampe, veillez à ce qu'elle reste horizontale et tirez-la droit vers le haut. N'inclinez pas la lampe. Si vous retirez la lampe en l'inclinant et qu'elle se casse, vous risquez d'être blessé par des projections de verre.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise de courant.

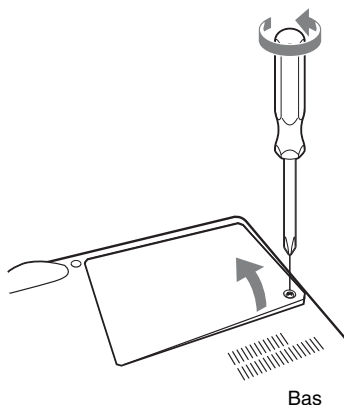
Remarque

Avant de remplacer la lampe après avoir utilisé le projecteur, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.

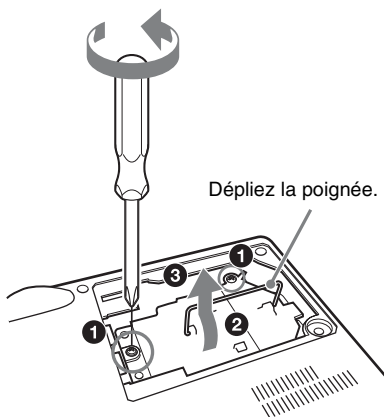
2 Placez une couche de protection (chiffon) sous le projecteur. Retournez le projecteur tête en bas de façon que sa face inférieure soit visible.

Remarque

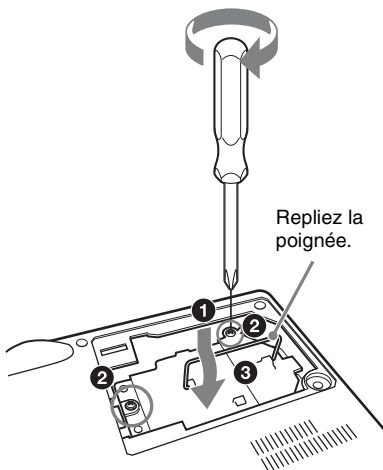
Assurez-vous que le projecteur est stable après l'avoir retourné.

3 Ouvrez le couvercle de la lampe en desserrant la vis avec un tournevis cruciforme.

Remarque

Par mesure de sécurité, ne desserrez pas d'autres vis.

4 Desserrez les deux vis du bloc de lampe à l'aide du tournevis cruciforme (❶). Dépliez la poignée (❷), puis retirez la lampe en la tenant par la poignée (❸).

Attention

N'introduisez pas les doigts dans la fente de remplacement de la lampe et veillez à ce qu'aucun liquide ou objet ne tombe à l'intérieur de la fente **pour éviter tout risque d'électrocution ou d'incendie**.

5 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place (❶). Serrez les deux vis (❷). Maintenez la poignée abaissée lorsque vous remplacez la lampe (❸).

Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe et un conducteur à l'intérieur.
- Insérez fermement la poignée pour la fixer correctement.
- Le projecteur ne se met pas sous tension si la lampe n'est pas correctement installée.

6 Refermez le couvercle de la lampe et resserrez la vis.

Remarque

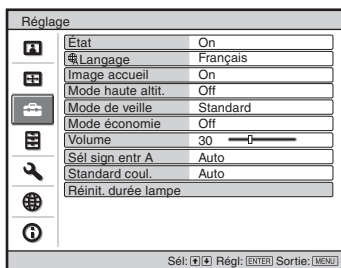
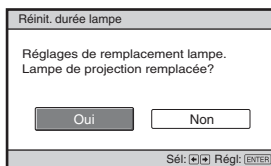
Assurez-vous de remettre solidement en place le couvercle de la lampe à sa position initiale. Sinon le projecteur ne peut pas être mis sous tension.

7 Remettez le projecteur à l'endroit.

8 Branchez le cordon d'alimentation. La touche I/⏻ s'allume en rouge.

9 Appuyez sur la touche I/⏻ pour allumer le projecteur.

10 Appuyez sur la touche MENU, puis sélectionnez le menu Réglage.

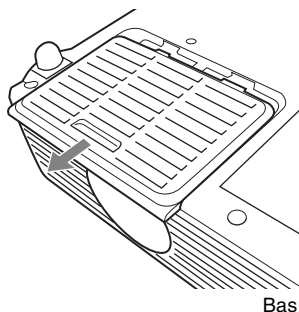
11 Sélectionnez « Réinit. durée lampe », puis appuyez sur la touche ENTER.

« Réglages de remplacement lampe. Lampe de projection remplacée? » s'affiche sur l'écran de menu.

12 Sélectionnez « Oui » avec la touche ◄, puis appuyez sur la touche ENTER.
La durée de lampe est initialisée à 0, et « Réinitialisation de durée de lampe terminée! » s'affiche sur écran de menu.

Nettoyage du filtre à air

Le filtre à air doit être nettoyé au bout d'environ 500 heures d'utilisation. Retirez le couvercle du filtre à air, et utilisez un chiffon légèrement imprégné d'un détergent doux pour retirer la poussière. Le temps nécessaire au nettoyage du filtre à air varie suivant l'environnement ou les conditions d'utilisation du projecteur.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

2 Placez une couche de protection (chiffon) sous le projecteur et retournez le projecteur.

3 Ôtez le couvercle du filtre à air.

4 Retirez le filtre, et essuyez-le avec avec un détergent doux.

5 Replacez le filtre sur le couvercle du filtre à air.

6 Replacez le couvercle du filtre à air.

Remarques

- S'il n'est pas possible d'enlever la poussière du filtre à air, remplacez ce dernier par un neuf.
- Pour plus d'informations sur les nouveaux filtres à air, veuillez contacter votre représentant Sony.
- Assurez-vous de bien fixer le couvercle du filtre à air pour éviter des problèmes de fonctionnement du projecteur.

Dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et de remédier au problème comme il est indiqué ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le service après-vente Sony.
Pour plus de renseignements sur ce problème, consultez le mode d'emploi sur le CD-ROM.

Tension

Symptôme	Cause et remède
Le projecteur ne se met pas sous tension.	• Le cordon d'alimentation secteur n'est pas branché. ➔ Branchez fermement le cordon d'alimentation secteur. • La lampe ou son couvercle n'est pas correctement fixé en place. ➔ Fixez correctement la lampe ou son couvercle.

Image

Symptôme	Cause et remède
Pas d'image.	• Le projecteur ne se met pas sous tension. ➔ Allumez le projecteur. • Un câble est débranché ou les raccordements sont incorrects. ➔ Assurez-vous que les raccordements sont bien effectués. • L'obturateur de l'objectif est fermé. ➔ Ouvrez l'obturateur de l'objectif. • La sélection d'entrée est incorrecte. ➔ Sélectionnez la source d'entrée correcte. • L'image a été masquée. ➔ Appuyez sur la touche PIC MUTING pour faire réapparaître l'image. • Le signal de l'ordinateur n'est pas réglé sur sortie vers un moniteur externe ou réglé sur sortie vers un moniteur externe et un moniteur LCD d'un ordinateur. ➔ Réglez le signal d'ordinateur pour une sortie vers un moniteur externe uniquement.
L'image est parasitée.	Il n'est pas possible de brancher correctement le câble de raccordement. ➔ Vérifiez que le câble de raccordement est bien branché.
L'affichage sur écran n'apparaît pas.	« État » dans le menu Réglage a été réglé sur « Off ». ➔ Réglez « État » dans le menu Réglage sur « On ».

Symptôme	Cause et remède
La balance des couleurs est incorrecte.	• La qualité d'image est mal réglée. ➔ Réglez la qualité d'image dans le menu Image. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut. • L'option sélectionnée pour « Sél sign entr A » dans le menu Réglage est incorrecte. ➔ Sélectionnez correctement l'option « Ordinateur », « Vidéo GBR » ou « Composant » selon le signal d'entrée. • Le projecteur est réglé sur le mauvais standard couleur. ➔ Réglez « Standard coul. » dans le menu Réglage sur le standard couleur du signal d'entrée.
L'image est trop sombre.	• Le contraste ou la Lumière ne sont pas correctement réglés. ➔ Réglez correctement le Contraste ou la Lumière dans le menu Image. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut. • La lampe est grillée ou a perdu de sa luminosité. ➔ Réglez « Durée de lampe » dans le menu Informations.
L'image n'est pas nette.	• L'image est mal mise au point. ➔ Réglez la mise au point. • De la condensation s'est formée sur l'objectif. ➔ Laissez le projecteur sous tension pendant environ deux heures.
L'image dépasse de l'écran.	• Vous avez appuyé sur la touche APA bien qu'il y ait des bandes noires autour de l'image. ➔ Affichez l'image en entier sur l'écran et appuyez sur la touche APA. • Le réglage de l'écran est incorrect. ➔ Réglez « Déplacement » dans le menu de configuration Ecran. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut.
L'image tremblote.	• Le réglage de l'écran est incorrect. ➔ Réglez « Phase » dans le menu de configuration Ecran. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut.
Le rapport de format de l'écran est incorrect.	• Le réglage de l'écran est incorrect. ➔ Réglez « Aspect » dans le menu de configuration Ecran. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut.

Son

Symptôme	Cause et remède
Pas de son.	• Un câble est débranché ou les raccordements sont incorrects. ➔ Assurez-vous que les raccordements sont bien effectués. • Le câble de raccordement audio utilisé est incorrect. ➔ Utilisez un câble audio stéréo sans résistance. • Le son est coupé. ➔ Appuyez sur la touche AUDIO MUTING pour annuler la coupure du son. • Le son n'est pas correctement réglé. ➔ Ajustez le son avec la touche VOLUME +/– de la télécommande.

Indicateurs

Symptôme	Cause et remède
Le témoin LAMP/COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 2 clignotements)	• Le couvercle de la lampe est mal fixé. ➔ Fixez fermement le couvercle.
Le témoin LAMP/COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 3 clignotements)	• L'intérieur de l'appareil a atteint une température élevée, et le capteur de température a été activé. ➔ Vérifiez que rien ne bloque l'arrivée d'air frais et les fentes de ventilation. • La lampe a atteint une température élevée. ➔ Attendez 90 secondes pour que la lampe refroidisse, puis rallumez le projecteur. Lorsque vous avez vérifié les éléments ci-dessus, si la panne se reproduit, cela peut être dû aux causes suivantes : • La lampe a atteint la fin de sa durée de vie utile et doit être remplacée. • L'intérieur de l'appareil a atteint une température élevée, et le fusible de la température a grillé. ➔ Consultez le service après-vente Sony.
La touche I/⏻ clignote en rouge. (Taux de répétition de 2 clignotements)	• La température à l'intérieur du projecteur est anormalement élevée. ➔ Assurez-vous que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués. • Le projecteur est utilisé à haute altitude. ➔ Assurez-vous que « Mode haute altit. » dans le menu Réglage est réglé sur « On ».
La touche I/⏻ clignote en rouge. (Taux de répétition de 4 clignotements)	Le ventilateur est défectueux. ➔ Consultez le service après-vente Sony.
La touche I/⏻ clignote en rouge. (Taux de répétition de 6 clignotements)	Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois la touche I/⏻ éteinte, puis rebranchez-le et remettez le projecteur sous tension. Si le la touche I/⏻ clignote en rouge et que le problème persiste, le circuit électrique est en panne. Ou alors, l'intérieur de l'appareil a atteint une température élevée, et le fusible de la température a grillé. ➔ Consultez le service après-vente Sony.

Spécifications

Système de projection
3 panneaux LCD, 1 objectif, système de projection
Panneau LCD Panneau XGA de 0,63 pouce, 2 360 000 pixels environ (786 432 pixels × 3)
Objectif Objectif zoom 1,2 fois
f 18,63 à 22,36 mm/F1,65 à 1,8
Lampe Lampe au mercure ultra-haute pression de 200 W
Dimensions de l'image projetée (en diagonale)
40 à 300 pouces
Intensité lumineuse
VPL-DX10 : 2 500 lumen
VPL-DX11/DX15 : 3 000 lumen
(Lorsque Mode de lampe est sur « Haut ».)
Distance de projection
Voir « Installation du projecteur et schéma d'installation » dans le « Mode d'emploi » sur le CD-ROM fourni.
Standard couleur
Système NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, sélection automatique/manuelle
(NTSC4.43 est le standard couleur utilisé lors de la lecture d'une cassette vidéo enregistrée en NTSC sur un magnétoscope NTSC4.43.)
Résolution 750 lignes TV horizontales (entrée vidéo)
1 024 × 768 pixels (entrée RVB)
Signaux d'ordinateur compatibles[1)]
fH : 19 à 80 kHz
fV : 48 à 92 Hz
(Résolution maximale du signal d'entrée : SXGA+ 1400 × 1050 fV : 60 Hz)

1) Spécifiez la résolution et la fréquence du signal de l'ordinateur utilisé dans les limites des signaux préprogrammés admissibles du projecteur.

Signaux vidéo utilisables
15 k RVB, Composantes 50/60 Hz, composantes progressif 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), vidéo composite, Y/C

Dimensions environ 295 × 74 × 204 mm (11 5/8 × 2 29/32 × 8 1/32 pouces) (l/h/p) (sans parties externes)
Poids VPL-DX10/DX11 : 2,1 kg (4 lb 11 oz) environ
VPL-DX15 : 2,2 kg (4 lb 14 oz) environ
Alimentation 100 V à 240 V CA, 3,6 A à 1,6 A, 50/60 Hz
Consommation électrique
VPL-DX15 : 320 W max.
en veille (Standard) : 10,5 W
en veille (Bas) : 3 W
VPL-DX10/DX11 : 320 W max.
en veille (Standard) : 5,5 W
en veille (Bas) : 3 W
Température de fonctionnement
0 à 35 °C (32 à 95 °F)
Accessoires fournis
Télécommande (1)
Pile au lithium CR2025 (1)
Câble HD D-sub à 15 broches (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony)
Mallette de transport (1)
Cordon d'alimentation secteur (1)
Mode d'emploi (CD-ROM) (1)
Guide de référence rapide (1)
Reglements de sécurité (1)
Étiquette de sécurité (1)

La conception et les spécifications de l'appareil et de ses accessoires en option sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Remarque

Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.

Accessoires en option

Lampe de projecteur
LMP-D200 (pour remplacement)
Outil de présentation
RM-PJPK1

Les accessoires en option ne sont pas tous disponibles dans tous les pays et régions. Pour plus d'informations, veuillez contacter votre revendeur Sony agréé.

Acerca de los manuales que se suministran

Con el proyector se suministran los siguientes manuales.

Manuales

Normativa de seguridad (manual impreso por separado)

Este manual describe notas y precauciones importantes a las que debe prestar atención cuando manipule y utilice este proyector.

Manual de referencia rápida (este manual)

Este manual describe operaciones básicas para la proyección de imágenes una vez realizadas las conexiones necesarias.

Manual de instrucciones (en el CD-ROM)

Este Manual de instrucciones describe la instalación y el funcionamiento de este proyector.

Manual de instrucciones del visor archivos de red/USB (solamente VPL-DX15) (en el CD-ROM)

Este Manual de instrucciones describe cómo configurar y operar las presentaciones de red.

Nota

Para leer el Manual de instrucciones que contiene el CD-ROM se necesita Adobe Acrobat Reader 5.0 o superior.

Acerca del manual de referencia rápida

Este manual de referencia rápida explica las conexiones y las operaciones básicas de esta unidad, y ofrece notas sobre el funcionamiento e información necesarias para el mantenimiento.
Para ver información detallada sobre el funcionamiento, consulte el manual de instrucciones que contiene el CD-ROM que se suministra.
Para ver las precauciones de seguridad, consulte por separado las “Normativa de seguridad”.

Este manual contiene explicaciones para los modelos VPL-DX10, VPL-DX11 y VPL-DX15. Tenga en cuenta que para las explicaciones se utilizan principalmente ilustraciones del VPL-DX15.

Usar los manuales del CD-ROM

El CD-ROM suministrado contiene el manual de instrucciones y el archivo ReadMe en japonés, inglés, francés, alemán, italiano, español, chino e ruso. En primer lugar, consulte el archivo ReadMe.

Preparativos

Para leer el manual de instrucciones del CD-ROM necesita Adobe Acrobat Reader 5.0 o posterior. Si no tiene Adobe Acrobat Reader instalado en el ordenador, puede descargar de forma gratuita el software de Acrobat Reader desde la dirección URL de Adobe Systems.

Para leer el manual de instrucciones

El manual de instrucciones están en el CD-ROM que se suministra. Inserte en la unidad de CD-ROM del ordenador el CD-ROM que se suministra; el CD-ROM se iniciará automáticamente después de unos momentos. Selecciones el manual de instrucciones que desee leer.
Es posible que el CD-ROM no se inicie automáticamente, según el ordenador. En este caso, abra el archivo de manual de instrucciones de la manera siguiente:

(En el caso de Windows)

① Abra “Mi PC”.

② Haga clic con el botón derecho del ratón en el icono de CD-ROM y seleccione “Explorar”.

③ Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

(En el caso de Macintosh)

① Haga doble clic en el icono de CD-ROM en el escritorio.

② Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

Notas

Si no puede abrir el archivo “index.htm”, haga doble clic en el manual de instrucciones que desee leer de entre las de la carpeta “Operating_Instructions”.

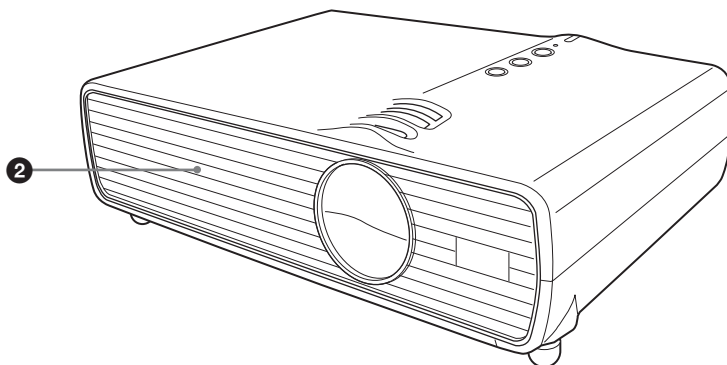
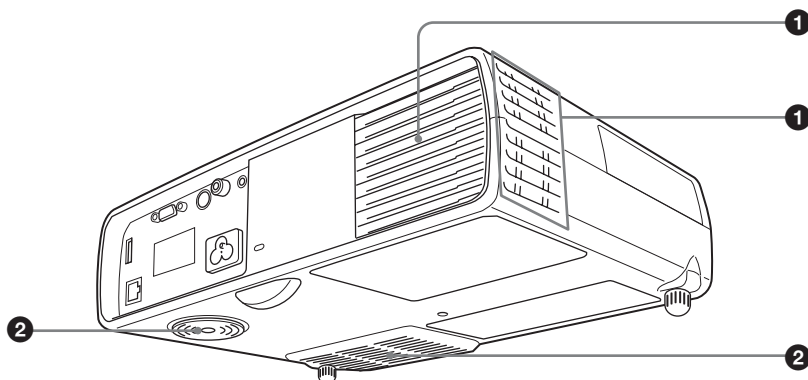
Acerca de las marcas comerciales

- Adobe Acrobat es una marca comercial de Adobe Systems Incorporated.
- Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Kensington es una marca comercial registrada de Kensington Technology Group.
- Macintosh es una marca comercial registrada de Apple Inc.
- VESA es una marca comercial registrada de Video Electronics Standards Association.
- Display Data Channel es una marca comercial de Video Electronics Standards Association.
- Todas las demás marcas comerciales y marcas comerciales registradas son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios. En este manual, no se especifican las marcas ™ y ®.

Notas sobre la utilización

Nota sobre los orificios de ventilación

No bloquee los orificios de ventilación (escape/aspiración). Si se bloquean, el calor puede acumularse en el interior y provocar un incendio o daños para la unidad.
Compruebe las posiciones de los orificios de ventilación que se muestran en las ilustraciones siguientes.

Para ver otras precauciones, lea detenidamente, por separado, la “Normativa de seguridad”.

Proyección

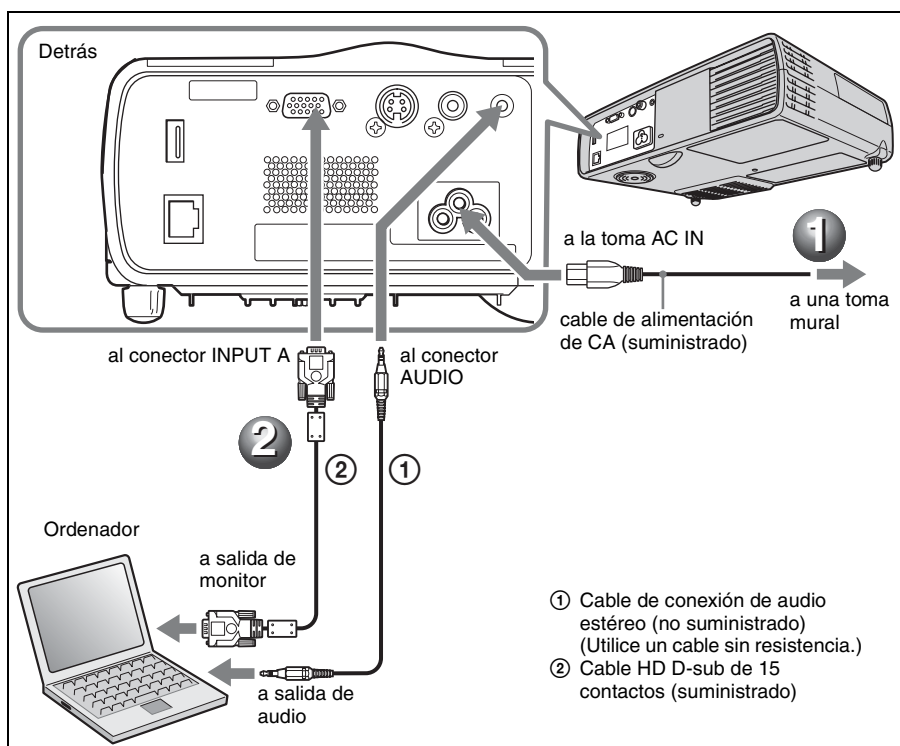
Conexión del proyector

Cuando conecte el proyector, asegúrese de lo siguiente:

- Apagar todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilizar los cables apropiados para cada conexión.
- Insertar firmemente las clavijas de los cables. Cuando desconecte un cable, asegúrese de tirar del enchufe, no del cable.
- Consulte también el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.
- Para el modelo VPL-DX15, si se conecta a un conector (red) o a un conector (USB), consulte el “Manual de instrucciones para la función de red/visor de archivos USB” incluido en el CD-ROM.

Para conectar un ordenador

❶ Enchufe el cable de alimentación de CA a una toma mural.

❷ Conecte el proyector al ordenador.

Para conectar a un reproductor VCR/DVD

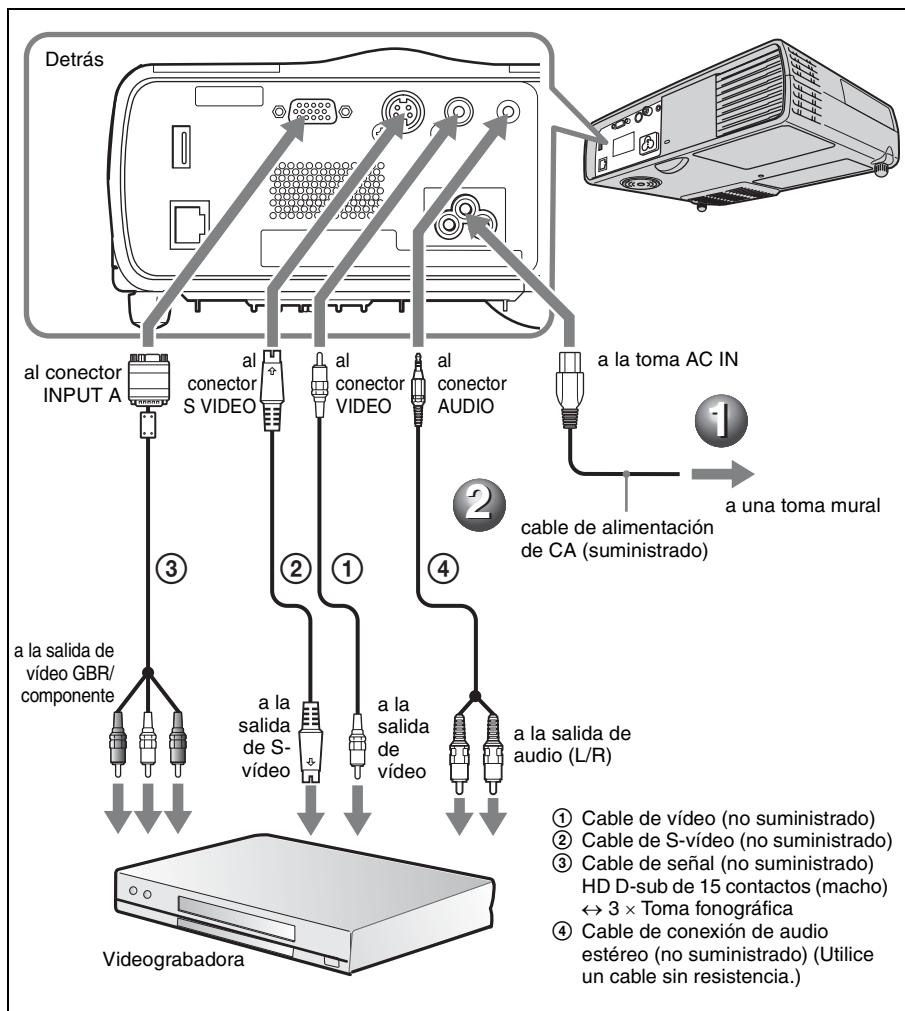
❶ Enchufe el cable de alimentación de CA a una toma mural.

❷ Conecte el proyector a un aparato de vídeo.

Para las conexiones de señal de vídeo, las siguientes tres opciones de conexión están disponibles:

Para la conexión al conector de salida de vídeo de una videograbadora o DVD: realice la conexión con los cables ① y ④.

Para la conexión al conector de salida de S-Vídeo de una videograbadora o DVD: realice la conexión con los cables ② y ④.

Para la conexión al conector GBR/Componente de vídeo de una videograbadora o DVD: realice la conexión con los cables ③ y ④.

Proyección

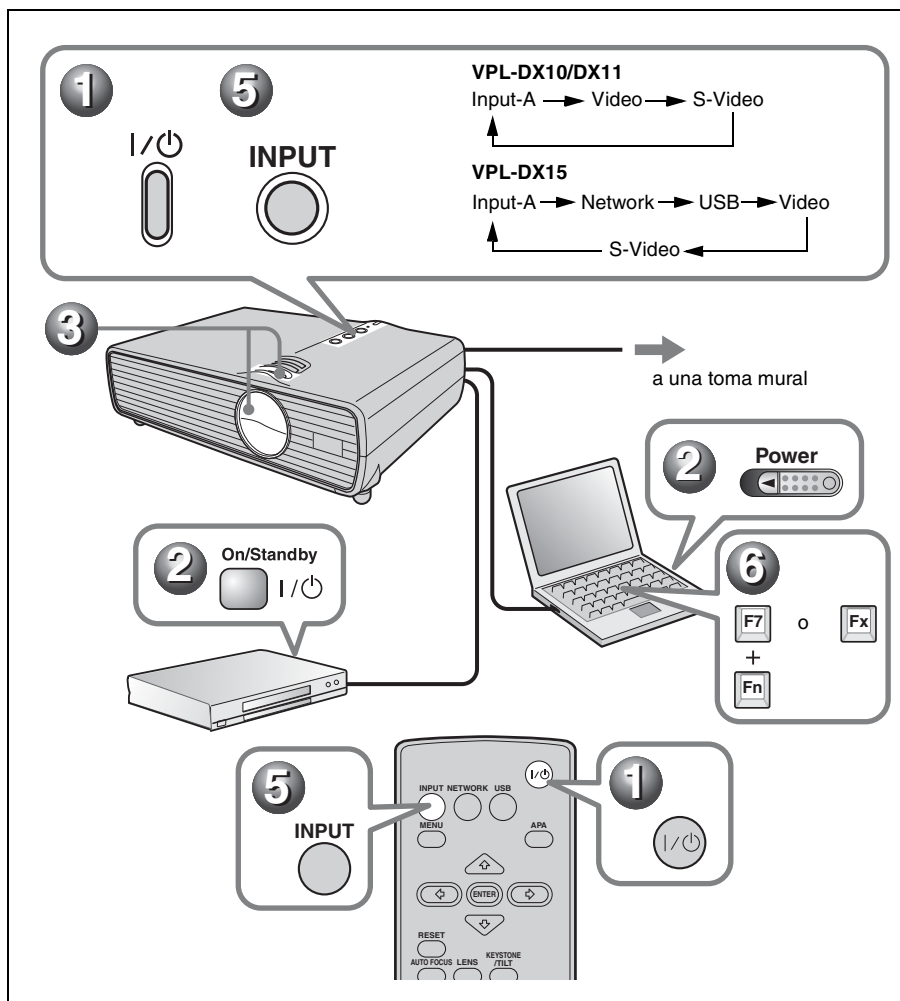
❶ **Pulse la tecla I/⏻.**

❷ **Encienda el equipo conectado al proyector.**

❸ **Mueva la palanca del control objetivo para abrir el control objetivo.**

❹ **Ajuste la posición, el tamaño y el enfoque de la imagen.**
Consulte “Ajustar el proyector” en la página 8.

❺ **Pulse la tecla INPUT en el mando a distancia o el panel de control para seleccionar la fuente de entrada.**

❻ **Cuando el ordenador esté conectado, ajústelo de modo que envíe la señal solamente al monitor externo.**

Ajustar el proyector

❶ Ajuste la inclinación (posición superior o inferior de la imagen) del proyector con los ajustadores.

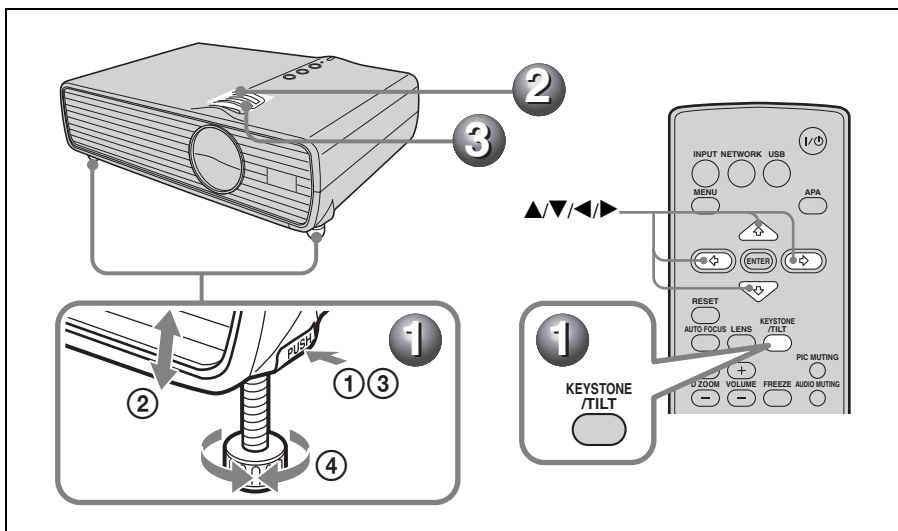
Cuando ajuste la inclinación con los ajustadores, el ajuste de Trapezoide V se realiza automáticamente.

① Levante el proyector mientras mantiene pulsado el botón del ajustador.
② Ajuste la inclinación del proyector.
③ Suelte el botón del ajustador.
④ Si es necesario realizar ajustes más precisos, gire el ajustador a la derecha y a la izquierda.

Para ajustar la inclinación manualmente

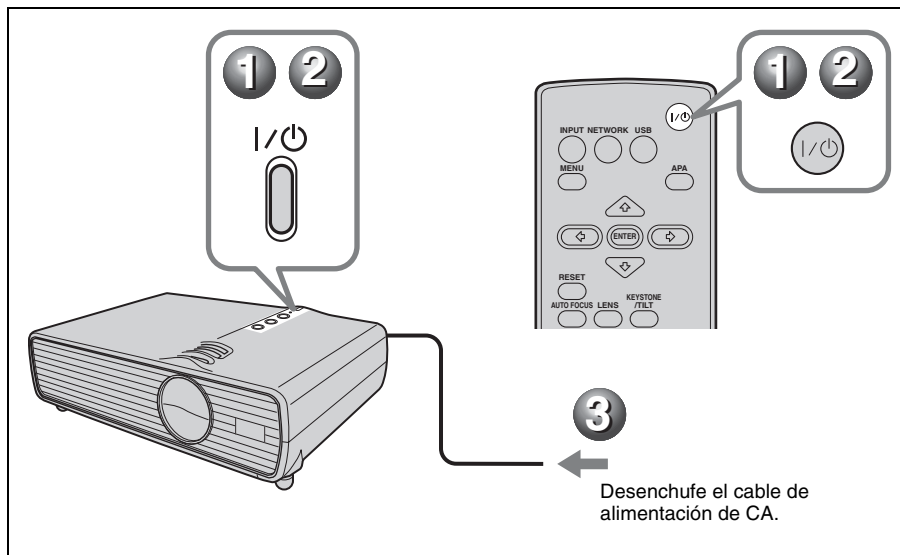
Pulse la tecla KEYSTONE/TILT del mando a distancia para visualizar el menú TILT y ajustar la inclinación con las teclas ▲/▼/◀/▶.

❷ Ajuste el tamaño de la imagen con el anillo del zoom.

❸ Ajuste el enfoque con el anillo de enfoque.

Apagar la alimentación

❶ **Pulse la tecla I/⏻.**

❷ **Cuando aparezca un mensaje, pulse de nuevo la tecla I/⏻.**

❸ **Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando el ventilador deje de funcionar y la tecla I/⏻ se ilumine en rojo.**

Sustitución de la lámpara

La lámpara que se utiliza como fuente de luz es un producto consumible. Por lo tanto, debe sustituir la lámpara por una nueva en los casos siguientes.

- Cuando la lámpara se funde o disminuye su brillo
- Cuando aparece en la pantalla “Por favor cambie la lámpara”
- El indicador LAMP/COVER parpadea en naranja (frecuencia de repetición de 3 parpadeos). (Consulte en la página 14 otra causa posible.)

La vida útil de la lámpara varía según las condiciones de uso.
Utilice una lámpara de proyección LMP-D200 como lámpara de repuesto.
El uso de lámparas diferentes de la LMP-D200 puede dañar el proyector.

Nota

La lámpara continúa estando caliente después de haber apagado el proyector con la tecla **I/⏻**. **Si toca la lámpara, puede quemarse los dedos. Antes de sustituir la lámpara, espere al menos una hora hasta que se enfríe.**

Notas

- **Si la lámpara se rompe, póngase en contacto con personal especializado de Sony.**
- Tire de la lámpara hacia fuera utilizando el asa. Si toca la lámpara, puede quemarse o herirse.
- Al retirar la lámpara, asegúrese de que se encuentra en posición horizontal y tire hacia arriba. No incline la lámpara. Si tira hacia fuera de la lámpara mientras se encuentra inclinada y la lámpara se rompe, los fragmentos pueden dispersarse y provocar heridas.

1 Apague el proyector y desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma de CA.

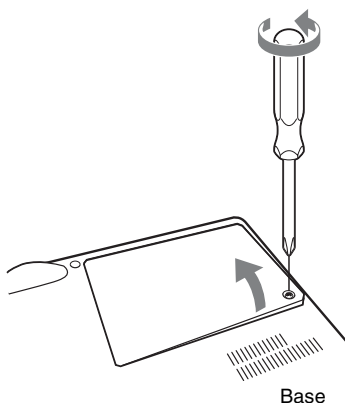
Nota

Antes de sustituir la lámpara, después de usar el proyector, espere al menos una hora hasta que se enfríe.

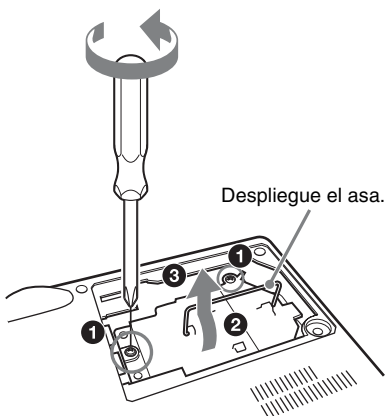
2 Coloque una hoja (paño) de protección debajo del proyector. Dé la vuelta al proyector de forma que vea la parte inferior.

Nota

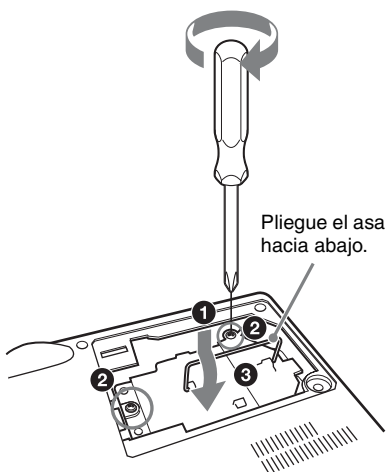
Asegúrese de que el proyector se encuentra en una posición estable después de haberle dado la vuelta.

3 Para abrir la cubierta de la lámpara, afloje el tornillo con un destornillador de estrella.

Nota

Por razones de seguridad, no afloje más tornillos.

4 Afloje los dos tornillos de la lámpara con el destornillador de estrella (❶). Despliegue el asa (❷) y, a continuación, tire de ella para extraer la unidad de la lámpara (❸).

Precaución

Para evitar descargas eléctricas o incendios, no introduzca las manos en el compartimento de sustitución de la lámpara, ni permita que se introduzcan líquidos ni ningún otro objeto.

5 Introduzca por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada en su sitio (❶). Apriete los dos tornillos (❷). Vuelva a plegar el asa en su lugar (❸).

Notas

- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara y el conductor interior.
- Inserte el asa con firmeza para que quede bien fijada.

- La alimentación no se activará si la lámpara no está bien instalada.

6 Cierre la cubierta de la lámpara y apriete los dos tornillos.

Nota

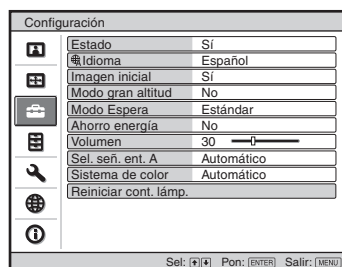
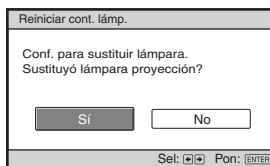
Asegúrese de fijar la cubierta de la lámpara como estaba. Si no lo hace, no podrá encender el proyector.

7 Vuelva a darle la vuelta al proyector.

8 Conecte el cable de alimentación.
La tecla I/⏻ se ilumina en rojo.

9 Pulse la tecla I/⏻ para encender el proyector.

10 Pulse la tecla MENU y, a continuación, seleccione el menú Configuración.

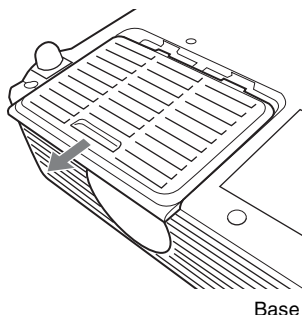
11 Seleccione "Reiniciar cont. lámp." y, a continuación, pulse la tecla ENTER.

"Conf. para sustituir lámpara. Sustituyó lámpara proyección?" en la pantalla de menús.

12 Seleccione "Sí" con la tecla ◄ y, a continuación, pulse la tecla ENTER.
El contador de la lámpara se inicializa en 0 y aparece "Reinic. cont. lámp. completa." en la pantalla de menús.

Limpieza del filtro de aire

Se debe limpiar el filtro cada 500 horas de uso, aproximadamente. Retire la cubierta del filtro de aire y, a continuación, quite el polvo con un paño humedecido en una solución detergente suave.
El tiempo necesario para limpiar el filtro de aire variará en función del entorno o de cómo se utilice el proyector.

1 Desactive la alimentación y desenchufe el cable de alimentación.

2 Coloque una hoja de protección (paño) debajo del proyector y dé la vuelta al proyector.

3 Extraiga la cubierta del filtro del aire.

4 Retire el filtro del interior y, a continuación, quite el polvo con un paño humedecido en un detergente suave.

5 Vuelva a colocar el filtro dentro de su compartimiento.

6 Vuelva a colocar la cubierta del filtro de aire.

Notas

- Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire, sustitúyalo por uno nuevo.
- Para ver información detallada sobre el nuevo filtro de aire, consulte con personal especializado de Sony.
- Asegúrese de fijar bien la cubierta del filtro de aire, ya que pueden producirse problemas si no está bien instalada.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando las siguientes instrucciones. Si el problema no se soluciona, consulte con personal especializado de Sony.
Para obtener información detallada sobre los síntomas, consulte el manual de instrucciones que contiene el CD-ROM.

Alimentación

Síntoma	Causa y solución
La alimentación no se activa.	• El cable de alimentación de CA no está conectado. ➔ Conecte con fuerza el cable de alimentación CA. • La lámpara o la cubierta de la lámpara no están sujetas. ➔ Fije firmemente la lámpara o la cubierta de la lámpara.

Imagen

Síntoma	Causa y solución
Sin imagen.	• La alimentación no se activa. ➔ Encienda la alimentación. • Hay un cable desconectado o las conexiones no son correctas. ➔ Compruebe que se han hecho las conexiones apropiadas. • El margen de funcionamiento es limitado. ➔ Abra el control objetivo. • La selección de entrada es incorrecta. ➔ Seleccione correctamente la fuente de entrada. • La imagen está apagada. ➔ Pulse la tecla PIC MUTING para liberar el apagado de la imagen. • La señal del ordenador no está ajustada para la salida hacia un monitor externo ni para la salida tanto hacia un monitor externo como un monitor LCD de ordenador. ➔ Ajuste el ordenador para que envíe la señal solamente a un monitor externo.
La imagen aparece con ruido.	El cable de conexión no está correctamente enchufado. ➔ Compruebe que el cable de conexión esté bien conectado.
La indicación en pantalla no aparece.	"Estado" en el menú Configuración se ha ajustado en "No". ➔ Establezca "Estado" en el menú Configuración en "Sí".
El balance de color es incorrecto.	• El ajuste de la calidad de imagen no es el adecuado. ➔ Ajuste la calidad de la imagen en el menú Imagen. ➔ Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados. • El ajuste de "Sel. señ. ent. A" en el menú Configuración es incorrecto. ➔ Seleccione la opción correcta, "Ordenador", "Vídeo GBR" o "Componente", en función de la señal de entrada. • El proyector está ajustado en un sistema de color incorrecto. ➔ Ajuste "Sistema de color", en el menú Configuración, de modo que coincida con el sistema de color de la entrada.

Síntoma	Causa y solución
La imagen es demasiado oscura.	• El contraste o el brillo no se han ajustado correctamente. → Ajuste correctamente la opción Contraste o Brillo en el menú Imagen. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados. • La lámpara se ha fundido o su intensidad ha disminuido. → Compruebe “Contador lámpara” en el menú Información.
La imagen no es nítida.	• La fotografía está desenfocada. → Ajuste el enfoque. • Se ha acumulado condensación en el objetivo. → Deje el proyector encendido durante unas dos horas.
La imagen se extiende más allá de la pantalla.	• Se ha pulsado la tecla APA aunque hay bordes negros alrededor de la imagen. → Muestre la imagen completa en la pantalla y pulse la tecla APA. • El ajuste de la pantalla no es correcto. → Ajuste “Desplazamiento” en el menú de configuración Pantalla. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados.
La imagen parpadea.	• El ajuste de la pantalla no es correcto. → Ajuste “Fase” en Pantalla en el menú de configuración. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados.
La relación de aspecto de la pantalla no es correcta.	• El ajuste de la pantalla no es correcto. → Ajuste “Aspecto” en el menú de configuración Pantalla. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados.

Sonido

Síntoma	Causa y solución
Sin sonido.	• Hay un cable desconectado o las conexiones no son correctas. → Compruebe que se han hecho las conexiones apropiadas. • El cable utilizado para la conexión de audio no es correcto. → Utilice un cable de audio estéreo sin resistencia. • El sonido está apagado. → Pulse la tecla AUDIO MUTING para liberar el apagado de sonido. • El sonido no está correctamente ajustado. → Ajuste el sonido con la tecla Volumen del mando a distancia.

Indicadores

Síntoma	Causa y solución
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	• La cubierta de la lámpara está suelta. → Fije firmemente la cubierta.

Síntoma	Causa y solución
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 3 flashes)	• Se ha alcanzado una temperatura elevada en el interior de la unidad y se ha activado el sensor de temperatura. ➔ Compruebe que nada bloquee la entrada de aire fresco y la salida de escape. • La lámpara ha alcanzado una alta temperatura. ➔ Espere 90 segundos para que la lámpara se enfríe y vuelva a activar la alimentación. Si cualquiera de los problemas persiste después de haber realizado las comprobaciones anteriores, puede ser debido a las siguientes causas: • Es necesario sustituir la lámpara porque ha llegado al final de su vida útil. • Se ha alcanzado una temperatura elevada en el interior de la unidad y el fusible de temperatura se ha fundido. ➔ Consulte con personal especializado de Sony.
La tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	• La temperatura interna es anormalmente alta. ➔ Compruebe que nada bloquee los orificios de ventilación. • Se está utilizando el proyector a una altitud elevada. ➔ Asegúrese de que la opción “Modo gran altitud” del menú Configuración está ajustada en “Sí”.
La tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 4 flashes)	El ventilador está averiado. ➔ Consulte con personal especializado de Sony.
La tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 6 flashes)	Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando se apague la tecla I/⏻, enchufe el cable de alimentación en la toma mural y vuelva a encender el proyector. Si I/⏻ parpadea en rojo y el problema persiste, el sistema eléctrico ha fallado. O bien, se ha alcanzado una temperatura elevada en el interior de la unidad y el fusible de temperatura se ha fundido. ➔ Consulte con personal especializado de Sony.

Especificaciones

Características ópticas

Sistema de proyección
Sistema de proyección de 3 paneles LCD, 1 objetivo
Panel LCD Panel XGA de 0,63 pulgadas, aproximadamente 2.360.000 de píxeles (786.432 píxeles × 3)
Objetivo Objetivo zoom de 1,2 aumentos
f 18,63 a 22,36 mm/F1,65 a 1,8
Lámpara Lámpara de mercurio de presión ultra alta de 200 W
Tamaño de imagen proyectada (medidas diagonalmente)
40 a 300 pulgadas
Emisión de luz
VPL-DX10: 2500 lúmenes
VPL-DX11/DX15: 3000 lúmenes
(cuando el Modo de Lámpara está establecido en "Alto")
Distancia de proyección
Consulte el apartado "Instalación del proyector y diagrama de instalación" en el "Manual de instrucciones" incluido en el CD-ROM suministrado.
Sistema de color
Sistema $NTSC_{3.58}$/PAL/SECAM/ $NTSC_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/ PAL60, de conmutación automática/manual
($NTSC_{4.43}$ es el sistema de color que se utiliza para reproducir vídeos grabados en NTSC en una videograbadora de sistema $NTSC_{4.43}$.)
Resolución 750 líneas de TV horizontales (entrada de vídeo)
1.024 × 768 puntos (entrada RVA)
Señales de ordenador aceptables[1)]
fH: 19 a 80 kHz
fV: 48 a 92 Hz
(Máxima resolución de señal de entrada: SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

1) Ajuste la resolución y la frecuencia de la señal del ordenador conectado dentro del margen de señales predefinidas que admite el proyector.

Señales de vídeo aplicables
15 k RGB/Componente 50/60 Hz, Componente progresivo 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Vídeo compuesto, Y/C
Dimensiones Aprox. 295 × 74 × 204 mm (11 5/8 × 2 29/32 × 8 1/32 pulgadas) (ancho/alto/profundidad) (sin las partes salientes)
Masa VPL-DX10/DX11: Aprox. 2,1 kg (4 lb 11 oz)
VPL-DX15: Aprox. 2,2 kg (4 lb 14 oz)
Requisitos de alimentación
CA 100 V a 240 V, 3,6 A a 1,6 A, 50/60 Hz
Consumo eléctrico
VPL-DX15: Máx. 320 W
en espera (estándar): 10,5 W
en espera (Bajo): 3 W
VPL-DX10/DX11: Máx. 320 W
en espera (estándar): 5,5 W
en espera (Bajo): 3 W
Temperatura de funcionamiento
0°C a 35°C (32°F a 95°F)
Accesorios suministrados
Mando a distancia (1)
Batería de litio CR2025 (1)
Cable HD D-sub de 15 contactos (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony)
Maleta de transporte (1)
Cable de alimentación de CA (1)
Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)
Manual de referencia rápida (1)
Normativa de seguridad (1)
Etiqueta de seguridad (1)

El diseño y las especificaciones de la unidad, incluidos los accesorios opcionales, están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Nota

Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

Accesorios opcionales

Lámpara de proyector
LMP-D200 (de repuesto)
Herramienta de presentación
RM-PJPK1

No todos los accesorios opcionales están disponibles en todos los países y zonas. Solicite información al distribuidor autorizado de Sony más cercano.

Info zu den mitgelieferten Anleitungen

Die folgenden Anleitungen werden mit dem Projektor geliefert.

Anleitungen

Sicherheitsbestimmungen (getrennte Druckschrift)

Diese Anleitung enthält wichtige Hinweise und Vorsichtsmaßnahmen, die bei der Handhabung und Benutzung dieses Projektors zu beachten sind.

Kurzreferenz (vorliegende Anleitung)

Diese Anleitung beschreibt die grundlegende Bedienung für das Projizieren von Bildern nach der Herstellung der erforderlichen Anschlüsse.

Bedienungsanleitung (auf der CD-ROM)

Diese Bedienungsanleitung beschreibt die Einrichtung und Funktionen dieses Projektors.

Bedienungsanleitung für den Datei-Viewer für Network/USB (nur VPL-DX15) (auf der CD-ROM)

Diese Bedienungsanleitung beschreibt die Einrichtung und Bedienung der Netzwerkpräsentation.

Hinweis

Adobe Acrobat Reader 5.0 oder höher muss installiert sein, um die auf der CD-ROM gespeicherte Bedienungsanleitung lesen zu können.

Info zur Kurzreferenz

Diese Kurzreferenz erläutert die Anschlüsse und grundlegenden Bedienungsverfahren dieses Gerätes und enthält Hinweise zu den für die Wartung erforderlichen Vorgehensweisen und Informationen. Einzelheiten zu den Bedienungsvorgängen finden Sie in der Bedienungsanleitung, die in der mitgelieferten CD-ROM enthalten ist. Angaben zu Sicherheitsmaßnahmen finden Sie in der getrennten Druckschrift „Sicherheitsbestimmungen".

Diese Bedienungsanleitung enthält Erläuterungen für VPL-DX10, VPL-DX11 und VPL-DX15. Beachten Sie bitte, dass für Erläuterungszwecke hauptsächlich die Abbildung des VPL-DX15 verwendet wird.

Benutzung der CD-ROM-Anleitungen

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung und die ReadMe-Datei in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Italienisch, Spanisch, Chinesisch und Russisch. Lesen Sie zuerst die ReadMe-Datei durch.

Vorbereitungen

Um die Bedienungsanleitung auf der CD-ROM lesen zu können, benötigen Sie Adobe Acrobat Reader 5.0 oder später. Falls Adobe Acrobat Reader nicht auf Ihrem Computer installiert ist, können Sie die Software Acrobat Reader von der Adobe Systems-Website kostenlos herunterladen.

So lesen Sie die Bedienungsanleitung

Die Bedienungsanleitung ist in der mitgelieferten CD-ROM enthalten. Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein. Die CD-ROM wird dann kurz darauf automatisch gestartet. Wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.
Je nach der Einstellung des Computers startet die CD-ROM u.U. nicht automatisch. Öffnen Sie in diesem Fall die Bedienungsanleitungsdatei wie folgt:

(Im Falle von Windows)

① Öffnen Sie „Arbeitsplatz“.

② Rechtsklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol, und wählen Sie „Explorer“.

③ Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

(Im Falle von Macintosh)

① Doppelklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol auf dem Desktop.

② Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

Hinweis

Falls sich die Datei „index.htm“ nicht öffnen lässt, doppelklicken Sie auf die gewünschte Bedienungsanleitung unter denen im Ordner „Operating_Instructions“.

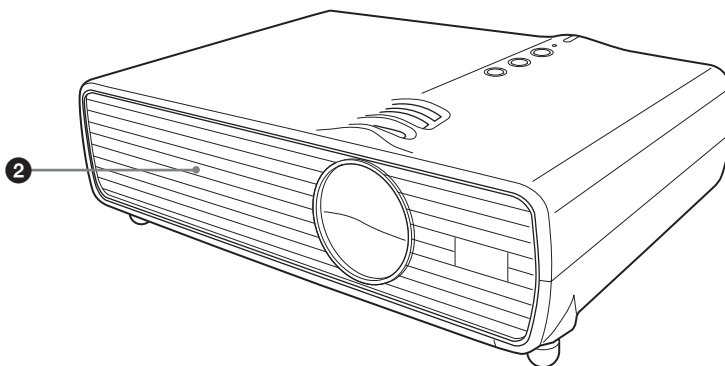
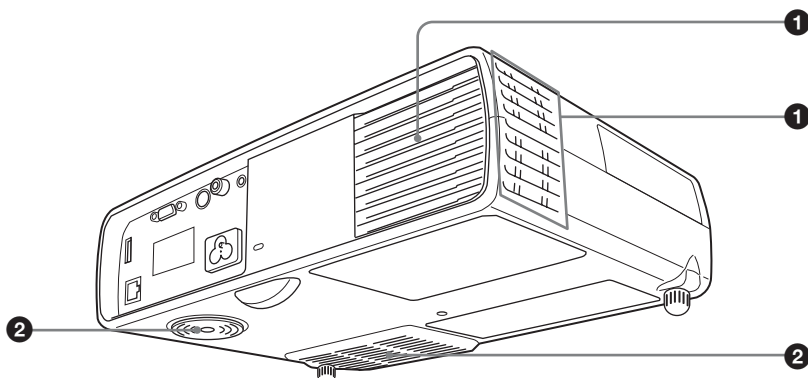
Info zu Warenzeichen

- Adobe Acrobat ist ein Warenzeichen von Adobe Systems Incorporated.
- Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.
- Kensington ist ein eingetragenes Warenzeichen der Kensington Technology Group.
- Macintosh ist ein eingetragenes Warenzeichen von Apple Inc.
- VESA ist ein eingetragenes Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.
- Display Data Channel ist ein Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.
- Alle übrigen Produktnamen sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der jeweiligen Inhaber. In dieser Anleitung sind die Zeichen ™ und ® nicht angegeben.

Benutzungshinweise

Hinweis zu den Lüftungsöffnungen

Die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) dürfen nicht blockiert werden. Falls sie blockiert werden, kann es zu einem internen Wärmestau kommen, der einen Brand oder Beschädigung des Gerätes verursachen kann.
Die Lage der Lüftungsöffnungen können Sie anhand der folgenden Abbildungen feststellen.

Weitere Vorsichtsmaßnahmen sind im Beiblatt „Sicherheitsbestimmungen“ angegeben, das Sie sorgfältig durchlesen sollten.

Projizieren

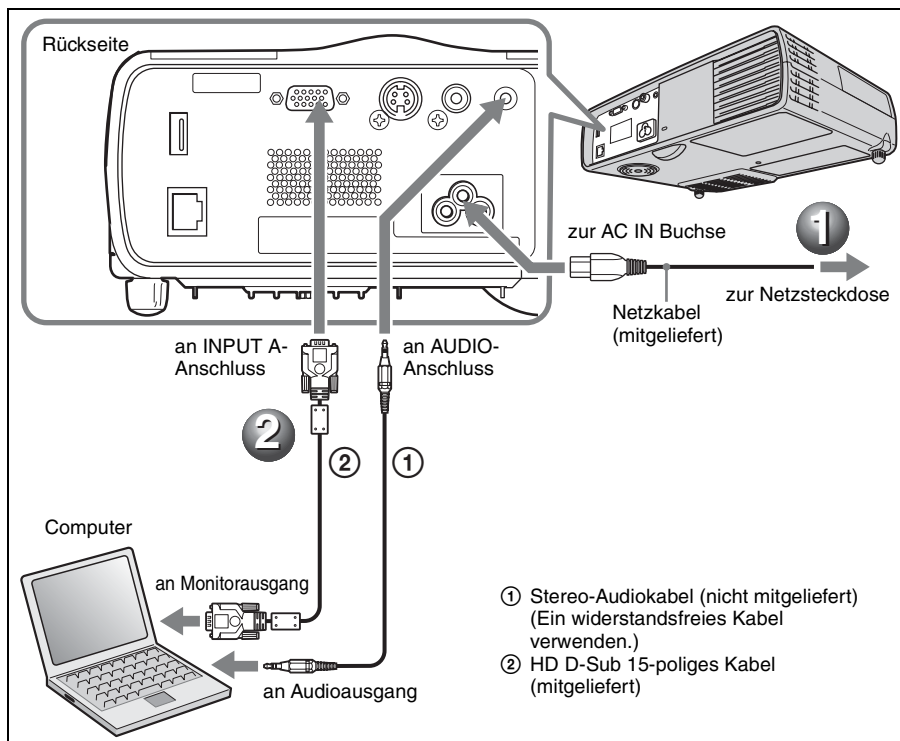
Anschließen des Projektors

Achten Sie beim Anschließen des Projektors auf Folgendes:

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie die korrekten Kabel für jeden Anschluss.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest ein. Ziehen Sie beim Abtrennen eines Kabels am Stecker, nicht am Kabel selbst.
- Schlagen Sie auch in der Bedienungsanleitung des anzuschließenden Gerätes nach.
- Wenn Sie beim VPL-DX15 eine Anschluss 品 (Netzwerk) oder Anschluss ⇠ (USB) herstellen möchten, schlagen Sie in der „Bedienungsanleitung für Datei-Viewer für Network/USB“ auf der CD-ROM nach.

Anschluss eines Computers

1 Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

2 Schließen Sie den Projektor an den Computer an.

Anschluss eines Videorecorders/DVD-Players

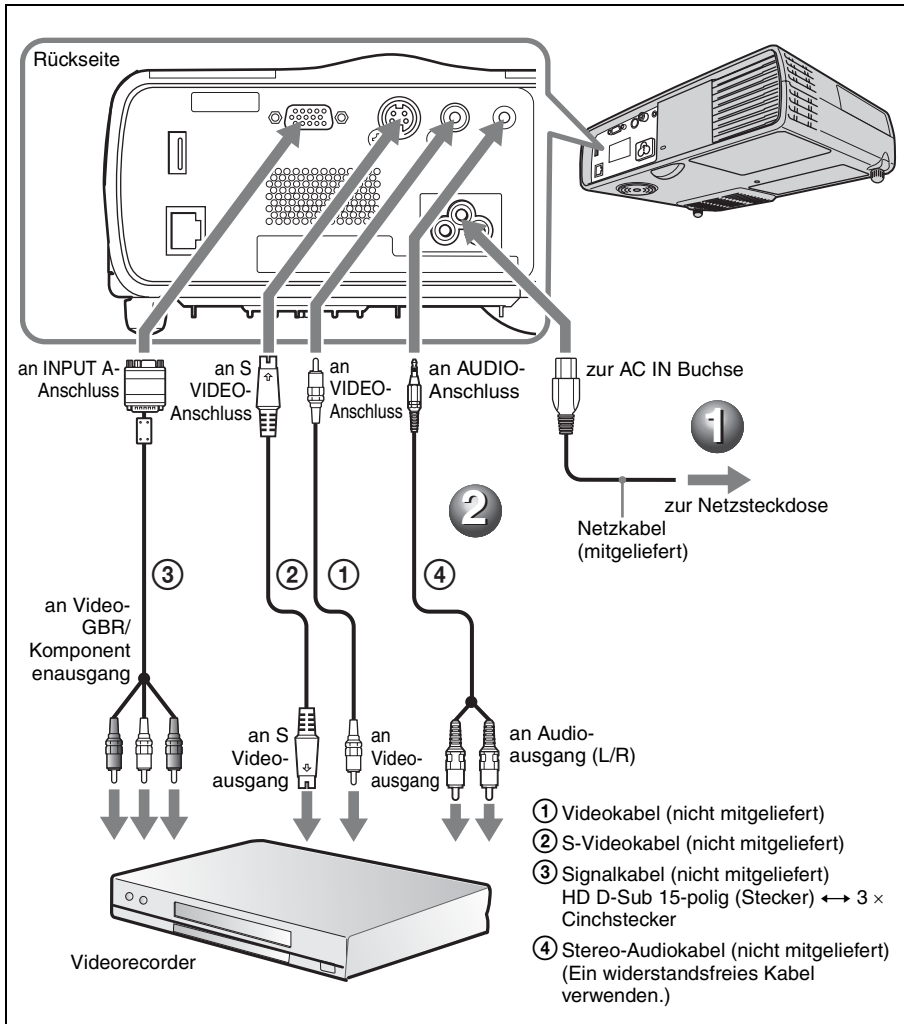
❶ Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

❷ Schließen Sie den Projektor an ein Videogerät an.

Für Videosignalverbindungen stehen die drei folgenden Anschlussoptionen zur Verfügung:

Anschluss an die Videoausgangsbuchse eines Videorecorders/DVD-Players: Nehmen Sie den Anschluss mit den Kabeln ① und ④ vor.

Anschluss an die S-Videoausgangsbuchse eines Videorecorders/DVD-Players: Nehmen Sie den Anschluss mit den Kabeln ② und ④ vor.

Anschluss an den Video-GBR-/Komponentenausgang eines Videorecorders/DVD-Players: Nehmen Sie den Anschluss mit den Kabeln ③ und ④ vor.

Projizieren

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻.**

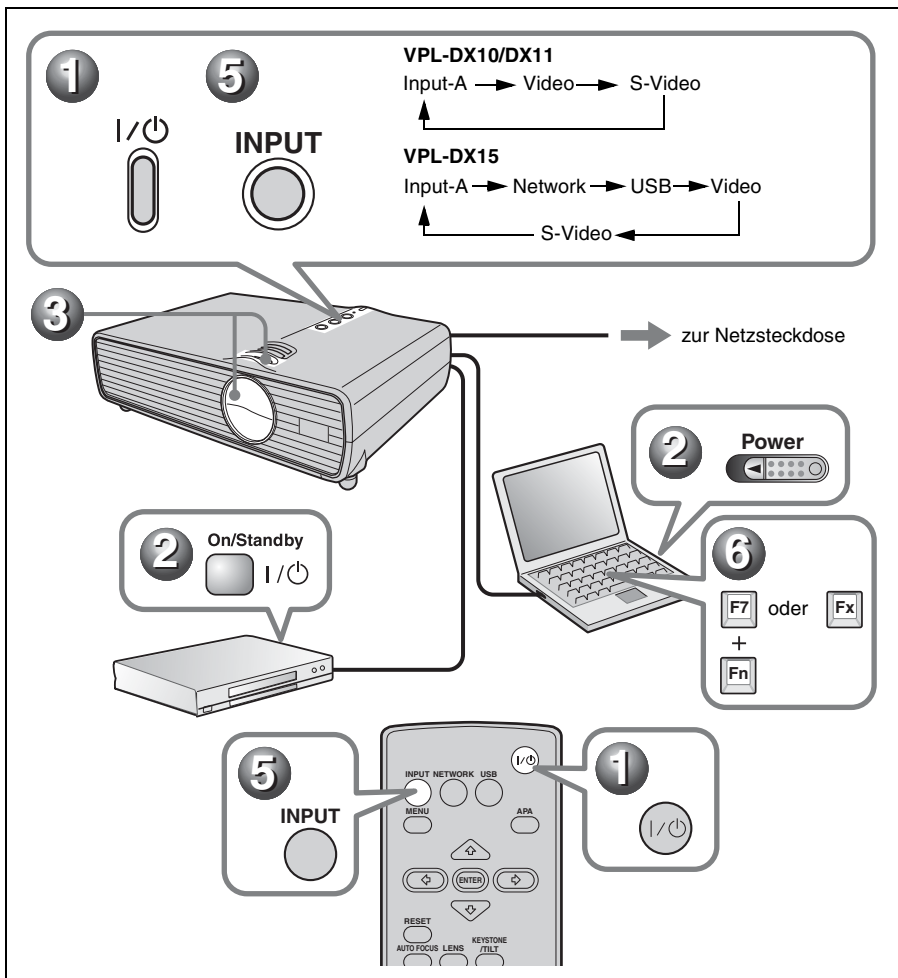
❷ **Schalten Sie das an den Projektor angeschlossene Gerät ein.**

❸ **Bewegen Sie den Objektivsteuerungshebel, um den Objektiv-Verschluss zu öffnen.**

❹ **Stellen Sie Bildposition, Größe und Schärfe ein.**

Siehe “Einstellen des Projektors” auf Seite 8.

❺ **Drücken Sie die Taste INPUT an der Fernbedienung oder am Bedienfeld zur Wahl der Eingangsquelle.**

❻ **Wenn Sie einen Computer anschließen, stellen Sie ihn so ein, dass das Signal nur an den externen Monitor ausgegeben wird.**

Einstellen des Projektors

❶ Stellen Sie die Neigung (obere oder untere Position des Bildes) des Projektors mit den Einstellfüßen ein.

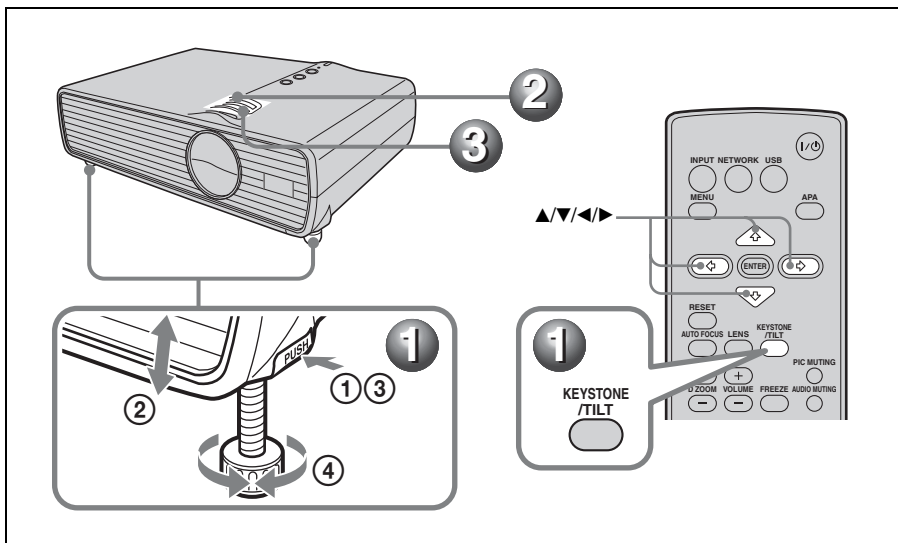
Wenn Sie die Neigung mit den Einstellfüßen einstellen, erfolgt die V-Keystone-Einstellung automatisch.

① Heben Sie den Projektor an und halten Sie gleichzeitig die Taste des Einstellfußes gedrückt.
② Stellen Sie die Neigung des Projektors ein.
③ Lassen Sie die Taste des Einstellfußes los.
④ Wenn eine Feineinstellung notwendig ist, drehen Sie den Einstellfuß nach rechts und links.

Manuelle Einstellung der Neigung

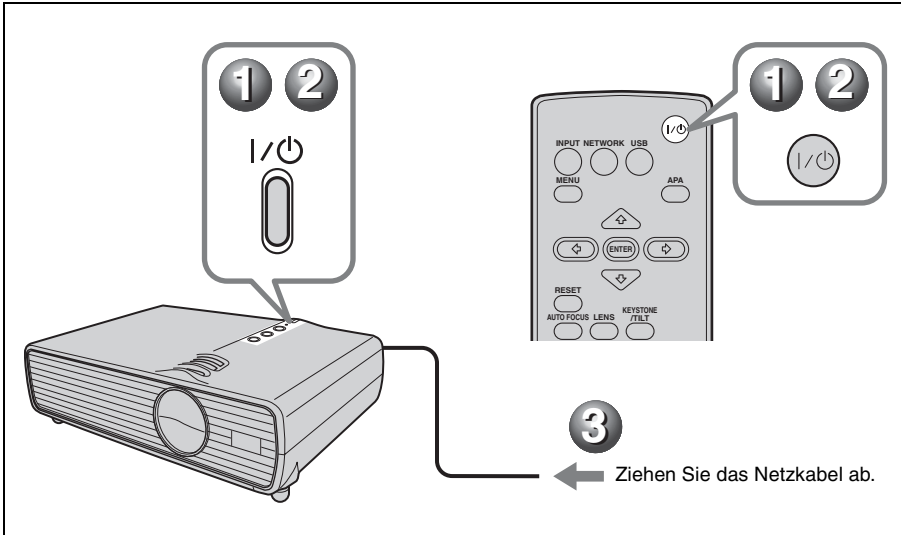
Rufen Sie das TILT-Menü mit der KEYSTONE/TILT-Taste auf der Fernbedienung auf und stellen Sie die Neigung mit den ▲/▼/◀/▶-Tasten ein.

❷ Stellen Sie die Bildgröße mit dem Zoomring ein.

❸ Stellen Sie die Schärfe mit dem Fokusring ein.

Ausschalten des Projektors

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻.**

❷ **Wenn eine Meldung erscheint, drücken Sie die Taste I/⏻ erneut.**

❸ **Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, wenn der Lüfter stehen bleibt und die Taste I/⏻ in Rot aufleuchtet.**

Auswechseln der Lampe

Die als Lichtquelle verwendete Lampe ist ein Verbrauchsprodukt. Ersetzen Sie daher die Lampe in den folgenden Fällen durch eine neue.

- Wenn die Lampe durchgebrannt ist oder schwach wird
- „Lampentausch erforderlich.“ erscheint auf der Leinwand
- Die LAMP/COVER Anzeige blinkt orange (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen) (Auf Seite 15 finden Sie eine weitere mögliche Ursache.)

Die Lampenlebensdauer hängt von den Benutzungsbedingungen ab.
Verwenden Sie eine Projektorlampe LMP-D200 als Ersatzlampe.
Werden anstelle der Lampe LMP-D200 andere Lampen verwendet, kann der Projektor beschädigt werden.

Vorsicht

Die Lampe bleibt auch nach dem Ausschalten des Projektors mit der Taste I/⏻ noch längere Zeit heiß. **Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich die Finger verbrennen. Lassen Sie die Lampe mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.**

Hinweise

- **Wenn die Lampe zerbricht, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.**
- Ziehen Sie die Lampe am Griff heraus. Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich verbrennen oder verletzen.
- Achten Sie beim Herausnehmen der Lampe darauf, dass sie horizontal bleibt, und ziehen Sie sie gerade nach oben. Die Lampe nicht kippen. Falls Sie die Lampeneinheit schräg herausziehen und die Lampe bricht, können die Bruchstücke verstreut werden und Verletzungen verursachen.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

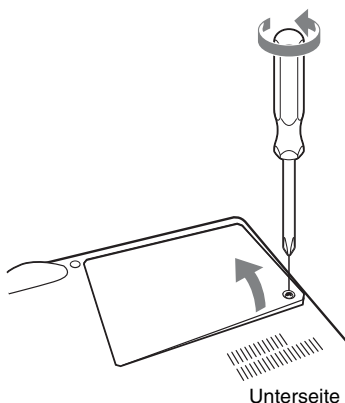
Hinweis

Lassen Sie die Lampe nach dem Gebrauch des Projektors mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.

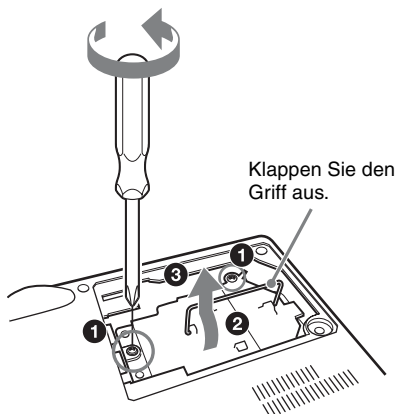
2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor. Drehen Sie den Projektor um, so dass er auf der Oberseite liegt.

Hinweis

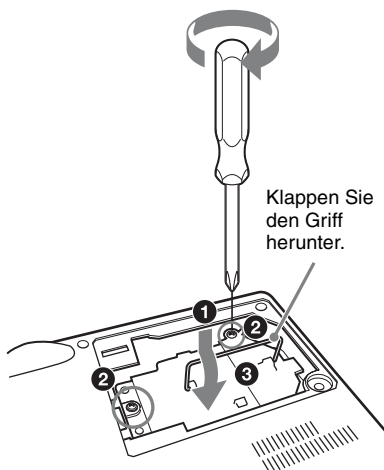
Achten Sie darauf, dass der Projektor nach dem Umdrehen stabil liegt.

3 Öffnen Sie die Lampenabdeckung durch Lösen der Schraube mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.

Hinweis

Lösen Sie aus Sicherheitsgründen keine anderen Schrauben.

4 Lösen Sie die zwei Schrauben an der Lampeneinheit mit dem Kreuzschlitzschraubenzieher (❶). Klappen Sie den Griff aus (❷), und ziehen Sie dann die Lampeneinheit am Griff heraus (❸).

Vorsicht

Greifen Sie nicht in den Lampensteckplatz, und achten Sie darauf, dass keine Flüssigkeiten oder Fremdkörper in den Steckplatz eindringen, **um einen elektrischen Schlag oder Brand zu vermeiden**.

5 Setzen Sie die neue Lampe vollständig ein, bis sie richtig sitzt (❶). Ziehen Sie die zwei Schrauben an (❷). Klappen Sie den Griff wieder ein (❸).

Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie weder den Glaskörper der Lampe noch den innen liegenden Leiter berühren.
- Setzen Sie den Griff mit etwas Druck ein, damit er fest sitzt.
- Der Projektor lässt sich nicht einschalten, falls die Lampe nicht einwandfrei gesichert ist.

6 Schließen Sie die Lampenabdeckung und ziehen Sie die Schraube an.

Hinweis

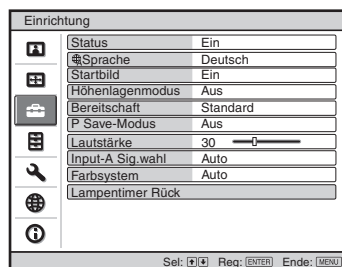
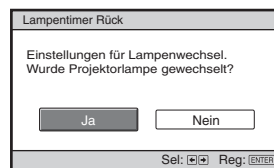
Befestigen Sie die Lampenabdeckung wieder vorschriftsmäßig. Anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.

7 Drehen Sie den Projektor wieder um.

8 Schließen Sie das Netzkabel an.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot.

9 Schalten Sie den Projektor mit der Taste I/⏻ ein.

10 Drücken Sie die Taste MENU und wählen Sie das Menü Einrichtung.

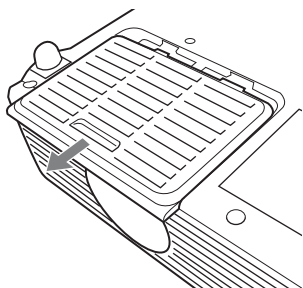
11 Wählen Sie „Lampentimer Rück“ und drücken Sie dann die Taste ENTER.

„Einstellungen für Lampenwechsel. Wurde Projektorlampe gewechselt?“ wird im Menübildschirm angezeigt.

12 Wählen Sie „Ja“ mit der Taste ◄ und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Der Lampentimer wird auf 0 gesetzt und „Lampentimer-Rückstellung fertig!“ wird im Menübildschirm angezeigt.

Reinigen des Luftfilters

Der Luftfilter muss nach ca. 500 Betriebsstunden gereinigt werden. Entfernen Sie die Luftfilterabdeckung und wischen Sie dann den Staub mit einem Tuch ab, das mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet wurde.
Die für die Reinigung des Luftfilters erforderliche Zeit hängt von der Umgebung oder der Benutzungsweise des Projektors ab.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.

2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor und drehen Sie den Projektor um.

3 Entfernen Sie die Luftfilterabdeckung.

Unterseite

4 Entnehmen Sie den innen liegenden Filter und wischen Sie dann den Staub mit einer milden Reinigungslösung ab.

5 Setzen Sie den Filter wieder in die Luftfilterabdeckung ein.

6 Bringen Sie die Luftfilterabdeckung wieder an.

Hinweise

- Falls sich der Staub nicht mehr vom Luftfilter entfernen lässt, ersetzen Sie den Luftfilter durch einen neuen.
- Um Einzelheiten über den neuen Luftfilter zu erfahren, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Sony-Personal.
- Achten Sie auf einen festen Sitz der Luftfilterabdeckung; wenn der Luftfilter nicht ordnungsgemäß angebracht ist, können Probleme auftreten.

Fehlerbehebung

Falls der Projektor nicht richtig zu funktionieren scheint, versuchen Sie zunächst, die Störung mithilfe der folgenden Anweisungen ausfindig zu machen und zu beheben. Sollte die Störung bestehen bleiben, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal. Einzelheiten zu den Symptomen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Der Projektor lässt sich nicht einschalten.	• Das Netzkabel ist nicht angeschlossen. ➔ Achten Sie auf einen festen Sitz des Netzkabels. • Die Lampe oder Lampenabdeckung sitzt nicht richtig. ➔ Schließen Sie die Lampe oder Lampenabdeckung einwandfrei.

Bild

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Bild.	• Der Projektor lässt sich nicht einschalten. ➔ Schalten Sie das Gerät ein. • Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Der Objektiv-Verschluss ist geschlossen. ➔ Öffnen Sie den Objektiv-Verschluss. • Die Eingangswahl ist falsch. ➔ Wählen Sie die korrekte Eingangsquelle. • Das Bild ist abgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um die Bildabschaltung aufzuheben. • Der Computer ist so eingestellt, dass sein Signal entweder gar nicht zu einem externen Monitor oder sowohl als auch zum LCD-Monitor des Computers ausgegeben wird. ➔ Stellen Sie den Computer so ein, dass die Signalausgabe nur an einen externen Monitor erfolgt.
Das Bild ist verrauscht.	Möglicherweise ist das Anschlusskabel nicht richtig angeschlossen. ➔ Prüfen Sie, ob das Anschlusskabel ordnungsgemäß angeschlossen ist.
Die Bildschirmanzeige erscheint nicht.	„Status“ im Menü Einrichtung wurde auf „Aus“ eingestellt. ➔ Stellen Sie „Status“ im Menü Einrichtung auf „Ein“ ein.
Die Farbbalance ist falsch.	• Die Einstellung für die Bildqualität ist nicht korrekt. ➔ Stellen Sie die Bildqualität im Menü Bild ein. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetzen. • Die Einstellung von „Input-A Sig.wahl“ im Menü Einrichtung ist nicht richtig. ➔ Wählen Sie je nach Eingangssignal „Computer“, „Video GBR“ oder „Komponenten“. • Der Projektor ist auf das falsche Farbsystem eingestellt. ➔ Stellen Sie „Farbsystem“ im Menü Einrichtung auf das Farbsystem des eingespeisten Signals ein.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Bild ist zu dunkel.	• Kontrast oder Helligkeit sind nicht korrekt eingestellt. ➔ Stellen Sie Kontrast oder Helligkeit im Menü Bild richtig ein. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze. • Die Lampe ist durchgebrannt oder schwach. ➔ Prüfen Sie die Einstellung „Lampentimer“ im Menü Informationen.
Das Bild ist nicht klar.	• Das Bild ist unscharf. ➔ Stellen Sie die Schärfe ein. • Kondensation hat sich auf dem Objektiv niedergeschlagen. ➔ Lassen Sie den Projektor etwa zwei Stunden lang eingeschaltet.
Das Bild steht von der Leinwand über.	• Die Taste APA ist gedrückt worden, obwohl schwarze Ränder um das Bild vorhanden sind. ➔ Projizieren Sie das volle Bild auf die Leinwand, und drücken Sie die Taste APA. • Die Bildschirmeinstellung ist nicht korrekt. ➔ Passen Sie „Lage“ im Menü für die Einstellung von Bildschirm an. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze.
Das Bild flimmert.	• Die Bildschirmeinstellung ist nicht korrekt. ➔ Passen Sie „Phase“ im Menü Bildschirm an. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze.
Das Seitenverhältnis der Anzeige ist nicht korrekt.	• Die Bildschirmeinstellung ist nicht korrekt. ➔ Passen Sie „Seitenverhältnis“ im Menü für die Einstellung von Bildschirm an. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze.

Ton

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Ton.	• Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Das verwendete Audiokabel ist falsch. ➔ Verwenden Sie ein widerstandsfreies Stereo-Audiokabel. • Der Ton ist stummgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste AUDIO MUTING, um die Ton-Abschaltung aufzuheben. • Der Ton ist nicht richtig eingestellt. ➔ Stellen Sie die Lautstärke mit der Taste VOLUME +/– an der Fernbedienung ein.

Anzeigen

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt orange. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	• Die Lampenabdeckung ist gelöst. ➔ Bringen Sie die Abdeckung einwandfrei an.
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt orange. (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen)	• Es herrscht eine hohe Temperatur im Gerät und der Temperatursensor wurde aktiviert. ➔ Vergewissern Sie sich, dass weder Ein- noch Auslass für die Lüftung blockiert ist. • Die Lampe ist zu heiß geworden. ➔ Lassen Sie die Lampe 90 Sekunden lang abkühlen, bevor Sie den Projektor wieder einschalten. Wenn Sie die oben genannten Punkte überprüft haben und einer der Fehler erneut auftritt, kann dies folgende Gründe haben: • Die Lampe muss ausgetauscht werden, da sie das Ende ihrer Betriebsdauer erreicht hat. • Es herrscht eine hohe Temperatur im Gerät und die Temperatursicherung ist durchgebrannt. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	• Die Innentemperatur ist ungewöhnlich hoch. ➔ Stellen Sie sicher, dass die Lüftungsöffnungen durch nichts blockiert werden. • Der Projektor wird in großer Höhe benutzt. ➔ Vergewissern Sie sich, dass „Höhenlagenmodus“ im Menü Einrichtung auf „Ein“ eingestellt ist.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot. (Wiederholrate von 4 Blinkzeichen)	Der Lüfter ist defekt. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot. (Wiederholrate von 6 Blinkzeichen)	Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, nachdem die Taste I/⏻ erloschen ist, schließen Sie dann das Netzkabel wieder an die Netzsteckdose an, und schalten Sie den Projektor wieder ein. Wenn die Taste I/⏻ rot blinkt und das Problem weiterhin bestehen bleibt, liegt eine Störung im elektrischen System vor. Oder es herrscht eine hohe Temperatur im Gerät und die Temperatursicherung ist durchgebrannt. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.

Spezifikationen

Projektionssystem
Projektionssystem mit 3 LCD-Panels und 1 Objektiv
LCD-Panel 0,63-Zoll-XGA-Panel, ca. 2.360.000 Pixel (786.432 Pixel × 3)
Objektiv 1,2-fach-Zoomobjektiv
Brennweite 18,63 bis 22,36 mm/ F1,65 bis 1,8
Lampe 200 W Ultrahochdruck-Quecksilberlampe
Projektionsbildgröße (diagonal gemessen)
40 bis 300 Zoll
Lichtleistung VPL-DX10: 2500 Lumen
VPL-DX11/DX15: 3000 Lumen
(Bei Einstellung des Lampenmodus auf „Hoch".)
Projektionsentfernung
Siehe „Installieren des Projektors und Installationsdiagramm" in der „Bedienungsanleitung" auf der mitgelieferten CD-ROM.
Farbsystem NTSC3.58/PAL/SECAM/ NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/ PAL60-System, automatische/ manuelle Umschaltung
(Das Farbsystem NTSC4.43 wird verwendet, wenn ein Band, das auf einem Videorecorder des Systems NTSC4.43 aufgenommen wurde, wiedergegeben wird.)
Auflösung 750 horizontale TV-Zeilen (Videoeingang)
1.024 × 768 Punkte (RGB-Signaleingabe)
Akzeptable Computersignale[1)]
fH: 19 bis 80 kHz
fV: 48 bis 92 Hz
(Maximale Eingangssignalauflösung: SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

1) Stellen Sie Auflösung und Frequenz des vom angeschlossenen Computer ausgegebenen Signals innerhalb des Bereichs der akzeptablen Vorwahlsignale des Projektors ein.

Verwendbare Videosignale
15 k RGB/Komponentensignal 50/ 60 Hz, Progressives Komponentensignal 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/ 60p, 575/50p, 720/60p, 720/ 50p, 1080/60i, 1080/50i), FBAS-Videosignal, Y/C
Abmessungen
ca. 295 × 74 × 204 mm (B/H/T) (ohne vorstehende Teile)
Gewicht VPL-DX10/DX11: ca. 2,1 kg
VPL-DX15: ca. 2,2 kg
Stromversorgung
100 V bis 240 V Wechselstrom, 3,6 A bis 1,6 A, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme
VPL-DX15: Max. 320 W
im Bereitschaftsmodus (Standard): 10,5 W
im Bereitschaftsmodus (Niedrig): 3 W
VPL-DX10/DX11: Max. 320 W
im Bereitschaftsmodus (Standard): 5,5 W
im Bereitschaftsmodus (Niedrig): 3 W
Betriebstemperatur
0°C bis 35°C
Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung (1)
Lithiumbatterie CR2025 (1)
HD D-sub-Kabel, 15-polig (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony)
Tragetasche (1)
Netzkabel (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)
Kurzreferenz (1)
Sicherheitsbestimmungen (1)
Sicherheitsaufkleber (1)

Änderungen an Gerät und Sonderzubehör, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Sonderzubehör

Projektorlampe
LMP-D200 (Ersatz)
Präsentationstool
RM-PJPK1

Das genannte Sonderzubehör ist nicht in allen Ländern und Regionen erhältlich.

Bitte überprüfen Sie die Verfügbarkeit bei Ihrem Sony-Fachhändler vor Ort.

Informazioni sui manuali forniti

Con il proiettore sono forniti i seguenti manuali.

Manuali

Normative di sicurezza (manuale stampato a parte)

Questo manuale fornisce note e precauzioni importanti da osservare nel maneggiare e utilizzare il proiettore.

Guida rapida all'uso (questo manuale)

Questo manuale descrive le funzioni fondamentali per proiettare le immagini dopo aver effettuato i collegamenti necessari.

Istruzioni d'uso (sul CD-ROM)

Queste istruzioni d'uso descrivono l'impostazione e il funzionamento del proiettore.

Istruzioni d'uso per Visualizzatore file di rete/USB (solo VPL-DX15) (sul CD-ROM)

Queste istruzioni d'uso descrivono come impostare ed effettuare presentazioni in rete.

Nota

Per leggere le Istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM è necessario disporre di Adobe Acrobat Reader 5.0 o superiore.

Informazioni sulla guida rapida all'uso

Questa guida rapida all'uso spiega i collegamenti e il funzionamento di base di questa unità e contiene delle note sulle funzioni e sulle informazioni relative alla manutenzione.
Per dettagli sul funzionamento, fare riferimento alle istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM in dotazione.
Per le precauzioni di sicurezza, fare riferimento alle "Normative di sicurezza" a parte.

Il presente manuale contiene spiegazioni per i modelli VPL-DX10, VPL-DX11 e VPL-DX15 assieme. Tenere presente che nella spiegazione vengono utilizzate principalmente illustrazioni relative al modello VPL-DX15.

Uso dei manuali su CD-ROM

Il CD-ROM in dotazione contiene le istruzioni d'uso e il file ReadMe in giapponese, inglese, francese, tedesco, italiano, spagnolo, cinese e russo. Fare innanzi tutto riferimento al file ReadMe.

Preparazione

Per leggere le istruzioni d'uso su CD-ROM è necessario Adobe Acrobat Reader 5.0 o successivo. Se sul computer di cui si dispone non è installato Adobe Acrobat Reader, è possibile scaricare gratuitamente il software Acrobat Reader dall'URL di Adobe Systems.

Leggere le istruzioni d'uso

Le istruzioni d'uso sono contenute nel CD-ROM in dotazione. Inserire il CD-ROM nell'apposita unità del computer e dopo un momento sì avvierà automaticamente. Selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.
In funzione del computer utilizzato il CD-ROM potrebbe non avviarsi automaticamente. In tal caso, aprire il file delle istruzioni d'uso come segue:

(Caso di Windows)

① Aprire "Risorse del computer".

② Fare clic con il pulsante destro del mouse sull'icona del CD-ROM e selezionare "Esplora".

③ Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

(Caso di Macintosh)

① Fare doppio clic sull'icona del CD-ROM sul desktop.

② Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

Nota

Se non è possibile aprire il file "index.htm", fare doppio clic sulle istruzioni d'uso che si desidera leggere fra quelle contenute nella cartella "Operating_Instructions".

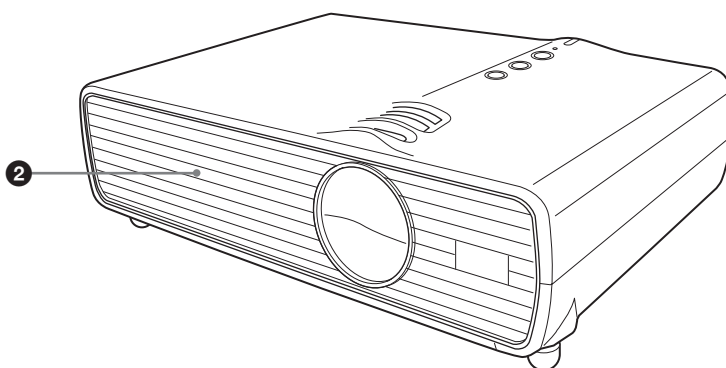
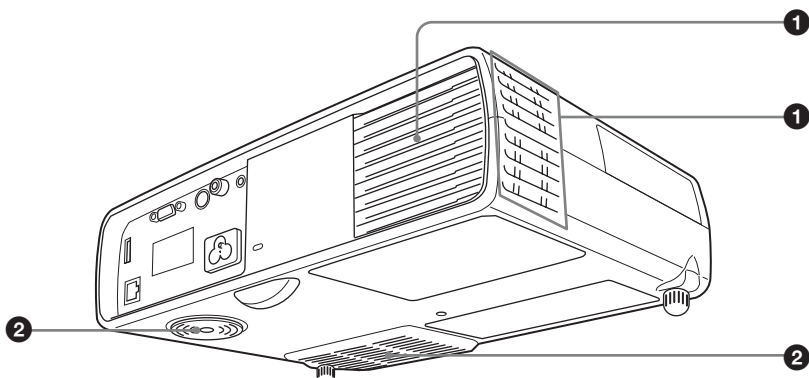
Informazioni sui marchi commerciali

- Adobe Acrobat è un marchio commerciale di Adobe Systems Incorporated.
- Windows è un marchio commerciale registrato di Microsoft Corporation negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
- Kensington è un marchio commerciale registrato di Kensington Technology Group.
- Macintosh è un marchio commerciale registrato di Apple Inc.
- VESA è un marchio commerciale registrato della Video Electronics Standards Association.
- Display Data Channel è un marchio commerciale di Video Electronics Standards Association.
- Tutti gli altri marchi commerciali e marchi commerciali registrati sono marchi commerciali o marchi commerciali registrati dei loro rispettivi detentori. In questo manuale, i contrassegni ™ e ® non sono specificati.

Note sull'uso

Note sulle prese di ventilazione

Non ostruire le prese di ventilazione (scarico/aspirazione). Se fossero ostruite, potrebbe verificarsi un surriscaldamento interno e provocare incendio o guasto dell'unità.
Verificare la posizione delle prese di ventilazione mostrate nelle illustrazioni che seguono.

Per altre precauzioni, leggere attentamente le "Normative di sicurezza" a parte.

Proiezione

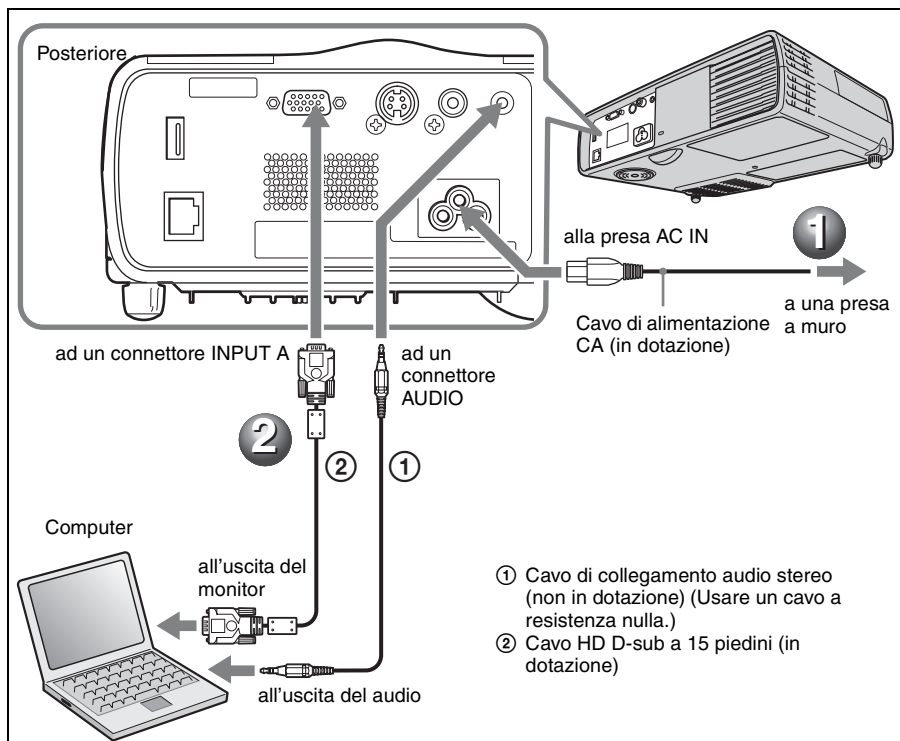
Collegamento del proiettore

Nel collegare il proiettore, prestare attenzione a quanto segue:

- Spegnere tutte le apparecchiature prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Usare cavi adatti a ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi. Per scollegare un cavo, afferrare la spina senza tirare il cavo stesso.
- Fare anche riferimento al manuale di istruzioni dell'apparecchiatura da collegare.
- Per collegare il modello VPL-DX15 a un connettore (di rete) o a un connettore (USB), consultare le "Istruzioni d'uso per il Visualizzatore file di Rete/USB" incluse nel CD-ROM.

Collegamento di un computer

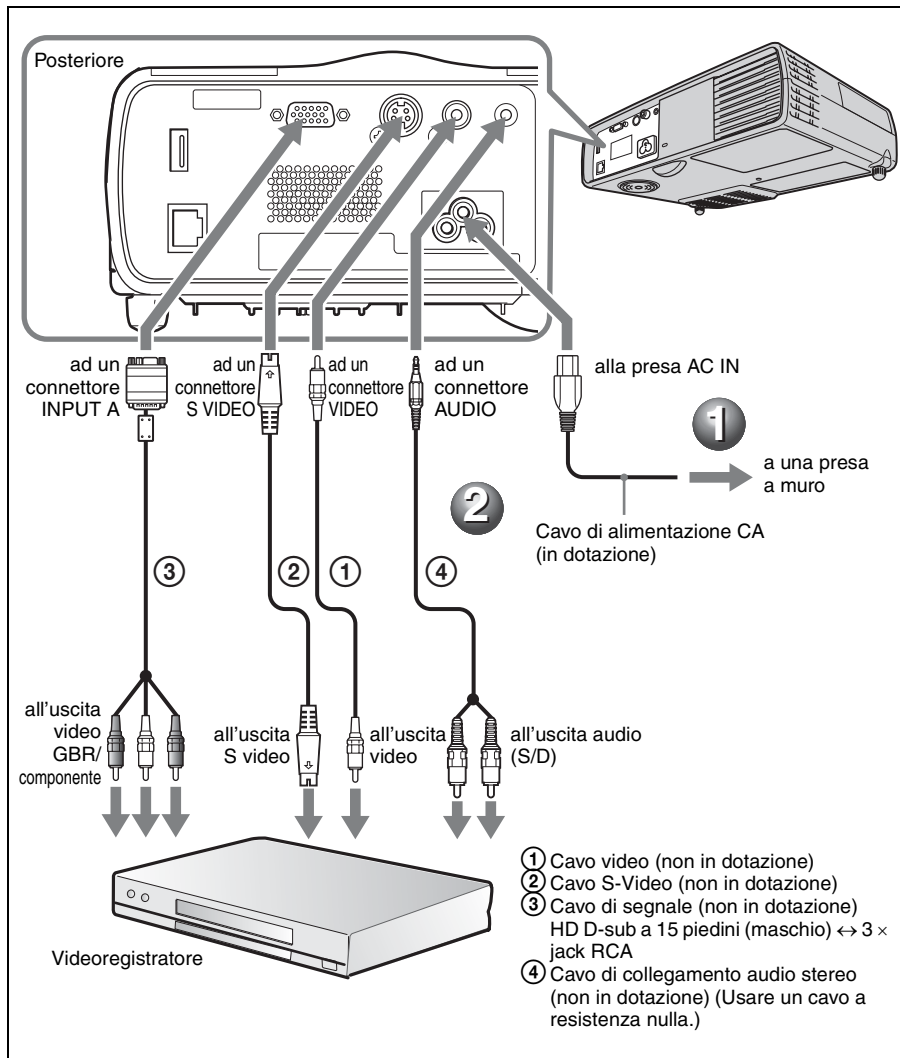
1 Inserire il cavo di alimentazione CA in una presa a muro.

2 Collegare il proiettore al computer.

Collegamento a un videoregistratore/lettore DVD

❶ **Inserire il cavo di alimentazione CA in una presa a muro.**

❷ **Collegare il proiettore all'apparecchiatura video.**

Per i collegamenti dei segnali video, sono disponibili le tre opzioni seguenti:

Per il collegamento al connettore di uscita videocomposito di un videoregistratore/DVD: collegare con cavi ① e ④.
Per il collegamento al connettore di uscita S-Video di un videoregistratore/DVD: collegare con i cavi ② e ④.
Per il collegamento al connettore video RGB/a componenti di un videoregistratore/DVD: collegare con i cavi ③ e ④.

Proiezione

❶ **Premere il tasto I/⏻.**

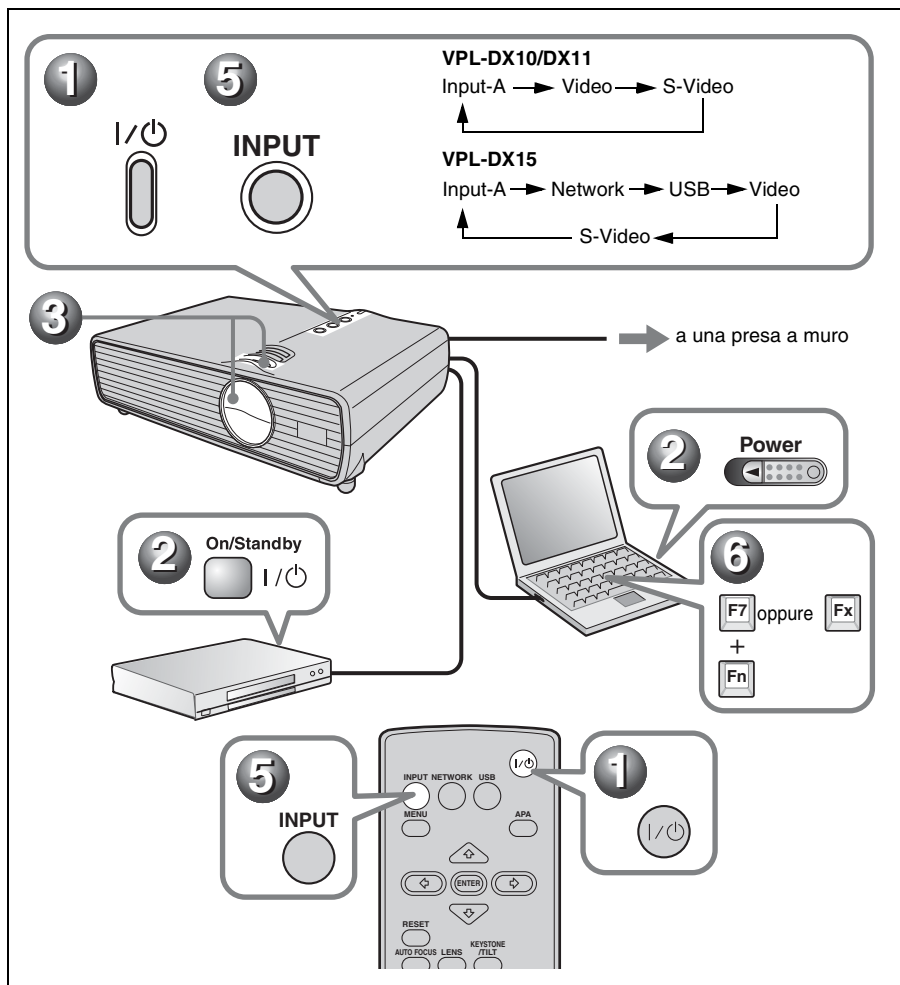
❷ **Accendere l'apparecchiatura collegata al proiettore.**

❸ **Muovere la leva dell'otturatore dell'obiettivo per aprire l'otturatore dell'obiettivo.**

❹ **Regolare la posizione, le dimensioni e la messa a fuoco dell'immagine.**

Vedere "Regolazione del proiettore" a pagina 8.

❺ **Premere il tasto INPUT sul telecomando o sul pannello di controllo per selezionare la sorgente d'ingresso.**

❻ **Quando il computer è collegato, impostarlo in modo che trasmetta il segnale solo al monitor esterno.**

Regolazione del proiettore

1 Regolare l’inclinazione (posizione superiore o inferiore dell’immagine) del proiettore con i dispositivi di regolazione.

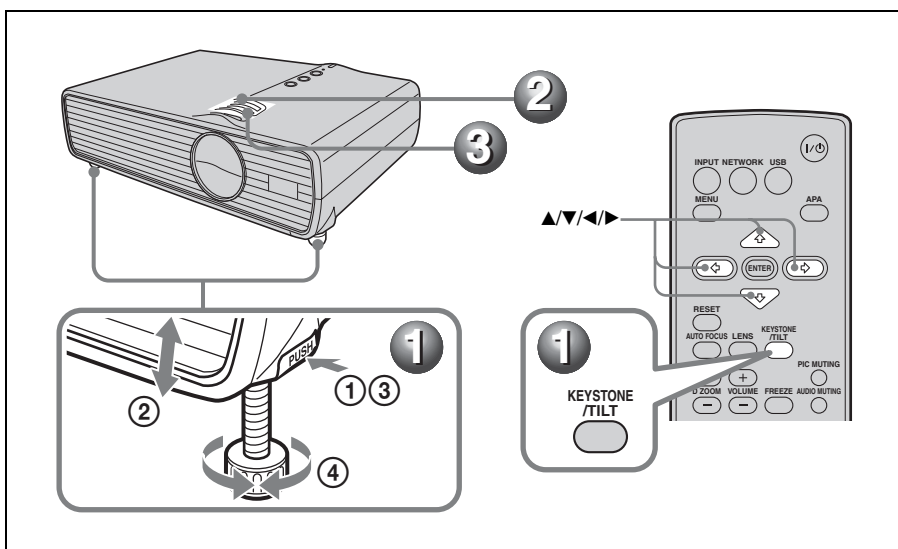
Quando si regola l’inclinazione con i dispositivi di regolazione, la regolazione Trapezio V viene effettuata automaticamente.

① Sollevare il proiettore tenendo premuto il pulsante del dispositivo di regolazione.
② Regolare l’inclinazione del proiettore.
③ Rilasciare il pulsante del dispositivo di regolazione.
④ Quando è necessaria una regolazione precisa, ruotare il dispositivo di regolazione verso destra e sinistra.

Per regolare l’inclinazione manualmente

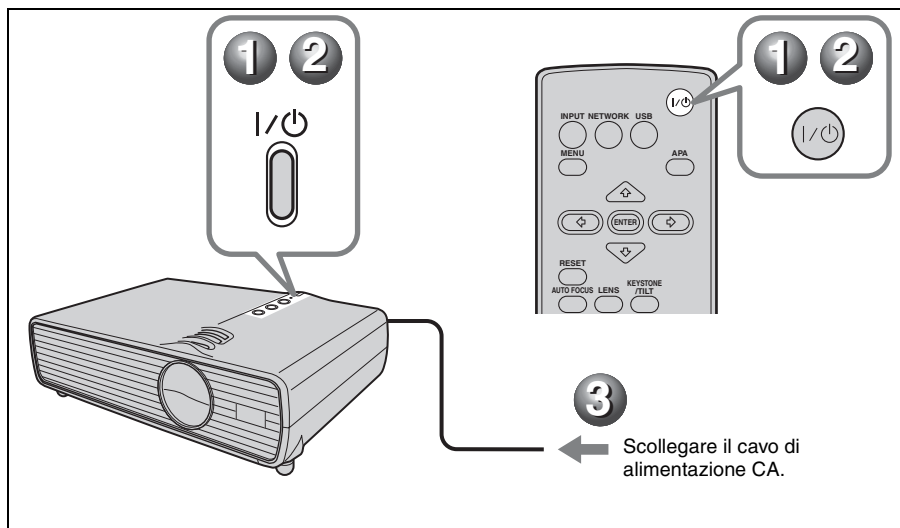
Premere il tasto KEYSTONE/TILT sul telecomando per visualizzare il menu TILT e regolare l’inclinazione utilizzando i tasti ▲/▼/◀/▶.

2 Regolare le dimensioni dell’immagine con la ghiera dello zoom.

3 Regolare la messa a fuoco con la ghiera della messa a fuoco.

Spegnimento dell'alimentazione

❶ **Premere il tasto I/⏻.**

❷ **Quando appare un messaggio, premere di nuovo il tasto I/⏻.**

❸ **Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa di rete dopo che la ventola si è fermata e che il tasto I/⏻ si è accesa in rosso.**

Sostituzione della lampada

La lampada che costituisce la sorgente di luce è un prodotto consumabile. Perciò, sostituirla con una lampada nuova nei casi che seguono.

- Quando la lampada è bruciata o poco luminosa
- "Quando sullo schermo appare "Sostituire la lampadina."
- La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi) (vedere a pagina 15 per individuare un'altra possibile causa).

La vita utile della lampada varia in funzione delle condizioni d'uso.
Come lampada per proiettore di ricambio usare la LMP-D200.
L'uso di qualsiasi altra lampada diversa dalla LMP-D200 potrebbe guastare il proiettore.

Nota

La lampada è ancora calda dopo aver spento il proiettore con il tasto I/⏻. **Toccando la lampada, ci si potrebbe ustionare le dita. Quando si sostituisce la lampada, aspettare almeno un'ora che si raffreddi.**

Note

- **Se la lampada si rompe, rivolgersi a personale Sony qualificato**.
- Estrarre la lampada afferrando la maniglia. Toccare la lampada potrebbe causare ustioni o lesioni.
- Per rimuovere la lampada, aver cura che rimanga in posizione orizzontale e tirare direttamente verso l'alto. Non inclinare la lampada. Se la lampada viene tirata fuori inclinata e si rompe, i frammenti potrebbero disperdersi, causando lesioni.

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa c.a..

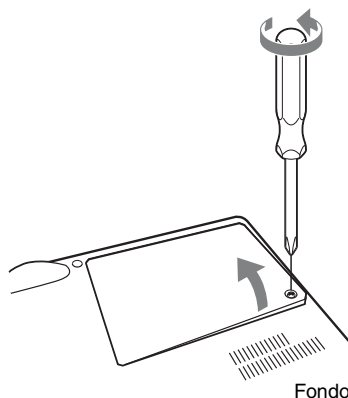
Nota

Quando si sostituisce la lampada dopo aver usato il proiettore, aspettare almeno un'ora che la lampada si raffreddi.

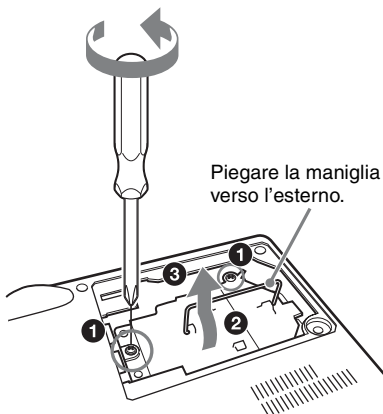
2 Mettere un telo (stoffa) di protezione sotto il proiettore. Rovesciare il proiettore in modo da vedere la parte inferiore.

Nota

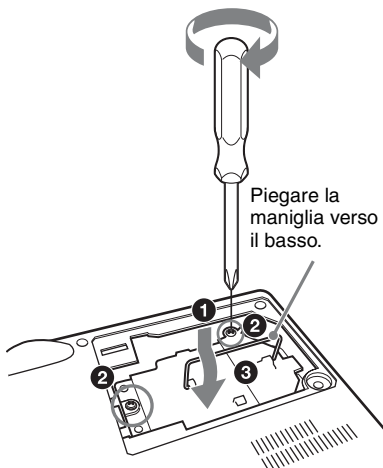
Verificare che il proiettore rovesciato sia in posizione stabile.

3 Aprire il coperchio della lampada svitando la vite con un cacciavite a stella.

Nota

Per motivi di sicurezza, non allentare alcuna altra vite.

4 Allentare le due viti sull'unità della lampada con il cacciavite con punta a croce (❶). Sollevare la maniglia (❷), quindi usarla per tirare fuori l'unità della lampada (❸).

Attenzione

Non infilare le mani nella sede di sostituzione della lampada e fare in modo che non ci cadano dei liquidi o degli oggetti **per evitare scossa elettrica o incendio**.

5 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione (❶). Serrare le due viti (❷). Mettere a posto la maniglia abbassandola (❸).

Note

- Prestare attenzione a non toccare la superficie di vetro della lampada e un eventuale conduttore interno.
- Inserire saldamente la maniglia per fissarla bene.
- L’alimentazione non si accenderà se la lampada non è fissata correttamente.

6 Chiudere il coperchio della lampada e serrare la vite.

Nota

Aver cura di montare saldamente il coperchio della lampada come era in origine. Diversamente non sarà possibile accendere il proiettore.

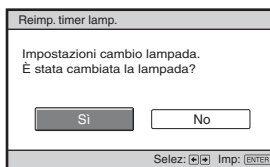
7 Girare di nuovo il proiettore.

8 Collegare il cavo di alimentazione.
Il tasto I/⏻ si illumina in rosso.

9 Premere il tasto I/⏻ per accendere il proiettore.

10 Premere il tasto MENU, quindi selezionare il menu Impostazione.

11 Selezionare “Reimp. timer lamp.”, quindi premere il tasto ENTER.

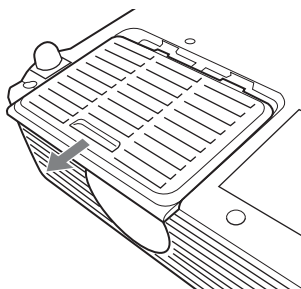
“Impostazioni cambio lampada. È stata cambiata la lampada?” viene visualizzato nella schermata del menu.

12 Selezionare “Si” con il tasto ◀, quindi premere il tasto ENTER.
Il Timer lampada viene inizializzato su 0 e “Timer lampada reimpostato!” viene visualizzato nella schermata del menu.

Pulizia del filtro dell’aria

Il filtro dell’aria dovrebbe essere pulito dopo circa 500 ore di utilizzo. Rimuovere il coperchio del filtro dell’aria, quindi rimuovere la polvere con un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata.
Il tempo necessario per pulire il filtro dell’aria dipende dall’ambiente o dall’uso del proiettore.

1 Spegnere l’alimentazione e scollegare il cavo di alimentazione.

2 Mettere un telo (stoffa) di protezione sotto il proiettore e capovolgere il proiettore.

3 Smontare il coperchio del filtro dell’aria.

Fondo

4 Rimuovere il filtro all’interno, quindi pulire la polvere che contiene con un detergente delicato.

5 Reinserire il filtro nel coperchio del filtro dell’aria.

6 Rimontare il coperchio del filtro dell’aria.

Note

- Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell’aria, sostituirlo con un filtro nuovo.
- Per dettagli sul nuovo filtro dell’aria, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Assicurarsi di montare saldamente il filtro dell’aria; qualora il filtro dell’aria non venga installato correttamente, si potrebbe provocare un problema.

Risoluzione dei problemi

Se il proiettore funziona in modo irregolare, provare a diagnosticare e correggere il problema con le seguenti istruzioni. Se il problema permane, rivolgersi a personale Sony qualificato.
Per dettagli sui sintomi, vedere le istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM.

Alimentazione

Sintomo	Causa e rimedio
L'alimentazione non si accende.	• Il cavo di alimentazione non è collegato. ➔ Collegare saldamente il cavo di alimentazione CA. • La lampada o il relativo coperchio non sono fissati. ➔ Chiudere saldamente la lampada o il relativo coperchio.

Immagine

Sintomo	Causa e rimedio
Nessuna immagine.	• L'alimentazione non si accende. ➔ Spegnere l'apparecchio. • Un cavo è scollegato oppure i collegamenti sono errati. ➔ Verificare che i collegamenti siano stati effettuati correttamente. • L'otturatore dell'obiettivo è chiuso. ➔ Aprire l'otturatore dell'obiettivo. • La selezione dell'ingresso è errata. ➔ Selezionare correttamente la sorgente in ingresso. • L'immagine è disattivata. ➔ Premere il tasto PIC MUTING per annullare la disattivazione dell'immagine. • Il segnale dal computer non è stato impostato per la visualizzazione su monitor esterno, oppure è stato impostato per la visualizzazione sia su un monitor esterno, sia sul monitor LCD del computer. ➔ Impostare il segnale del computer per la visualizzazione solo su un monitor esterno.
L'immagine è rumorosa.	Il cavo di collegamento potrebbe non essere collegato correttamente. ➔ Controllare se il cavo di collegamento sia collegato correttamente.
La visualizzazione su schermo non appare.	"Stato" nel menu Impostazione è stato impostato su "Disin.." ➔ Impostare "Stato" nel menu Impostazione su "Inser.".

Sintomo	Causa e rimedio
Il bilanciamento dei colori è errato.	• L'impostazione della qualità delle immagini non è appropriata. ➔ Impostare la qualità delle immagini nel menu Immagine. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti. • L'impostazione di "Sel. segn. in. A" nel menu Impostazione è errata. ➔ Selezionare correttamente "Computer", "Video GBR" o "Componenti" a seconda del segnale in ingresso. • Lo standard colore impostato sul proiettore è errato. ➔ Impostare "Standard colore" nel menu Impostazione affinché corrisponda allo standard colore del segnale ricevuto in ingresso.
L'immagine è troppo scura.	• Il contrasto o la luminosità non è stato regolato correttamente. ➔ Regolare correttamente il Contrasto o la Luminosità nel menu Immagine. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti. • La lampada è bruciata o poco luminosa. ➔ Regolare "Timer lampada" nel menu Informazioni.
L'immagine non è nitida.	• L'immagine non è a fuoco. ➔ Regolare la messa a fuoco. • Si è depositata della condensazione sull'obiettivo. ➔ Lasciare il proiettore acceso per circa due ore.
L'immagine si estende oltre lo schermo.	• È stato premuto il tasto APA nonostante ci siano dei bordi neri intorno all'immagine. ➔ Visualizzare sullo schermo l'immagine completa e premere il tasto APA. • L'impostazione dello schermo non è appropriata. ➔ Regolare "Spostamento" nel menu di impostazione Schermo. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti.
L'immagine sfarfalla.	• L'impostazione dello schermo non è appropriata. ➔ Regolare "Fase" nel menu di impostazione Schermo. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti.
Il formato della visualizzazione non è corretto.	• L'impostazione dello schermo non è appropriata. ➔ Regolare "Formato" nel menu di impostazione Schermo. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti.

Audio

Sintomo	Causa e rimedio
Nessun audio.	• Un cavo è scollegato oppure i collegamenti sono errati. ➔ Verificare che i collegamenti siano stati effettuati correttamente. • Il cavo di collegamento audio usato è errato. ➔ Utilizzare un cavo audio stereo a resistenza nulla. • L'audio è silenziato. ➔ Premere il tasto AUDIO MUTING per annullare la disattivazione audio. • L'audio non è regolato correttamente. ➔ Regolare l'audio con il tasto VOLUME +/– sul telecomando.

Spie

Sintomo	Causa e rimedio
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	• Il coperchio della lampada è staccato. → Montare saldamente il coperchio.
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi)	• L'interno dell'unità ha raggiunto una temperatura elevata e il sensore della temperatura è stato attivato. → Controllare che non vi sia nulla che ostruisca la presa d'aria fresca e l'uscita di scarico. • La lampada ha raggiunto una temperatura elevata. → Attendere 90 secondi che la lampada si raffreddi, quindi riaccendere l'apparecchio. Dopo aver controllato i punti di cui sopra, qualora dovessero verificarsi problemi, si riportano di seguito le possibile cause: • La lampada deve essere sostituita, perché ha raggiunto il termine della vita utile. • L'interno dell'unità ha raggiunto una temperatura elevata e il fusibile della temperatura si è bruciato. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.
Il tasto I/⏻ lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	• La temperatura interna è insolitamente elevata. → Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite. • Il proiettore è utilizzato a una quota elevata. → Accertarsi che "Modo quota el." nel menu Impostazione sia impostato su "Inser.".
Il tasto I/⏻ lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 4 lampeggi)	La ventola è guasta. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.
Il tasto I/⏻ lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 6 lampeggi)	Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro dopo che il tasto I/⏻ si è spento, inserire il cavo di alimentazione nella presa a muro, quindi riaccendere il proiettore. Se il tasto I/⏻ lampeggia in rosso e il problema permane, si è verificato un guasto nel circuito elettrico. Oppure l'interno dell'unità ha raggiunto una temperatura elevata e il fusibile della temperatura si è bruciato. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.

Caratteristiche tecniche

Sistema di proiezione
3 LCD pannelli, 1 obiettivo, sistema di proiezione
Pannello LCD pannello XGA da 0,63 pollici, circa 2.360.000 pixel (786.432 pixel × 3)
Obiettivo Obiettivo zoom da 1,2 ingrandimenti
f da 18,63 a 22,36 mm/F da 1,65 a 1,8
Lampada Lampada a mercurio ad altissima pressione di 200 W
Dimensione dell'immagine proiettata (misurata diagonalmente)
da 40 a 300 pollici
Flusso luminoso
VPL-DX10: 2500 lumen
VPL-DX11/DX15: 3000 lumen
(Quando Modo lampada è impostato su "Alto")
Distanza di proiezione
Consultare "Installazione del proiettore e schema di installazione" nelle "Istruzioni d'uso" incluse nel CD-ROM in dotazione.
Standard colore
Standard NTSC3.58/PAL/SECAM/ NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/ PAL60, commutato automaticamente/manualmente
(NTSC4.43 è lo standard colore usato per riprodurre video registrato in NTSC su un videoregistratore NTSC4.43.)
Risoluzione 750 righe TV orizzontali (ingresso video)
1.024 × 768 punti (ingresso RGB)
Segnali da computer compatibili[1)]
fH: da 19 a 80 kHz
fV: da 48 a 92 Hz
(massima risoluzione del segnale di ingresso: SXGA+ 1400 × 1050
fV: 60 Hz)

1) Impostare la risoluzione e la frequenza del segnale del computer collegato entro l'intervallo dei segnali preimpostati compatibili con il proiettore.

Segnali video compatibili
15 k RGB, A componenti a 50/60 Hz, progressivo a componenti a 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/ 50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), videocomposito, Y/C
Dimensioni circa 295 × 74 × 204 mm (l/a/p) (escluse le parti sporgenti)
Massa VPL-DX10/DX11: Circa 2,1 kg
VPL-DX15: circa 2,2 kg
Requisiti di alimentazione
da 100 V a 240 V CA, da 3,6 A a 1,6 A, 50/60 Hz
Potenza assorbita
VPL-DX15: Max. 320 W
in attesa (Standard): 10,5 W
in attesa (Basso): 3 W
VPL-DX10/DX11: Max. 320 W
in attesa (Standard): 5,5 W
in attesa (Basso): 3 W
Temperatura di funzionamento
da 0°C a 35°C
Accessori forniti
Telecomando (1)
Pila al litio CR2025 (1)
Cavo HD D-sub a 15 pin (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony)
Custodia per il trasporto (1)
Cavo di alimentazione CA (1)
Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)
Guida rapida all'uso (1)
Normative di sicurezza (1)
Targhetta di sicurezza (1)

Il design e le caratteristiche tecniche dell'unità, inclusi gli accessori opzionali, sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Accessori opzionali

Lampada del proiettore
LMP-D200 (ricambio)
Strumento di presentazione
RM-PJPK1

Non tutti gli accessori opzionali sono disponibili in tutte le nazioni e aree geografiche.

Consultare il proprio rivenditore autorizzato Sony.

关于随机附带的手册

本投影机附带有下列手册。

手册

安全规则 （另行印刷的手册）
本手册记述了在操作和使用本投影机时您必须注意的重要注意事项和警告。

快速参考手册 （本手册）
本手册介绍进行所需的连接以后投影图像时的基本操作。

使用说明书 （在 CD-ROM 上）
本使用说明书记述了本投影机的设置和操作方法。

使用说明书
（用于网络 /USB 文件查看器）
（仅适用 VPL-DX15）（在 CD-ROM 上）
本使用说明书记述了如何设置和操作网络发表。

注意

阅读保存在 CD-ROM 上的使用说明书，必须安装 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更高版本。

关于快速参考手册

本快速参考手册介绍本机的连接方法和基本操作方法，并提供有关操作的注意事项和维护用信息。
有关操作的详细信息，请参见附带的 CD-ROM 上的使用说明书。
有关安全注意事项，请参见另行提供的 “安全规则”。

本手册中包含对 VPL-DX10，VPL-DX11 和 VPL-DX15 的说明。 请注意，主要使用 VPL-DX15 的图示进行说明。

使用 CD-ROM 手册

附带的 CD-ROM 中含有日语、英语、法语、德语、意大利语、西班牙语、中文和俄语版本的使用说明书和 ReadMe 文件。首先请阅读 ReadMe 文件。

准备工作

若要阅读 CD-ROM 中的使用说明书，需要有 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更高版本。如果您的电脑中未安装 Adobe Acrobat Reader，可以从 Adobe Systems 的网站免费下载 Acrobat Reader 软件。

要阅读使用说明书

使用说明书包含在附带的 CD-ROM 中。
将附带的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器，片刻后 CD-ROM 会自动启动。 选择您想要阅读的使用说明书。
根据电脑的不同，CD-ROM 可能不会自动启动。这种情况下，请按以下步骤打开使用说明书的文件：

（使用 Windows 时）

① 打开 "My Computer"。

② 右击 CD-ROM 图标并选择 "Explorer"。

③ 双击 "index.htm" 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

（使用 Macintosh 时）

① 双击桌面上的 CD-ROM 图标。

② 双击 "index.htm" 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

注

如果无法打开 "index.htm" 文件，在 "Operating_Instructions" 文件夹中双击您想要阅读的使用说明书。

有关商标

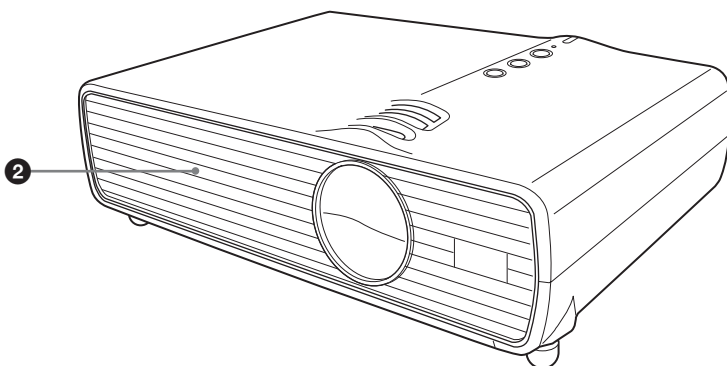
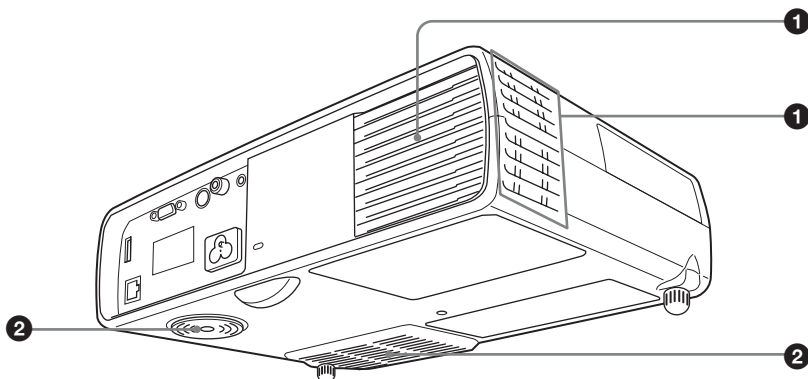
- Adobe Acrobat 是 Adobe Systems Incorporated 的商标。
- Windows 是 Microsoft 公司在美国和／或其他国家 （或地区）的注册商标。
- Kensington是Kensington Technology Group 的注册商标。
- Macintosh 是 Apple Inc. 的注册商标。
- VESA是Video Electronics Standards Association 的注册商标。
- Display Data Channel 是 Video Electronics Standards Association 的商标。
- 所有其它使用商标和注册商标均是各自商标持有者的商标或注册商标。 本手册中未指定 ™ 和 ® 标记。

CS

使用须知

关于通风孔的注意事项

请勿堵塞通风孔 （排气 / 进气）。如果通风孔堵塞，可能会造成内部蓄热并引起火灾或导致本机受损。
请在以下图示中查看通风孔的位置。

有关其他注意事项，请仔细阅读另行提供的 “安全规则”。

投影

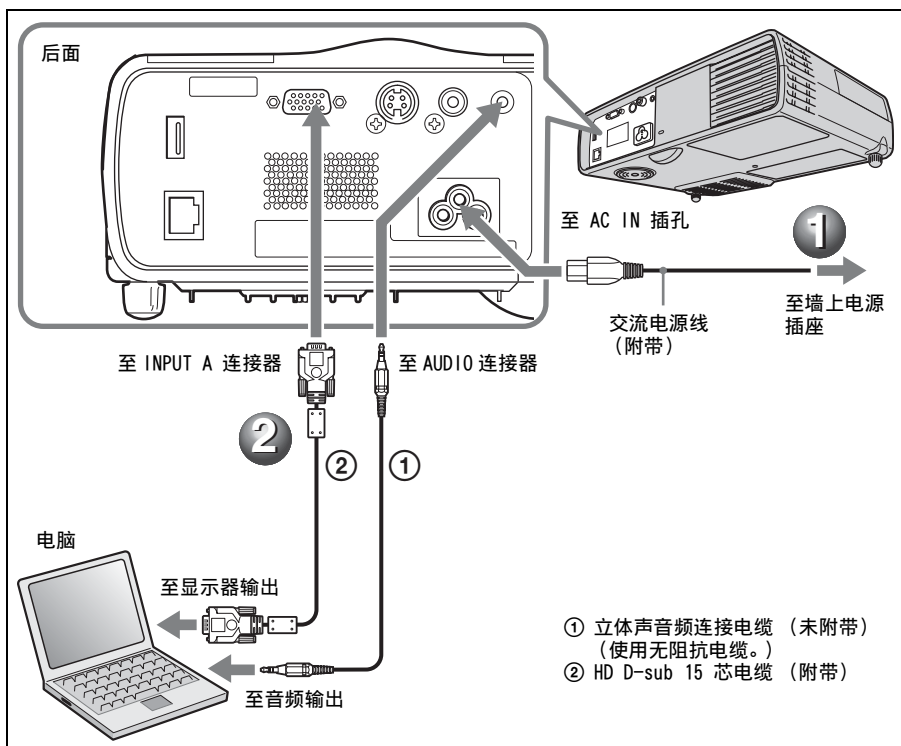
连接投影机

当连接投影机时，务必确认：

- 进行任何连接前关闭所有设备。
- 正确使用各连接用的电缆。
- 插紧电缆插头。在拔出电缆时，务必拔插头，不可拉扯电缆本身。
- 也请参见要连接的设备的使用说明书。
- 对于 VPL-DX15，当连接到品（网络）连接器或 USB（USB）连接器时，请参见存储在 CD-ROM 上的 "使用说明书 （用于网络 /USB 文件查看器）"。

要连接电脑时

❶ 将交流电源线插入墙上电源插座。

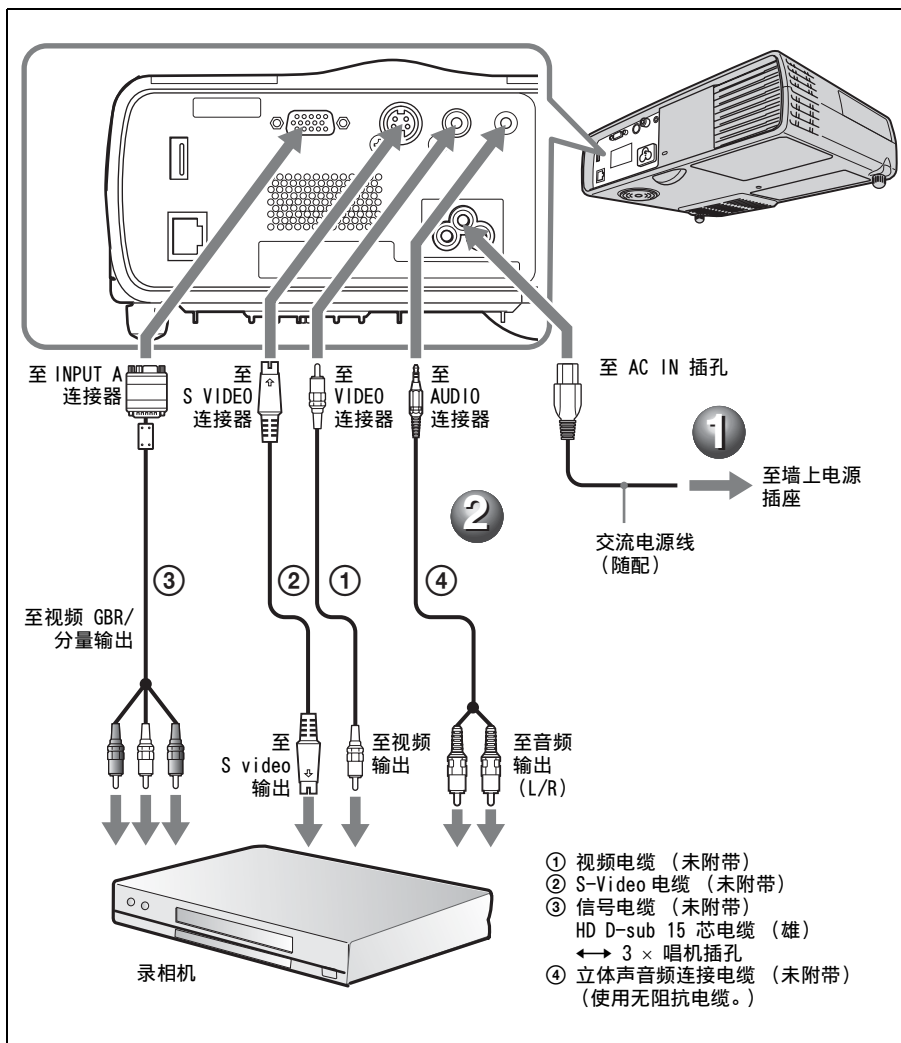
❷ 连接投影机至电脑。

要连接 VCR/DVD 播放机时

❶ 将交流电源线插入墙上电源插座。

❷ 连接投影机至视频设备。

对于视频信号连接，可使用以下三种连接选项：
要连接至 VCR/DVD 的视频输出接头时：用电缆 ① 和 ④ 连接。
要连接 VCR/DVD 的 S-Video 输出接头时：用电缆 ② 和 ④ 连接。
要连接 VCR/DVD 的 视频 GBR/ 分量连接器时：用电缆 ③ 和 ④ 连接。

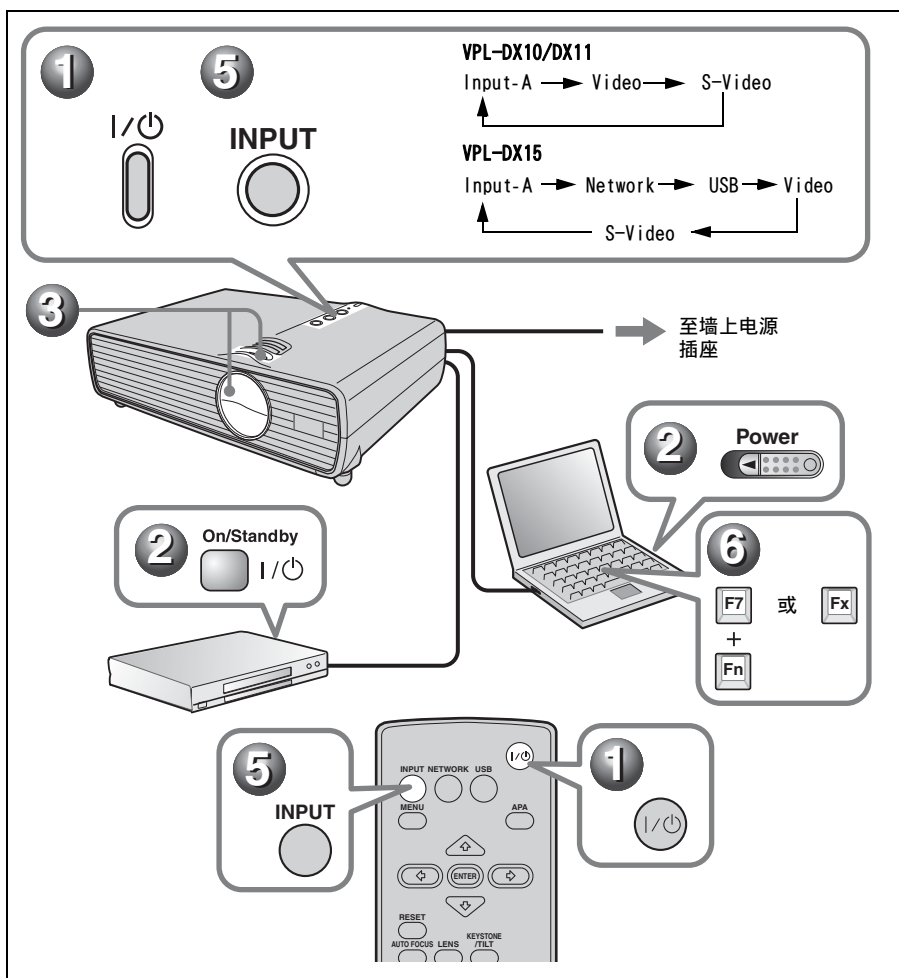
投影

❶ 按 I/⏻ 键。

❷ 打开与投影机相连的设备。

❸ 移动透镜控制杆，打开透镜控制。

❹ 调节图像位置、尺寸和聚焦。
参见第 8 页上的 “调整投影机”。

❺ 按遥控器上或控制面板上的 INPUT 键选择输入源。

❻ 当连接电脑时，请将其设定为仅向外接显示器输出信号。

调整投影机

❶ **使用调节器调节投影机倾斜 （图像的上下位置）**

当要用调节器调节倾斜时，自动执行 V 梯形失真调节。

① 按住调节器按钮时升高投影机。

② 调节投影机倾斜。

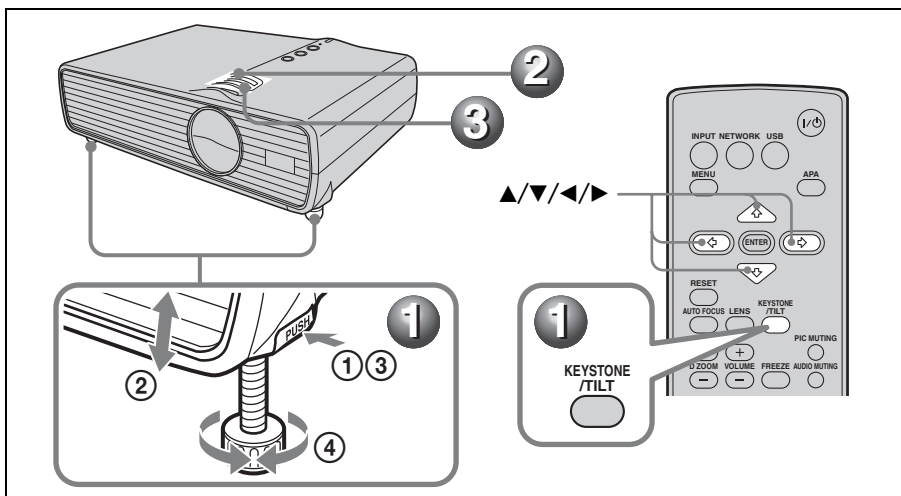
③ 松开调节器按钮。

④ 当需要精确调节时，左右转动调节器。

要手动调节倾斜

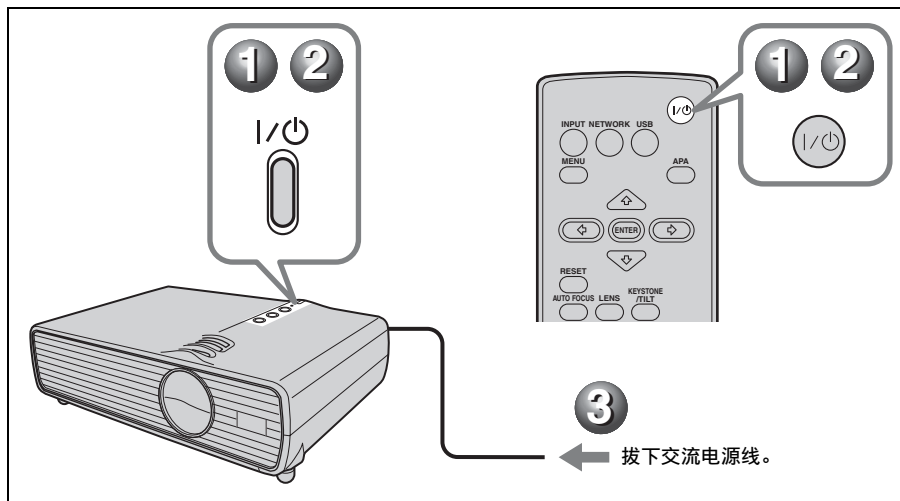
按遥控器上的 KEYSTONE/TILT 键，显示 TILT 菜单，用 ▲/▼/◀/▶ 键调节倾斜。

❷ **用变焦环调节图像尺寸。**

❸ **用聚焦环调节聚焦。**

关闭电源

❶ 按 I/⏻ 键。

❷ 当出现信息时，再次按 I/⏻ 键。

❸ 在冷却扇停止运转且 I/⏻ 键点亮呈红色后，从墙上电源插座拔下交流电源线。

更换投影灯

光源所使用的投影灯是消耗品。因此，在下述情况下请更换新的投影灯。
• 投影灯烧坏或变暗时
• 屏幕上出现 “请更换灯泡。”
• LAMP/COVER 指示灯闪烁橙色 （反复闪烁 3 次）（其他可能原因，请参阅第 14 页。）

投影灯的寿命根据使用条件不同而不同。
请用 LMP-D200 投影机灯泡进行更换。
使用 LMP-D200 以外的任何其它投影灯均可能造成投影机损坏。

注意

使用 I/⏻ 键关闭电源后，投影灯的温度仍然很高。**如果触摸投影灯，手指可能会被烫伤。更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。**

注意

• **如果投影灯破损，请联系 Sony 专业技术人员。**
• 握住把手将投影灯拉出。如果触摸投影灯，可能会被烫伤或受伤。
• 拆下投影灯时，令投影灯处于水平状态，然后将其径直拉出。请勿倾斜投影灯。如果在倾斜状态下拉出投影灯，万一投影灯损坏，碎片可能散落并导致人身伤害。

1 关闭投影机电源并从交流电源插座拔出交流电源线。

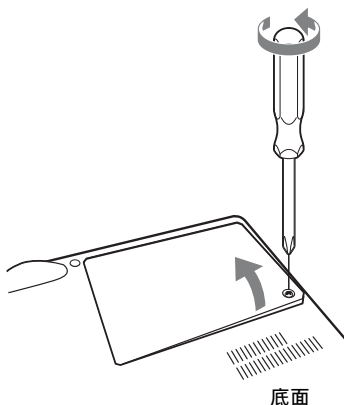
注意

在使用投影机后更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。

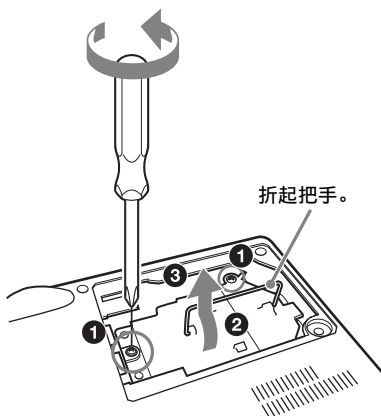
2 将保护纸（布）垫在投影机下面。将投影机翻倒以便能看到底面。

注意

翻转投影机之后，务必使其平稳。

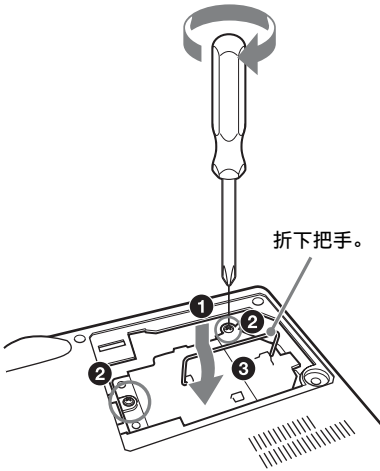
3 用十字螺丝刀拧松螺丝，打开投影灯盖。

注意

为了安全起见，请勿拧松其它任何螺丝。

4 用十字螺丝刀拧松投影灯上的两个螺丝 （❶）。折起把手 （❷），然后握住把手将投影灯拉出（❸）。

注意

请勿将手放进投影灯更换插槽，也不要让任何液体或其它物品落入插槽内，**以免触电或发生火灾。**

5 将新的投影灯完全插入，使其固定到位（❶）。拧紧两个螺丝（❷）。折下把手，使其返回原位（❸）。

注意

- 小心不要触摸投影灯的玻璃表面和导体内部。
- 牢固插入手柄将其固定就位。
- 如果投影灯没有完全固定好，将无法接通电源。

6 关上投影灯盖，拧紧螺丝。

注意

务必关严投影灯盖使其恢复原状。否则，无法接通投影机的电源。

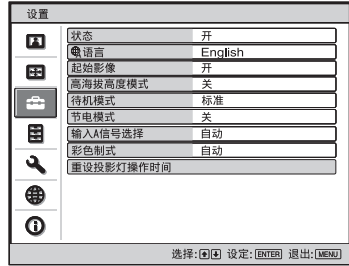
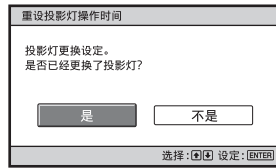
7 将投影机翻转过来。

8 连接电源线。

I/⏻ 键亮红色。

9 按 I/⏻ 键打开投影机。

10 按 MENU 键，然后选择设置菜单。

11 选择“重设投影灯操作时间”，然后按 ENTER 键。

菜单画面中显示“投影灯更换设定。是否已经更换了投影灯？”。

12 用 ◄ 键选择“是”，然后按 ENTER 键。

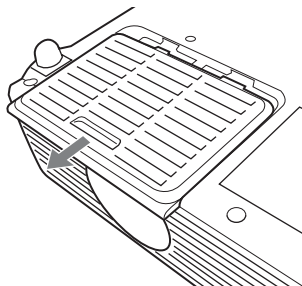
投影灯计时器初始化为 0，菜单画面中显示“投影灯操作时间重设完毕！”。

清洁空气滤网

在使用大约 500 小时后，要清洁空气滤网。 拆下空气滤网盖，然后用浸有中性清洁剂的软布轻轻擦去上面的灰尘。
清洁空气滤网所需的时间根据投影机的使用环境或使用方法而异。

1 关闭电源，拔下电源线。

2 用保护纸 （布）垫在投影机下面。

3 拆下空气滤网盖。

4 拆下滤网内部，然后用中性清洁剂擦去灰尘。

5 将滤网装回到空气滤网盖上。

6 重新装上空气滤网盖。

注意

- 如果无法除掉空气滤网上的灰尘，请更换新的空气滤网。
- 有关新的空气滤网的详情，请咨询 Sony 专业技术人员。
- 务必牢固安装空气滤网盖；如果空气滤网没有正确安装，可能会引起故障。

故障排除

如果发现投影机工作不正常，请使用下述说明尝试诊断并解决问题。 如果问题依然存在，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
有关症状的详细信息，请参见 CD-ROM 上的使用说明书。

电源

症状	原因和对策
无法接通电源。	• 电源线未连接。 ➔ 牢固连接电源线。 • 投影灯或投影灯盖没有装严。 ➔ 装严投影灯或投影灯盖。

图像

症状	原因和对策
无图像。	无法接通电源。 ➔ 接通电源。 • 电缆被拔下或未正确连接电缆。 ➔ 查看是否已经正确地连接了电缆。 • 透镜盖已关闭。 ➔ 打开透镜控制。 • 输入选择不正确。 ➔ 正确选择输入源。 • 图像被消除。 ➔ 按 PIC MUTING 键解除图像消除功能。 • 电脑信号未被设定为向外部显示器输出，或被设定为同时向外部显示器和电脑液晶显示器输出。 ➔ 将电脑的信号设定为仅向外部显示器输出。
图像有杂讯。	连接电缆可能连接不正确。 ➔ 检查连接电缆是否连接正确。
不出现屏幕显示。	设置菜单上的 “状态” 被设定为 “关”。 ➔ 将设置菜单中的 “状态” 设置为 “开”。
彩色平衡不正确。	图像质量设置不正确。 ➔ 在图像设定菜单上设置图像质量。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。 设置菜单中的 “输入 A 信号选择” 设置有误。 ➔ 根据输入信号正确选择 “电脑”、“视频信号输入 GBR” 或 “分量”。 • 投影机的彩色制式设定错误。 ➔ 设置设置菜单中的 “彩色制式”，使其与输入信号的彩色制式匹配。
图像太暗。	• 没有正确调整对比度或亮度。 ➔ 适当调整图像设定菜单中的对比度或亮度。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。 • 投影灯烧坏或变暗。 ➔ 检查信息菜单上的 “投影灯操作时间”。

症状	原因和对策
图像不清晰。	• 图像未聚焦。 ➔ 调整聚焦。 • 镜头上有水气凝聚。 ➔ 接通投影机电源并放置约 2 小时。
影像超出屏幕。	• 尽管已按 APA 键，影像周围仍有黑边。 ➔ 在屏幕上显示完整影像并按 APA 键。 • 图像设置不正确。 ➔ 调节 “移位”（屏幕设定设置菜单上）。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。
图像闪动。	• 屏幕设置不正确。 ➔ 调节 “相位”（屏幕设定设置菜单上）。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。
显示内容的纵横比不正确。	• 屏幕设置不正确。 ➔ 调节 “纵横比”（屏幕设定设置菜单上）。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。

声音

症状	原因和对策
无声音。	• 电缆被拔下或未正确连接电缆。 ➔ 查看是否已经正确地连接了电缆。 • 使用的音频连接电缆不正确。 ➔ 使用无阻抗立体声音频电缆。 • 声音被静音。 ➔ 按 AUDIO MUTING 键键解除音频静音功能。 • 声音调节不正确。 ➔ 使用遥控器上的 VOLUME +/- 键调节声音。

指示灯

症状	原因和对策
LAMP/COVER 指示灯闪烁橙色。（以 2 次闪烁为一个循环）	• 投影灯盖脱落。 ➔ 将盖板装严。
LAMP/COVER 指示灯闪烁橙色。 （以 3 次闪烁为一个循环）	• 本机内部温度太高，温度传感器已经启动。 ➔ 检查新鲜空气入口和废气出口是否被堵塞。 • 投影灯的温度过高。 ➔ 请等候 90 秒钟让投影灯冷却，然后再次接通电源。 检查以上项目后，如果问题仍然出现，则可能是以下原因造成： • 必须更换投影灯，因为它已经到了服务寿命。 • 本机内部温度太高，温度保险丝被烧断。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
I/⏻ 键闪烁红色。 （以 2 次闪烁为一个循环）	• 内部温度异常升高。 ➔ 检查通风孔是否堵塞。 • 在高海拔地区使用投影机。 ➔ 确保设置菜单中的 “高海拔高度模式” 被设置为 “开”。
I/⏻ 键闪烁红色。 （以 4 次闪烁为一个循环）	冷却扇损坏。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

症状	原因和对策
I/⏻ 键闪烁红色。（以 6 次闪烁为一个循环）	在 I/⏻ 键熄灭后，从墙上电源插座拔下交流电源线，将电源线插进墙上电源插座，然后重新接通投影机电源。如果 I/⏻ 键闪烁红色并且该状态持续，说明电气系统有故障。或者本机内部温度太高，温度保险丝被烧断。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

规格

投影系统

3 LCD 面板、1 镜头，投影系统

LCD 面板　0.63 英寸 XGA 面板、约 2360000 像素 （786432 像素 3）

镜头　1.2 倍变焦镜头
f 18.63 至 22.36 mm/F1.65 至 1.8

投影灯　200 W 超高压汞灯

投影图像的尺寸 （对角线测量）
40 至 300 英寸

光输出　VPL-DX10： 2500 流明
VPL-DX11/DX15：3000 流明
（当投影灯模式设置为 “高位” 时。

投射距离　请参阅随附 CD-ROM 中 “操作说明书”的 “安装投影机和安装示意图”部分。

上面显示的实际值与设计值之间可能微有差异。

彩色制式　NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 系统、自动 / 手动切换
（NTSC4.43 是用于播放在 NTSC4.43 制式录像机上录制的 NTSC 视频时使用的彩色制式。 ）

分辨率　750 行水平电视线 （视频输入）
1024 × 768 点 （RGB 输入）

可接收的电脑信号 [1]
行频 ： 19 至 80 kHz
场频 ： 48 至 92 Hz
（最大输入信号分辨率： SXGA+ 1400 × 1050
场频 ： 60 Hz）

[1] 将所连接电脑的信号的分辨率和频率设置为投影机可接收预设信号范围内。

适用视频信号
15 k RGB、分量 50/60 Hz、逐级分量 50/60 Hz、DTV （480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、复合视频、Y/C

尺寸　295 × 74 × 204 mm（宽 / 高 / 长）（不含投影部件）
（尺寸为近似值）

质量　VPL-DX10/DX11： 约 2.1 公斤 （4 磅 11 盎司）
VPL-DX15： 约 2.2 公斤 （4 磅 14 盎司）
（质量为近似值）

电源要求　交流 100 V 至 240 V、3.6 A 至 1.6 A 、50/60 Hz

功耗　VPL-DX15：最大 320 W
待机状态下 （标准）：10.5 W
待机状态下 （低位）： 3 W
VPL-DX10/DX11： 最大 320 W
待机状态下 （标准）： 5.5 W
待机状态下 （低位）： 3 W

工作温度　0 ℃至 35 ℃

随机附件　遥控器 （1）
锂电池 CR2025 （1） （安装在遥控器上 ）
HD D-sub 15 芯电缆 （2 m）（1）（1-791-992-51/Sony）
软包 （1）
交流电源线 （1）
使用说明书 （CD-ROM）（1）
快速参考手册 （1）
安全规则 （1）
安全标签 （1）

本机的设计和规格 （包括选购附件）如有变更，恕不另行通知。

注意

在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不作 （包括但不限于）退货或赔偿。

选购附件

投影机灯泡　LMP-D200 （更换用）
发表工具　RM-PJPK1

不是在所有国家和地区都有全部选购附件供货。请向当地 Sony 经销商查询。

この説明書は古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in Japan